

Pioneer sound.vision.soul



MDLP



はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

7.0型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/  
MD/CD/チューナー・WMA/MP3対応・DSP  
HDD AVナビオートサーバー

# AVIC-ZH900MD

7.0型ワイドタッチパネルTV/DVD-V/  
CD/チューナー・WMA/MP3対応・DSP  
HDD AVナビオートサーバー

# AVIC-ZH900

オーディオ操作編  
オーディオ  
ブック

carrozzeria

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



**注意**

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## 警告

### 【使用方法】

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

### 【異常時の処置】

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

## 注意

### 【使用方法】






モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

# 本書の見かた

## 本書の表記のしかた

表記	意味
 <b>ご注意</b>	<b>注意マーク</b> 操作を行う状況においての注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明しています。
	<b>メモ</b> 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：戻るを選ぶ(または戻るにタッチする)
	ナビゲーション本体や各リモコンについているボタンを表します。 例：メニューを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「MP3について」(P19)
	<b>続きマーク</b> 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。



- 本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

# 目次

安全のために必ずお守りください	2	ソースの切り替えかた	28
安全上のご注意	3	ソースをOFFにする	28
本書の見かた	4	画面の切り替えかた	29
ご使用前に知っておいて いただきたいこと	11	ソース画面の表示を切り替える	29
各部の名称とおもな働き	12	ソース画面に切り替える	29
ナビゲーション本体	12	オートアンテナの操作について	30
リモコン	14	音量を調節する	31
再生できるディスク (DVD、CD)の種類	16	音量調節のしかた	31
DVDに表示されている マークの意味	17	音量を一時的に下げる	31
ディスクの操作について	17		
ディスクの構成について	18		
DVDビデオ	18		
CD	18		
長時間録音されたMDの再生に ついて (AVIC-ZH900MD)	19		
MDLPについて	19		
MP3について	19		
WMAについて	19		
ディスクの入れかた・取り出しかた	20		
ディスクの入れかた	20		
ディスクの取り出しかた	21		
フロントパネルが見にくいときに 角度を調節する	22		
ミュージックサーバーへの録音のご注意	23		
<b>基本操作</b>			
オーディオ基本操作	26		
基本操作	26		
タッチ操作とリモコン操作の違いについて	26		
AVメニュー操作	26		
リスト操作	27		
基本的なリストの操作	27		
サブメニューの操作	27		
チェックリストの操作	27		
ソースの切り替えかた	28		
		テレビ/ラジオ/交通情報	
		放送の受信 (テレビ、ラジオ)	34
		テレビやラジオの放送を 受信する	34
		手動選局と自動選局について	35
		テレビ、ラジオ放送の 受信をやめる	35
		記憶された放送局の 呼び出しかた	35
		バンドやメモリーの切り替えかた	36
		プリセットの種類を選ぶ	36
		プリセット放送局を選ぶ	36
		いろいろなテレビ・ ラジオ操作のしかた	37
		AVメニューを表示する	37
		ソースメニューについて	37
		ソースメニューでの いろいろな受信操作	37
		放送局の自動記憶	37
		音声多重の切り替え (テレビ)	38
		リストの切り替え (テレビ)	38
		放送局の手動記憶	39
		ミュージックサーバーへの録音	39
		交通情報を聞く	40
		ミュージックサーバー への録音	40

## 音楽ディスクの再生 (CD、WMA/MP3、MD)

<b>音楽ディスクの再生</b>	<b>42</b>
再生する	42
再生画面について	42
早送り/早戻し・ラフサーチ について	44
再生を停止する	45
再生を一時停止する	45
詳細情報を表示する (MP3)	45
<b>いろいろな再生操作のしかた</b>	<b>46</b>
AVメニューを表示する	46
ソースメニューについて	46
ソースメニューでの いろいろな再生操作	47
リPEAT再生	47
ランダム再生	47
スキャン再生	48
サーチモードの切り替え (CD、WMA/MP3)	49
ミックスCD内のデータ形式の 切り替え	49
ミュージックサーバーへの 録音 (CD、MD)	50

## DVD

<b>DVDの再生</b>	<b>52</b>
リモコンをDVD操作に使うとき	52
再生する	52
DVD再生をやめる	52
再生を停止する	53
静止画再生する	53
観たい場所を探す	53
タイトルを進める/戻す	53
チャプターを進める/戻す	53
早送り/早戻しをする	53
ディスクが自動的に再生 しないときは	54
ディスクの再生操作について	54
操作タッチキーの表示と消しかた	54
ディスクメニューの操作	55
ディスクメニューの表示	55

ディスクメニューの操作	55
操作タッチキーで観たい 場所を探す	55
チャプターを進める/戻す	56
早送り/早戻しをする	56
操作タッチキーで再生を 停止する	56
観たい場面をダイレクト に選ぶ	57
操作タッチキーで いろいろな操作をする	58
静止画再生	58
コマ送り再生	58
スロー再生	58
ブックマークの記憶	59
字幕言語の切り替え	60
音声言語の切り替え	60
アングルの切り替え	61
ディスクに指定された位置まで 戻って観る	61
<b>DVDのAVメニューでの操作</b>	<b>62</b>
AVメニューを表示する	62
ソースメニューについて	62
ソースメニューでの いろいろな再生操作	62
リPEAT再生	62
音声出力の切り替え	63
<b>DVD初期設定のしかた</b>	<b>64</b>
DVD初期設定メニューを 表示する	64
初期設定をする	64
字幕言語を設定する	64
音声言語を設定する	65
メニュー言語を設定する	65
アシスト字幕の表示/非表示を 設定する	66
アングル選択マークの 表示/非表示を設定する	66
テレビアスペクト (画面の縦横比) を設定する	66
視聴制限を設定する	67
オートプレイを設定する	68
ダイナミックレンジコントロール の設定	69

## ミュージックサーバー

ミュージックサーバーとは	72	通常のミュージックサーバー 再生に戻る	86
ミュージックサーバーに録音する	73	最新のヒットチャートを見る	86
録音についてのご注意	73	最新チャートをダウンロードする	87
CD録音の制限について	73	情報画面を見る	87
すべてのモード	73	リンクを付ける	88
オート/シングルモード	73	チャート情報を更新する	89
CD録音の設定	74	<b>フィーリングプレイ</b>	<b>90</b>
録音設定画面を表示する	74	フィーリングプレイとは	90
CDの録音モードを設定する	74	フィーリングプレイで再生する	90
録音時間を設定する	74	フィーリングプレイの 通常操作画面について	91
CD再生時に自動的に録音する	75	再生曲が選択した曲調と 合わないとき	91
CDを手動で録音する	75	フィーリングプレイの設定	92
CDの1曲目だけを 自動的に録音する	75	フィーリングプレイ設定画面 を表示する	92
CD以外のソースを録音する	76	フィーリングプレイ対象外 設定	92
録音を停止するには	76	学習クリア	92
<b>ミュージックサーバーの聴きかた</b>	<b>77</b>	<b>各リストを作成する</b>	<b>93</b>
グループ、プレイリスト、 トラックについて	77	編集項目選択画面を表示する	93
再生する	77	グループと プレイリストについて	93
早送り/早戻しについて	78	ユーザーグループに プレイリストを作成する	94
再生を停止する	79	カスタマイズグループに プレイリストを作成する	96
再生を一時停止する	79	<b>各リストを編集する</b>	<b>97</b>
詳細情報を表示する	79	グループリストを編集する	97
<b>いろいろな再生操作のしかた</b>	<b>80</b>	グループリストの詳細情報 画面を表示する	97
AVメニューを表示する	80	カスタマイズグループの 名称、よみを変更する	97
ソースメニューについて	80	カスタマイズグループに プレイリストを追加する	98
ソースメニューでの いろいろな再生操作	80	カスタマイズグループを 初期化する	98
リピート再生	80	プレイリストを編集する	99
ランダム再生	81	プレイリスト詳細情報画面 を表示する	99
ダイジェストスキャン再生	82	タイトルやよみを変更する	100
<b>ヒットチャートプレイ</b>	<b>83</b>	アーティスト名を変更する	100
ヒットチャートとは	83	ジャンルを設定する	101
ヒットチャートで再生する (ヒットチャートプレイ)	84		
ヒットチャートの 通常操作画面について	85		
カウントダウン、カウントアップ で再生する	86		

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

画像を設定する	102	イメージに合った音場設定で 演奏会場を再現する (SFC)	123
プレイリストの再生順を 変更する	103	BBEで調節する	123
プレイリストを消去する	104	低い音を出力しないようにする (ハイパスフィルター設定)	124
トラックを編集する	105	各ソースの音量の違いをそろえる (ソースレベルアジャスター)	125
トラックの情報を編集する	105	騒音に合わせて音量を 変える (ASL)	126
ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する	106	オートイコライザーカーブを使う (オートイコライザー)	126
ユーザープレイリストに トラックを追加する	107		
プレイリストから トラックを消去する	108		
タイトル情報について	109	<b>DSP (Digital Signal Processor) - 「DEQ・P9」と組み合わせた場合</b>	<b>127</b>
取得できる情報	109	オーディオ設定画面を 表示する	127
GracenoteCDDDBについて	110	オーディオ設定画面について	127
タイトル情報を取得する	111	イコライザーを使う (パラメトリックイコライザー)	129

## AV設定

### DSP

<b>(Digital Signal Processor)</b>	<b>114</b>		
オーディオ設定画面を 表示する	114	オートイコライザーカーブを使う (オートイコライザー)	131
オーディオ設定画面について	114	音場の中心で聞く (リスニングポジショニング)	132
前後左右の音量バランスを調節する (フェーダー/バランス)	116	前後左右の音量バランスを 調節する (フェーダー/バランス)	132
音場の中心で聞く (リスニングポジショニング)	116	イメージに合った音場設定で 演奏会場を再現する (SFC)	133
タイムアライメントを選ぶ (タイムアライメント)	117	各ソースの音量の違いをそろえる (ソースレベルアジャスター)	133
タイムアライメントを 詳細に設定する	118	オリジナルの音質で聞く (デジタルダイレクト)	134
小音量時の音にメリハリ をつける (ラウドネス)	118	ドルビープロロジック II を使う (Dolby Pro Logic II)	134
イコライザーカーブを選ぶ (グラフィックイコライザー)	119	ミュージックモードの調節	135
イコライザーカーブを 大まかに補正する	120	接続したスピーカーを設定する (スピーカー設定)	136
イコライザーカーブを 細かく調節する	120	サブウーファアの位相を 切り替える	137
サブウーファー出力を設定 する (サブウーファー)	121	クロスオーバー周波数を設定する (クロスオーバー周波数)	137
サブウーファー出力を 詳細に設定する	122	テストトーンでスピーカーレベル を調節する (テストトーン)	138



スピーカー出力レベルを調節する (スピーカー出力レベル)	139
タイムアライメントを選ぶ (タイムアライメント)	140
タイムアライメントを詳細に設定する	141
ダウンミックスを使う (ダウンミックス)	142
音の幅を設定する (ダイナミックレンジコントロール)	142
<b>オートタイムアライメント/イコライジング (オートTA&amp;EQ)</b>	<b>143</b>
オートTA/EQを行う前に	143
スピーカー破損防止について	143
オートTA/EQ機能について	143
オートTA/EQの調節内容について	144
オートTA/EQを行う	144

## システム設定

<b>システムの設定をする</b>	<b>148</b>
システム設定画面を表示する	148
システム設定画面について	148
音の歪みを補正する (デジタルアッテネーター)	150
ビデオ入力を設定する (AV入力設定)	150
OELディスプレイを設定する (OEL設定)	150
ミュージックサーバーへの録音を設定する (録音設定)	151
音声案内が良く聞こえるようにする (消音設定)	152
映像系ソースの表示モードを設定する (ワイドモード)	152
リア画面への出力を設定する (ナビ画面リア映像出力)	153
モニターの開閉を設定する (オートフラップ設定)	153
自動開閉の設定	153
セットバックの設定	154

オートアンテナを設定する (オートアンテナ連動)	154
オートTA&EQを使う (オートTA&EQ測定)	155
ガイドや電話のスピーカーを設定する (ガイド/ハンズフリーSP設定)	155
5.1ch DSPユニットを設定する (5.1ch DSPユニット)	155
オーディオの設定をリセットする (オーディオ設定リセット)	156

## マルチCD

<b>マルチCDの再生</b>	<b>158</b>
50連奏マルチCDの使用について	158
再生する	158
再生画面について	158
CD TEXTについて	159
早送り/早戻しについて	159
再生を停止する	159
<b>いろいろな再生操作のしかた</b>	<b>160</b>
AVメニューを表示する	160
ソースメニューについて	160
ソースメニューでの	
いろいろなディスク操作	160
リピート再生	160
ランダム再生	161
スキャン再生	161
再生の一時停止	162
CDの音質を調節する	162
<b>ITS機能</b>	<b>164</b>
ITSについて	164
ITSを登録する	164
ITSで再生する	164
ITSの登録を消去する	165
ミュージックサーバーへの録音	165

## その他の機能

<b>モニターを設定する</b>	<b>168</b>
画質の調節	168

黒の濃さやコントラストを調節する	168
色の濃さや色合いを調節する	169
液晶画面の明るさを調節する	170
ワイド画面の拡大方法を切り替える	171
ワイドモードの種類	172
画面の表示モードを切り替える	173
ピクチャーサイドピクチャーに変更する	173
ピクチャーインピクチャーに変更する	173
<b>ビデオなどを見る</b>	<b>175</b>
ビデオなどの入力を設定する	175
ビデオなどの見かた	176
ミュージックサーバーへの録音	176
<b>バックカメラを使う</b>	<b>177</b>
入力設定をバックカメラに切り替える	177
バックカメラの切り替えかた	178
<b>リアモニターを組み合わせる</b>	<b>179</b>
リアモニターに表示される映像について	179
<b>リアモニター用リモコンを使う</b>	<b>180</b>
数字ボタンで選ぶとき	180
<b>OELディスプレイについて</b>	<b>181</b>
OELディスプレイの表示	181
OELディスプレイの表示を切り替える	181
<b>DISP</b> を押したとき	181
<b>ENT</b> を押したとき	182
<b>CLK</b> を押したとき	182
ファンクションモードを使う	182
<b>音声で操作できる機能</b>	<b>184</b>
<b>リビングキットで操作できる機能</b>	<b>185</b>
リビングキットとは	185
再生する	185
情報を取得する	185
録音する	185

## 付録

<b>MP3ファイル、WMAファイルについて</b>	<b>188</b>
フォルダーとMP3およびWMAファイルについて	188
MP3とは？	189
再生できるMP3ファイルについて	189
WMAとは？	189
再生できるWMAファイルについて	190
<b>地上デジタルテレビジョン放送について</b>	<b>190</b>
<b>言語コード表</b>	<b>193</b>
<b>DVD用語の解説</b>	<b>194</b>
<b>MP3、WMA用語の解説</b>	<b>195</b>
<b>故障かな？と思ったら</b>	<b>196</b>
共通項目	196
モニター	198
テレビ	199
ラジオ	199
MD (AVIC-ZH900MD)	200
DVD	200
CD、WMA/MP3ディスク	202
WMA/MP3ファイル	202
ミュージックサーバー	203
<b>こんなメッセージが表示されたら</b>	<b>204</b>
共通項目	204
DVD、CD、WMA/MP3ディスク	204
MD (AVIC-ZH900MD)	205
ミュージックサーバー	206
オートTA&EQ時のエラー	207
<b>索引</b>	<b>208</b>
メニュー索引	208
<b>用語索引</b>	<b>209</b>
五十音順	209
アルファベット順	210

# ご使用前に知っておいていただきたいこと

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ■ 安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、映像の上に以下のようなメッセージが表示されます。)また、走行中はナビゲーションやオーディオ、画面表示の各種設定・調節は一部できません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけ、メッセージが消えてから、操作してください。

(例)テレビを見ようとしたとき



## ■ リアモニターについて

リアモニター出力に後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リアモニター出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

## ■ 画面が見えにくいときは

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、モニターの角度や見る角度に合わせて黒の濃さを調節してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調節してください。

→「モニターを設定する」(P168)

## ■ バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、かならず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



•大気環境のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

## ■ 携帯電話をお使いになる際の注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをモニターに近づけないでください。画面に“はん点”や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

## ■ モニターの液晶画面を保護するために

本機を使用していないときは、モニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

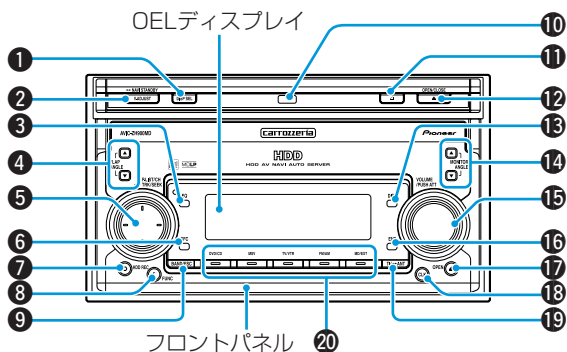
# 各部の名称とおもな働き

車で操作する、ナビゲーション本体、リモコン、ステアリングリモコンのオーディオに関する各部の名称とおもな働きを説明します。ナビゲーション本体やリモコン、ステアリングリモコンで同じ名称のボタンは同じ動作をします。

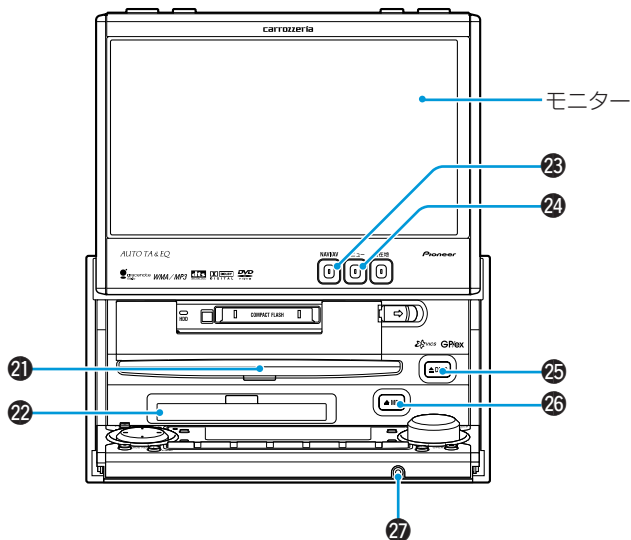
## ナビゲーション本体

(例) AVIC-ZH900MD (AVIC-ZH900はMD再生機能を搭載していません。)

閉じている状態 (モニター、フロントパネル)



開いている状態 (モニター、フロントパネル)



- ① **DISP SELボタン**  
画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときには使用します。
- ② **V.ADJSUT/NAVIスタンバイボタン**  
画面の画質を調節します。
- ③ **EQボタン**  
設定しているイコライザーカーブの名前を表示します。名前の表示中であれば、押すたびにイコライザーを切り替えます。
- ④ **フラップアングルボタン**  
フラップアングルボタンの▲/▼でフロントパネルの角度を調節します。
- ⑤ **◀/▶/▲/▼ボタン**  
曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ⑥ **SFCボタン**  
設定しているSFC(サウンドフィールドコントロール)の名前を表示します。名前の表示中であれば、押すたびにSFCを切り替えます。
- ⑦ **HDD RECボタン**  
現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了を行います。
- ⑧ **FUNCTIONボタン**  
OELディスプレイのファンクションメニューを表示します。
- ⑨ **BAND/ESCボタン**  
テレビやラジオのバンド(FM/AM)やメモリーを切り替えます。
- ⑩ **外光センサー**  
周囲の明るさを感知します。
- ⑪ **一時可倒ボタン**  
モニターを一時的に水平にします。
- ⑫ **OPEN/CLOSEボタン**  
モニターを開いたり、閉じたりするときに押します。
- ⑬ **DISPボタン**  
OELディスプレイに表示中のソース情報を切り替えます。長く押すとOELディスプレイに表示中のタイトルがスクロールします。
- ⑭ **モニターアングルボタン**  
モニターアングルボタンの▲/▼でモニターの角度を調節します。

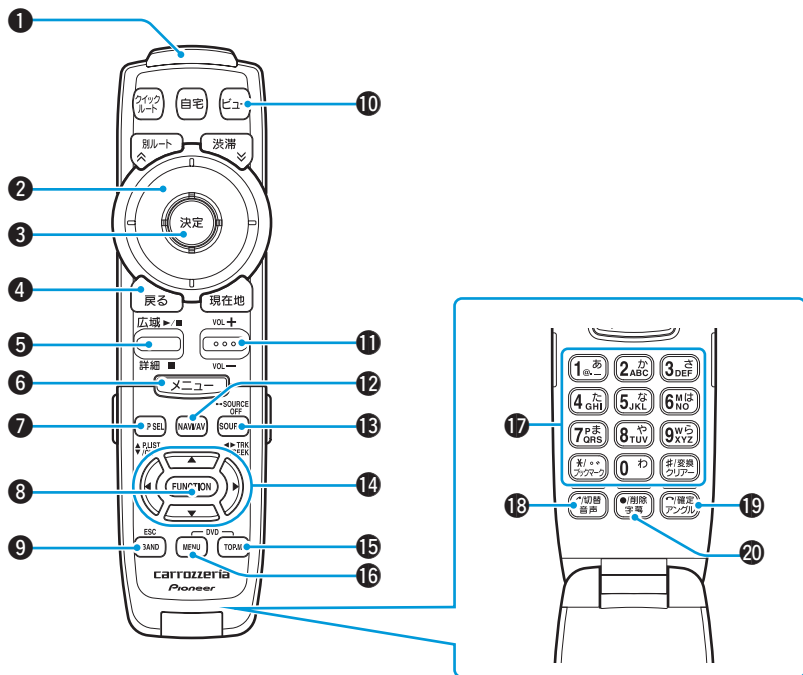
- ⑮ **ボリューム/ATTボタン**  
左右に回してボリュームを調節します。ボタンを押すと音量が約1/10になります。
- ⑯ **ENTボタン**  
OELディスプレイのエンタテインメント表示を切り替えます。
- ⑰ **OPENボタン**  
フロントパネルの開閉を行います。

**ご注意**

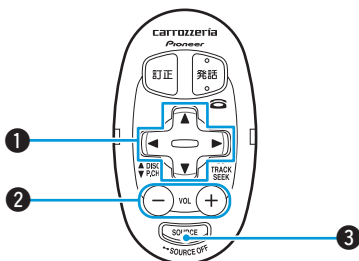
- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

- ⑱ **CLKボタン**  
OELディスプレイに時計を約8秒間表示させます。
- ⑲ **TI/ANTボタン**  
交通情報を受信します。長く押すとオートアンテナのON/OFFを設定します。
- ⑳ **ソースボタン**  
各ソースを切り替えます。
- ㉑ **ディスク挿入口**  
DVDやCDなどを挿入します。
- ㉒ **MD挿入口(AVIC-ZH900MD)**  
MDを挿入します。
- ㉓ **NAVI/AVボタン**  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ㉔ **メニューボタン**  
表示中のソースのAVメニューを表示します。
- ㉕ **ディスク取り出しボタン**  
DVDやCDなどを取り出すときに使用します。  
ディスクが挿入されているときは、「▲DISC」が点灯します。
- ㉖ **MD取り出しボタン(AVIC-ZH900MD)**  
MDを取り出すときに使用します。  
MDが挿入されているときは、「▲MD」が点灯します。
- ㉗ **音響特性測定用マイク入力端子**  
オートTA/EQを行うときに、付属の音響特性測定用マイクを接続します。

# リモコン



# ステアリングリモコン



## ■ リモコン

- ① **リモコン送信部**  
ここからリモコンの信号が送られます。
- ② **ユニバーサルパッド**  
項目の選択などに使用します。
- ③ **決定ボタン**  
項目の決定などに使用します。
- ④ **戻るボタン**  
一つ前の画面に戻るときに使用します。
- ⑤ **スケールレバー**  
DVD表示中は再生や一時停止、再生停止に使用します。
- ⑥ **メニューボタン**  
表示中のソースの各AVメニューを表示します。
- ⑦ **DISP SELボタン**  
画面設定画面が表示されます。2画面など画面設定するときを使用します。
- ⑧ **FUNCTIONボタン**  
OELディスプレイのファンクションメニューを表示します。
- ⑨ **BAND/ESCボタン**  
テレビやラジオのバンド(FM/AM)やメモリーを切り替えます。
- ⑩ **ビューボタン**  
ソース画面表示時に、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- ⑪ **ボリュームレバー**  
ボリュームレバーを+または-に倒し、音量を調節します。





## ■ ステアリングリモコン

- ① **◀/▶/▲/▼ボタン**  
曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ② **音量調節ボタン**  
音量調節ボタンの+/-で音量を調節します。
- ③ **SOURCEボタン**  
ソースを切り替えるときに使用します。長く押しとソースをOFFにします。

- ⑫ **NAVI/AVボタン**  
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- ⑬ **SOURCEボタン**  
ソースを切り替えるときに使用します。長く押しとソースをOFFにします。
- ⑭ **◀/▶/▲/▼ボタン**  
曲の早送りや早戻し、ラジオ、テレビの放送局を変えるときなどに使用します。
- ⑮ **TOP.M(DVD)ボタン**  
DVDの最上位のメニューを表示します。
- ⑯ **MENU(DVD)ボタン**  
DVDのディスクメニューを表示します。
- ⑰ **10キー**  
文字や数字の入力などに使用します。
- ⑱ **オフフック/切替ボタン**  
文字種の切り替えに使用します。DVD操作時は、音声言語の切り替えることができます。
- ⑲ **オンフック/確定ボタン**  
入力した文字の確定に使用します。DVD操作時は、アングルを切り替えることができます。
- ⑳ **録音/削除ボタン**  
現在再生中のソースをミュージックサーバーへ録音開始または録音終了したり、入力した文字を削除するときを使用します。DVD操作時は、字幕言語を切り替えることができます。

# 再生できるディスク(DVD、CD)の種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ  	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	12cm/片面 1層	133分
	2層	242分
	12cm/両面 1層	266分
2層	484分	
DVDビデオ 	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	8cm/片面 1層	41分
	2層	75分
	8cm/両面 1層	82分
2層	150分	
CD 	CD	74分
	12cm/片面	
	CDシングル	20分
	8cm/片面	

本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。








- DVDオーディオやDVD-ROMなどは再生できません。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されファイナライズされたものに限り、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-TEXTの音楽は再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CCCD(Copy Control CD)は正式なCD規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音したものの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。



- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD (Double Density CD) 形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC (パソコン) で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)

## DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比 : 横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

## ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式的操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS は米国Digital Theater Systems.Incの登録商標です。

※本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的著作権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

# ディスクの構成について

## DVDビデオ

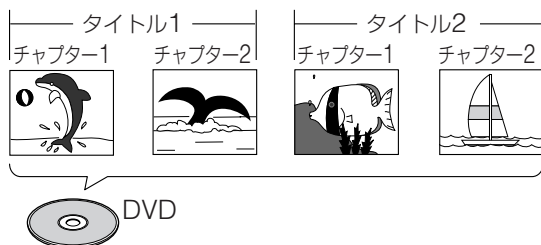
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

### ■映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

### ■カラオケディスク

1曲が1タイトルとなっています。

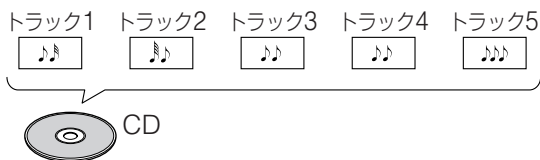


•上記のような構成(区切りのしかた)になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

## CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



# 長時間録音されたMDの再生について(AVIC-ZH900MD)

AVIC-ZH900MDはMDLPIに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

## MDLPIについて

MDLPIとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。



- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送(地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

## WMAについて

外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。



WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮方式です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# ディスクの入れかた・取り出しかた

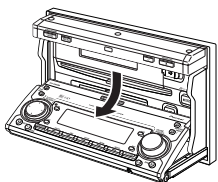
## ご注意

- フロントパネルを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたフロントパネルに体が当たったりして、思わぬけがをするおそれがあります。
- フロントパネルが完全にオープン／クローズしないうちに、操作しないでください。操作した場合(CDなどを挿入、取り出しボタンを押す)安全のためフロントパネルがその角度で停止します。
- フロントパネルを手で閉じないでください。フロントパネルが損傷するおそれがあります。
- フロントパネルを開けたとき、フロントパネルにコップや缶などの物を置かないでください。フロントパネルが損傷するおそれがあります。
- フロントパネルにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからフロントパネルを保護するため、ディスクを出し入れするとき以外は、フロントパネルを閉じておいてください。

## ディスクの入れかた

### 1 OPEN を押す

フロントパネルが開き、ディスクの挿入口があらわれます。



#### ご注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。

### 2 指定の挿入口にラベル面を上にしてディスクを差し込む

ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。



#### ご注意

- 8cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ディスクの挿入口には、ディスク以外のものを入れしないでください。

### 3 ディスクが奥まで挿入されると自動的にフロントパネルが閉じます

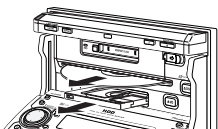
# ディスクの取り出しかた

## 1 OPEN を押す

フロントパネルが開きます。

## 2 ディスク取り出しボタンまたは、MD取り出しボタンを押す

ディスクが自動的に押し出されます。



### ご注意

- フロントパネルを開け閉めするときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。



- 出てきたDVDやCD、MDはすぐに取り出して保管してください。

## 3 ディスクを差し込み口から取り出したあと、もう一度 OPEN を押す

フロントパネルが閉じます。



- ブレインユニットが取り出されている場合は、ディスクを取り出すことはできません。再度ブレインユニットを入れディスクを取り出してください。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# フロントパネルが見にくいときに角度を調節する

フロントパネルの角度を調節して見やすくしたり、操作しやすくすることができます。

## 1 フラップアングルボタンを押してフロントパネルの角度を調節する

### フラップアングルボタン

▲：フロントパネルを起こす(立てる)

▼：フロントパネルを寝かせる(倒す)

フラップアングルボタンを長く押すと連続して傾いていき、離れたところで止まります。

### ご注意

- フロントパネルの角度を調節するときは、指などを挟まないようにご注意ください。特にお子さまなどにはご注意ください。



- フロントパネルの角度は7段階に調節できます。
- 車のエンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にすると、OFFにしてから約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度車のエンジンスイッチをON(本機の電源をON)にすると、元の位置に戻ります。

# ミュージックサーバーへの録音のご注意

録音する前に必ずお読みください。

## ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録





## 基本操作

<b>オーディオ基本操作</b> .....	<b>26</b>
基本操作.....	26
タッチ操作とリモコン操作の違いについて .....	26
AVメニュー操作.....	26
リスト操作.....	27
基本的なリストの操作.....	27
サブメニューの操作.....	27
チェックリストの操作.....	27
<b>ソースの切り替えかた</b> .....	<b>28</b>
ソースの切り替えかた .....	28
ソースをOFFにする .....	28
<b>画面の切り替えかた</b> .....	<b>29</b>
ソース画面の表示を切り替える .....	29
ソース画面に切り替える .....	29
<b>オートアンテナの操作について</b> .....	<b>30</b>
<b>音量を調節する</b> .....	<b>31</b>
音量調節のしかた .....	31
音量を一時的に下げる .....	31

# オーディオ基本操作

## 基本操作

本機はタッチパネルとリモコンのどちらでも操作することができます。

タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー(項目など)にタッチします。リモコンで操作するときは、ユニバーサルパッドの上/下/左/右に触れることで操作し、画面上のタッチキー(項目など)を選んで(決定)を押します。



- 本書では、タッチキーまたはリモコンでの操作を説明する場合、「～を選ぶ」と表記しています。
- 同様な場合や、独自の操作である場合は、「～にタッチする」や「(決定)を押す」などのように表記しています。また同様の操作であっても、説明上わかりやすくするために、タッチキーでの操作を記載し、リモコンでの操作をメモ中(メモ)に記載している箇所もあります。

## タッチ操作とリモコン操作の違いについて

画面上に表示されるタッチキーのうち、銀色で表示されているボタンはリモコンで選ぶことはできません。その場合は次のボタンを押して操作します。

タッチキー : リモコンボタン

	:	
	:	
	:	ユニバーサルパッド右
	:	ユニバーサルパッド左
	:	ユニバーサルパッド上/下
	:	

## AVメニュー操作

AVメニューとは、オーディオや映像に関する設定や操作を行うためのメニューです。AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。

### 1 メニューを押す

ソース画面 (→P29)が表示されている状態で を押してください。

### 2 項目を選ぶ



▼  
選んだ項目を実行する画面が表示されます。

### 3 メニューを閉じる場合は、戻るにタッチするか、リモコンの または を押します。

## リスト操作

通常再生中の画面などにタイトルのリストが表示されます。全リスト項目が画面上に表示しきれない場合は、1行、ページ送りボタンが表示されます。

### 基本的なリストの操作



#### 1行送り

リストを上下に1行移動します。

タッチ操作：↑ ↓ にタッチする

リモコン操作：ユニバーサルパッドを上/下に操作する

#### ページ送り

一画面ずつ移動します。

タッチ操作：↶ ↷ にタッチする

リモコン操作：別ルート 洗濯 を押す

#### タブ送り

タブ付きリストでは、選んだタブのリストに切り替わります。

タッチ操作：グループリスト にタッチする

リモコン操作：ユニバーサルパッドを左/右に操作する

## サブメニューの操作



#### サブメニュー

▶が表示されているときは、サブメニューを表示できます。サブメニューでは、リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

タッチ操作：▶ にタッチする

リモコン操作：ユニバーサルパッドを右に操作する



•サブメニューを閉じるには、◀ にタッチするかユニバーサルパッドを左に操作します。

## チェックリストの操作



チェックリストでは、項目を選ぶと「☑」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶと「☑」が消え、選択が解除されます。またチェックリストでは、サブメニューを表示できるものがあり、サブメニューから全選択、全解除を操作することもできます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# ソースの切り替えかた

ラジオや、CD、ミュージックサーバーなどの音源、およびテレビやDVD、VTR（ビデオなど）の映像をソースと呼びます。

ソースを切り替えると、画面にそれぞれの状態が表示されます。

## ソースの切り替えかた

ソースを切り替える方法は、次の2種類があります。

### SOURCEを押す

**SOURCE** を押すごとに、以下のように切り替わります。

**DVD・CD・WMA/MP3**→マルチCD→  
ミュージックサーバー→テレビ→VTR1→  
VTR2→FM/AM→MD→EXT1→  
EXT2→DVD・CD・WMA/MP3に戻る

### 各ソースのボタンを押す

**DVD/CD** : DVDやCD、WMA/MP3、マルチCDなど、接続およびセットされたディスクのソースに切り替えます。  
**DVD・CD・WMA/MP3**→  
マルチCD→OFF→DVD・  
CD・WMA/MP3に戻る

**MSV** : ミュージックサーバーに切り替えます。  
ミュージックサーバー↔OFF

**TV/VTR** : テレビや **AV入力設定**（→P175）で設定した外部機器（ビデオなど）に切り替えます。  
テレビ→VTR1→VTR2→  
OFF→テレビに戻る

**FM/AM** : ラジオの放送を受信します。  
FM/AM↔OFF

**MD/EXT** : MDや本機に接続したエクスターナルユニットに切り替えます。  
MD→EXT1→EXT2→OFF  
→MDに戻る



- 接続していないソースには切り替わりません。
- ディスクがセットされていないソースには切り替わりません。
- **AV入力設定**（→P175）でVTR1をONまたはVTR2をONにしないと、VTR1またはVTR2に切り替わりません。
- VTR2をバックカメラとして使用している場合は、VTR2には切り替わりません。
- 非再生ディスクが挿入された場合は[再生できません。ディスクを取り出してください。]と表示されます。
- EXT（エクスターナルユニット）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のEXT（エクスターナルユニット）をコントロールすることができます。
- AVIC-ZH900IはMD再生機能を搭載していません。**MD/EXT** は **EXT** になります。

## ソースをOFFにする

### 1 SOURCEを長く押す

ソースがOFFになります。  
もう一度 **SOURCE** を押すと、OFFにする前のソース画面に戻ります。



- 各ソースボタンを押して、「OFF」を選択しても、ソースをOFFにすることができます。

# 画面の切り替えかた

## ソース画面の表示を切り替える

画面のリストを消してソースプレートのみ  
の表示にしたり、ソースプレートも消して  
画面右下にタイトルまたは放送局名など  
のみの表示にすることができます。

### 1 ビューを選ぶか、**ビュー**を押す

選ぶごとに画面表示が以下のように切り  
替わります。

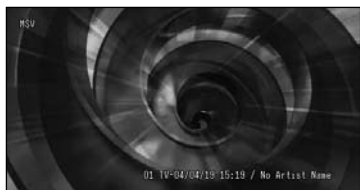
通常画面



▼  
ソースプレートのみ画面



▼  
タイトルなどのみの画面



▼  
通常画面



- 画面にタッチすると、通常画面に戻す  
ことができます。
- テレビ、DVDは、画面タッチ、**決定**、**ビュー**  
を押して映像画面から通常操作画面や操  
作タッチキーを表示させることができま  
す。映像画面に戻す場合は**ビュー**また  
は**ビュー**を押します。ただしテレビの通常  
操作画面は約8秒で映像画面に戻ります。
- VTRは画面タッチ、**決定**、**ビュー**を押して  
ソースプレートを約8秒間表示させるこ  
とができます。映像画面に戻す場合  
は**ビュー**または**ビュー**を押します。

## ソース画面に切り替える

ナビゲーション画面からソース画面(テレビ、  
VTR、DVD、CD・WMA/MP3ディスク、MD、  
ミュージックサーバー、マルチCDなど)に切  
り替えます。

### 1 **NAVI/AV**を押す

**NAVI/AV**を押すごとに、以下のように映像が  
切り替わります。

ナビゲーション画面



▼  
ソース画面



はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# オートアンテナの操作について

本機をオートアンテナ装備車に取り付けた場合は、エンジンスイッチのON(本機の電源ON)に連動してオートアンテナが上がる場合があります。屋内ではご注意ください。

オートアンテナは、本機の操作で上げ下げすることができます。



- 本機をアンテナブースター電源装備車に取り付けた場合、エンジンスイッチがONになると、アンテナブースターにも電源が供給されます。

## 7

### TI/ANT を長く押す

ボタンを長く押すごとにオートアンテナがON(上げる)とOFF(下げる)に切り替わります。



- オートアンテナ装備車またはアンテナブースター電源装備車以外では常にオートアンテナの設定(→P154)をONにしておいてください。OFFに設定するとFM/AMラジオの受信ができなくなる場合があります。(車載のアンテナをVICS/FM多重アンテナ接続端子に接続した場合、VICS/FM多重放送も受信できなくなります。)
- オートアンテナのON/OFF動作を、エンジンスイッチと連動させるか、ラジオソース(FM/AM)と連動させるかを設定することができます。  
→「オートアンテナ設定」(P154)
- 10キーカスタマイズ設定で10キーに「オートアンテナをON/OFFする」機能を割り当てておくと、リモコンでオートアンテナの操作ができます。  
→『ナビゲーションブック』

# 音量を調節する

音量を調節する方法は、次の2種類があります。

## ご注意

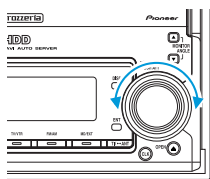
車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因となります。安全運転をさまたげないように適度な音量でお聞きください。



- 0～40の範囲で調節できます。
- ボリューム調節画面は、約4秒間表示されます。
- 5.1ch DSPユニットの設定がONになっているときは、音量調節できません。

## 音量調節のしかた

### ■ ボリュームを回して音量を調節する



右：音量を大きくするとき

左：音量を小さくするとき

### ■ ボリュームレバーまたは音量調節ボタンで音量を調節する

ボリュームレバー、音量調節ボタン

[+]：音量を大きくするとき

[-]：音量を小さくするとき

## 音量を一時的に下げる

車内の会話が聞き取りにくいときなど、瞬時に音量を小さくすることができます。

### 1 ボリューム(ATTボタン)を押す

アッテネーター機能が働き、音量が約1/10になります。

もう一度押すと、アッテネーター機能が解除します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録





# テレビ/ラジオ/交通情報

ここではいろいろなテレビの受信方法や操作方法を説明します。

- 放送の受信（テレビ、ラジオ） ..... 34**
  - テレビやラジオの放送を受信する ..... 34
    - 手動選局と自動選局について ..... 35
  - テレビ、ラジオ放送の受信をやめる ..... 35
  - 記憶された放送局の呼び出ししかた ..... 35
    - バンドやメモリーの切り替えしかた ..... 36
    - プリセットの種類を選ぶ ..... 36
    - プリセット放送局を選ぶ ..... 36
- いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた ..... 37**
  - AVメニューを表示する ..... 37
    - ソースメニューについて ..... 37
  - ソースメニューでのいろいろな受信操作 ..... 37
    - 放送局の自動記憶 ..... 37
    - 音声多重の切り替え（テレビ） ..... 38
    - リストの切り替え（テレビ） ..... 38
  - 放送局の手動記憶 ..... 39
  - ミュージックサーバーへの録音 ..... 39
- 交通情報を聞く ..... 40**
  - ミュージックサーバーへの録音 ..... 40

# 放送の受信(テレビ、ラジオ)

## テレビやラジオの放送を受信する

### ご注意

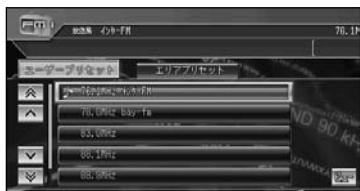
- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターでテレビ映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、テレビ映像は表示されません。

## 7 TV/VTR または FM/AM を押して、ソースを切り替える

通常操作画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。



- テレビの通常操作画面は約8秒で消えます。もう一度通常操作画面を表示したいときは、画面にタッチします。
- **[SOURCE]** を押して切り替えることもできます。(→P28)
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをテレビやラジオにした場合は、音声のみ切り替わります(→P29)。**[NAVI/AV]** を押すとそれぞれのソースの通常画面になります。



## 2 リストの中の受信したい放送局を選ぶ

### ■ リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい放送局にタッチする
- カーソルを移動して**[決定]**を押す(→P26)

### ■ 本体またはリモコンで選ぶ場合：

▲：次の放送局を選ぶとき

▼：前の放送局を選ぶとき

選んだ放送局を受信します。



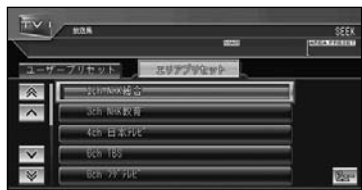
- ラジオの受信で、バンドを切り替えたい場合は**[BANDESC]**を押します。
- ステレオ放送を受信した場合は、[STEREO]が表示され、テレビの音声多重放送を受信した場合は、[BILINGUAL]が表示されます。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささぎられやすい場所、電波の弱い地域では、感度が悪くなる場合があります。
- 走行中にテレビの映像を見ることができませんが、放送局を選局することはできます。(音声を聞くこともできます。)
- 放送局は、テレビ(TV1、TV2)にそれぞれ12局、ラジオ(FM1、FM2、AM1、AM2)にそれぞれ6局まで、記憶(プリセット)させることができます。放送局の切り替えなどの操作は、「記憶された放送局の呼び出ししかた」(→P35)を参照してください。

## 手動選局と自動選局について

◀/▶を操作して選局することができます。

手動選局(1ステップずつ)する場合は、◀/▶を押します。

自動選局する場合は、◀/▶をしばらく押し続けます。操作をやめたところから、自動選局が始まります。(自動選局中は「SEEK」と表示されます。)



◀ : チャンネルまたは周波数の低い方へ選局するとき

▶ : チャンネルまたは周波数の高い方へ選局するとき

## テレビ、ラジオ放送の受信をやめる

### 1 SOURCE を長く押す

テレビ、ラジオ放送の受信をやめます。



- 各ソースのボタン (TV/VTR) 、 (FM/AM) を押し続けてOFFを選んで、受信をやめることができます。

## 記憶された放送局の呼び出し

あらかじめ記憶されている放送局から、お好みの放送局を呼び出すことができます。(プリセットチューニング) プリセットチューニングには、ユーザープリセットから呼び出す方法とエリアプリセットから呼び出す方法の2種類があります。



- 本機は、テレビにTV1とTV2、ラジオのFMにFM1とFM2、AMにAM1、AM2のメモリーがあり、それぞれのメモリーでユーザープリセットとエリアプリセットを選ぶことができます。

### 便利な使い方：

ふだんお使いになっている地域の放送局はメモリーのTV1やFM1、AM1にユーザープリセットで記憶させておきます。旅行などで周波数の異なる地域に移動したときに、メモリーのTV2やFM2、AM2にエリアプリセットで記憶させます。ふだんお使いになる周波数の記憶はTV1、FM1、AM1に残ったままです。

### ユーザープリセット放送局

「放送局の自動記憶」(→P37)および「放送局の手動記憶操作(マニュアルプリセット)」(→P39)で記憶させた放送局です。

### エリアプリセット放送局

ナビゲーションがあらかじめ記憶している、エリア別の放送局です。現在地に応じたリストが自動的に選ばれます。遠くへ出かけるときなどに使うと便利です。

※テレビの受信時、エリアプリセットの収録放送局は、2003年12月時点での情報に基づいて収録されています。テレビ放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／  
交通情報

音楽ディスク

D V D

ミュージック  
サーバー

A V 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## バンドやメモリーの切り替えかた

ラジオのバンド(FMとAM)切替えやメモリーを切り替えます。

### 7 BAND/ESCを押す

押すたびに以下のようにプリセットのメモリー、ラジオではバンドも切り替わります。

#### ■ テレビ

TV1↔TV2

#### ■ ラジオ

FM1→FM2→AM1→AM2→FM1に戻る

## プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局を呼び出す(ユーザープリセット)か、自車位置付近の放送局を呼び出す(エリアプリセット)かを選びます。

### 7 ユーザープリセットまたはエリアプリセットを選ぶ



ここで選んだプリセットの種類が、次回に表示されるプリセットになります。

## プリセット放送局を選ぶ

「プリセットの種類を選ぶ」で選んだプリセットのリストから選びます。

### 7 プリセット放送局を選ぶ



#### ■ リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい放送局にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す(→P26)

#### ■ 本体またはリモコンで選ぶ場合：

- ▲： 次のプリセット放送局を呼び出すとき
- ▼： 前のプリセット放送局を呼び出すとき



- ユーザープリセットでは、プリセットされた放送局は、プリセットNo.に振り分けられて記憶されています。プリセットされた放送局を受信すると、ソースプレートに振り分けられたプリセットNo. (例:P1)が表示されます。
- リスト表示されても、現在地の環境や電波状況によって、受信できない場合があります。

# いろいろなテレビ・ラジオ操作のしかた

テレビのBSSM、音声多重、リスト切り替えのしかたやラジオのBSMのしかたなど、AVメニューを表示してソースメニューから行う受信・記憶操作や、その他の機能の操作について説明します。

## AVメニューを表示する

選んでいるソースのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。

### ■ テレビ



### ■ ラジオ



•AVメニューからAV初期設定を表示させることができます。

**オーディオ設定** :→「オーディオ設定画面を表示する」(P114、127)

**システム設定** :→「システム設定画面を表示する」(P148)

## ソースメニューでの いろいろな受信操作

### 放送局の自動記憶

メモリー(→P36)ごとに、受信状態の良いチャンネルをテレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、自動的に記憶させることができます。

### 1 **BSSM** (テレビ)、または **BSM** (ラジオ)をサーチが開始されるまでタッチし続ける



**中止** を選ぶと、BSSMやBSMを中断します。



サーチ後、ユーザープリセット放送局が表示されます。  
サーチされた放送局は各プリセットNo.に振り分けられてリストにプリセット(記憶)されます。

つづく→



- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。
- BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

## 音声多重の切り替え(テレビ)

音声多重放送(2カ国語放送)を受信しているときは、主音声(日本語)と副音声(外国語)を切り替えることができます。



- 音声多重放送の場合は、一般的に主音声を日本語、副音声を外国語で放送していますが、逆の場合もあります。

## 1 音声多重を選ぶ

選ぶごとに、以下のように切り替わります。

**MAIN→SUB→MAIN+SUB→MAIN**に戻る

**MAIN** : 主音声(日本語)

**SUB** : 副音声(外国語)

**MAIN+SUB** : 主・副音声(日本語+外国語)



- 「MAIN+SUB」の場合、左側スピーカーより主音声、右側スピーカーより副音声が出力されます。

## リストの切り替え(テレビ)

表示されるリストの大小を選ぶことができます。例えば停車中、テレビ画面を確認しながらリストから選局する場合、大きなリストだと背景のテレビ画面が見えない為、リストを小さくして切り替えることができます。

## 1 リスト小を選ぶ



- すでにリスト小で画面表示されている場合は、タッチキーが **リスト大** となり、選ぶことで通常のリスト表示にすることができます。



リストの大小を設定して通常画面に戻ります。



- 走行中は、リストの大小の設定に関係なくリスト大で表示されます。

## 放送局の手動記憶

メモリー(→P36)ごとに、テレビはTV1とTV2に各12局、ラジオはFM1とFM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で記憶させることができます(マニュアルプリセット)。

### 1 ◀/▶を左右に押して記憶させたい放送局を選ぶ

### 2 記憶させたいリストのプリセットNo.の枠をピッと鳴るまで選び続ける



現在受信中の放送局が、選んだプリセットNo.でユーザープリセット放送局に記憶されます。

記憶させた放送局の呼び出しかたは、「記憶された放送局の呼び出しかた」(→P35)を参照してください。

## ミュージックサーバーへの録音

テレビやラジオの放送中の音声はミュージックサーバーに録音することができます。

→詳しくは「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

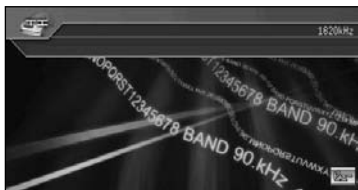
# 交通情報を聞く

交通情報の受信周波数 AM1,620kHz、1,629kHzを簡単に受信することができます。



- この機能は、ソースがOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

## 1 **TI/ANT** を押す



交通情報画面が表示されます。  
前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

## 2 **◀/▶** を押して周波数を切り替える

- |   |                 |
|---|-----------------|
| ◀ | : 1.620kHzにするとき |
| ▶ | : 1.629kHzにするとき |

## 3 もう一度 **TI/ANT** を押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前のソースに戻ります。



- 交通情報を受信しているときに、音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り替えて音量を調節しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。
- 交通情報を受信しているときはAVメニューを表示することはできません。

## ミュージックサーバーへの録音

交通情報はミュージックサーバーに録音することができます。  
→詳しくは「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。



## 音楽ディスクの再生(CD、WMA/MP3、MD)

ここではいろいろな音楽ディスクの再生、  
操作方法を説明します。  
(AVIC-ZH900はMD再生機能を搭載していません。)

<b>音楽ディスクの再生</b> .....	<b>42</b>
再生する .....	42
再生画面について .....	42
早送り/早戻し・ラフサーチについて .....	44
再生を停止する .....	45
再生を一時停止する .....	45
詳細情報を表示する(MP3) .....	45
<b>いろいろな再生操作のしかた</b> .....	<b>46</b>
AVメニューを表示する .....	46
ソースメニューについて .....	46
ソースメニューでのいろいろな再生操作 .....	47
リピート再生 .....	47
ランダム再生 .....	47
スキャン再生 .....	48
サーチモードの切り替え(CD、WMA/MP3) ...	49
ミックスCD内のデータ形式の切り替え .....	49
ミュージックサーバーへの録音(CD、MD) .....	50

# 音楽ディスクの再生

## 再生する

CD、WMA/MP3、MDなどの音楽ディスクを再生するには、次のようにします。

### 1 ディスクを挿入する (→P20)

自動的に再生が始まります。



- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。

### 2 リストの中から聴きたい曲を選ぶ

#### ■ リストから直接選ぶ場合：

- 聴きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して **(決定)** を押す(→P26)

#### ■ 本体またはリモコンで選ぶ場合：

**(戻る)** : 前の曲を選ぶとき

**(再生)** : 次の曲を選ぶとき



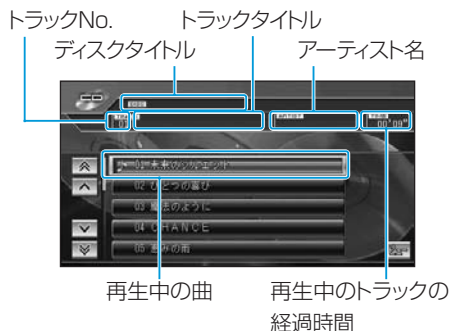
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- CDシングル(8cmCD)もアダプターなしでセットします。アダプターは絶対に使用しないでください。
- MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。
- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください(→P28)。
- ミュージックサーバーの出荷時の録音モードは「オート」です。はじめて再生するCDの場合、自動的にCD録音中画面になりミュージックサーバーに録音されます。ミュージックサーバーに自動で録音しない場合は、設定を変更してください。→「システム設定」(P148)

- CD録音中は、曲の選択や早送り/早戻しなどの操作はできません。選曲操作などを行いたい場合は、録音を中止してください。→「録音を停止するには」(P76)
- WMA/MP3は録音できません。MDIは手動で録音することができます。→詳しくは「ミュージックサーバーとは」(P72)を参照してください。

## 再生画面について

### ■ CD

通常再生中の場合



- 内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。
- 録音を停止して、未録音の曲がある場合は、**(決定)** が表示されます。

## ミュージックサーバーに録音中の場合

録音表示 録音プログレスバー 録音済み曲数



再生中の曲

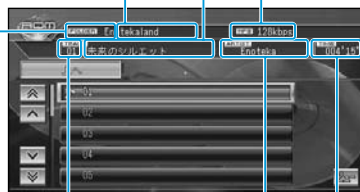
→詳しくは「ミュージックサーバーに録音する」(P73)を参照してください。



- ディスクタイトルやトラックタイトル、アーティスト名が長いと、表示可能な文字数までの表示となります。
- 表示可能文字数は画面の状態（1画面、ピクチャーサイドピクチャーなど）により異なります。
- CDとミュージックサーバーは共通のデータベースよりタイトルが取得されます。
- 内蔵のデータベースに記憶されていなかったり、複数のタイトル候補が記憶されているディスクの場合は、[No Title]と表示されます。
- [No Title]と表示されたディスクでも、ミュージックサーバーの機能で「タイトル情報の取得」を行うと表示することができる場合があります。→「タイトル情報を取得する」(P111)
- ミュージックサーバーに録音済みのCDを再生する場合は、ミュージックサーバーにある情報、またはミュージックサーバーで編集した情報（タイトルなど）が表示されます。
- CD録音中は、曲を選択することや、早送り／早戻し、一時停止、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ミックスCD内のデータ形式を切り替えることはできません。

## WMA/MP3

フォルダーNo.      トラックタイトル  
フォルダータイトル      ビットレート



トラックNo.      アーティスト名  
再生中のトラックの経過時間

MP3はID3 Tag(→P195)からタイトル情報を取得できた場合、ソースプレートにタイトルやアーティスト名が表示されます。



- フォルダータイトルやトラックタイトル、アーティスト名は全角16文字（半角32文字）の表示ができます。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてソースプレートに表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAは、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAの時にタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- を選ぶと、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- を選ぶと、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。
- 再生できないWMA/MP3ファイルだけ、またはWMA/MP3ファイルを含まないフォルダーは表示されません。
- 音楽データ(CD)とWMA/MP3形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、音楽データはフォルダーのみ表示され、WMA/MP3ソースでは再生できません。 を押すかソースメニュー(→P49)からCDに切り替えて音楽データを再生してください。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

つづく→

音楽ディスクの再生

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

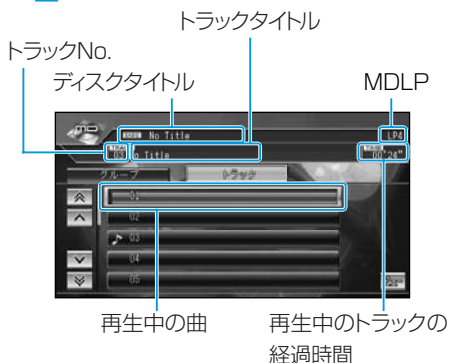
システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## MD



- タイトルは、全角16文字(半角32文字)の表示ができます。(ただし、半角、全角の混在はできません。)
- 一部、表示できない文字があります。
- タイトルが記憶されていない場合は、[No Title]と表示されます。
- **トラックリスト** を選ぶと、MDに録音されている全ての曲をリスト表示します(再生中の曲を先頭)。
- **グループリスト** を選ぶとグループリストを表示します。

## 早送り/早戻し・ラフサーチについて

再生中のディスクを早送り/早戻しします。またCD・WMA/MP3を再生中の場合は、10曲飛ばすラフサーチが行えます。



- 早送り/早戻しとラフサーチを切り替える場合は、「サーチモードの切り替え」(→P49)を参照してください。

### 1 ◀/▶を押し続ける

#### 早送り/早戻し：

操作をやめたところから再生されます。

◀：早戻しするとき

▶：早送りするとき

#### ラフサーチ：

10曲飛び後の曲から再生されます。

◀：前に10曲飛ばすとき

▶：後へ10曲飛ばすとき



- ラフサーチは、収録が10曲以下のディスクまたはフォルダーでは、ディスクまたはフォルダー内の最初と最後の曲を選曲します。またラフサーチ後に残りの曲数が10曲以下になった場合も同様になります。

## 再生を停止する

### 1 SOURCE を長く押す

ディスクの再生が停止します。



- 各ソースのボタン **DVD/CD**、**MD/EXT** を押してOFFを選んで、再生を停止することができます。

## 再生を一時停止する

### 1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 ポーズ/再生 を選ぶ



ディスクの再生が一時停止します。

**ポーズ/再生** をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。

## 詳細情報を表示する (MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

CD、WMA、MDでは操作できません。

### 1 再生中の曲をリストから選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 詳細情報 を選ぶ



ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報 (ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年) が表示されます。

**戻る** を選ぶと元の画面に戻ります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
スーパー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生など、AVメニューを表示してソースメニューから行う再生操作や、その他の機能の操作を説明します。

## AVメニューを表示する

選んでいるソースのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー**を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る**を選ぶか**戻る**を押すと元の画面に戻ります。



•AVメニューからのAV初期設定を表示させることができます。

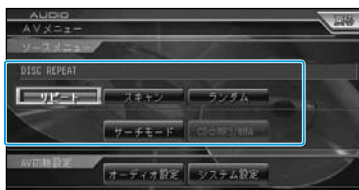
**オーディオ設定** : →「オーディオ設定画面を表示する」(P114, 127)

**システム設定** : →「システム設定画面を表示する」(P148)

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があり、ソースメニューは選んだソースごとに異なります。

### CD



### WMA/MP3



### MD



# ソースメニューでの いろいろな再生操作

それぞれのソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。



- CD 録音中は **リピート**、**ランダム**、**スキャン**、**サーチモード**、**CD→MP3/WMA** は操作できません。

## リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートを TRACK REPEAT にすると再生中の曲を繰り返し聴くことができます。

## 1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

### ■ CD:

DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

### ■ WMA/MP3:

DISC REPEAT → TRACK REPEAT  
→ FOLDER REPEAT → DISC REPEAT  
に戻る

### ■ MD:

DISC REPEAT → TRACK REPEAT  
→ GROUP REPEAT → DISC REPEAT  
に戻る

**DISC REPEAT** : 通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。

**TRACK REPEAT** : 再生中のトラック(曲)を繰り返します。

**FOLDER REPEAT** : 再生中のフォルダーを繰り返します。(WMA/MP3のみ)

**GROUP REPEAT** : 再生中のグループを繰り返します。(グループ指定してあるMDのみ)



設定したリピートの範囲は、ソースプレートに表示されます。



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生であるDISC REPEATは、ソースプレートに表示されません。

## ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→前項)で、曲順を変えて再生することができます。

## 1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります (ONにすると「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。

つづく→

いろいろな再生操作のしかた

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り替わります。

CD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT

MD : GROUP REPEAT

- グループ指定していないMDはDISC REPEATにします。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を越える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

## スキャン再生

選んだリピートの範囲(→P47)で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー/グループ内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダー、グループを探すときに使います。

## 7 リピートの範囲を以下のように指定する(→P47)

### 聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3)、グループ(MD)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します。

CD : DISC REPEAT

WMA/MP3 : FOLDER REPEAT

MD : GROUP REPEAT



- グループ指定していないMDはDISC REPEATにします。
- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、上記のリピートの範囲に切り替わります。

## 聴きたいフォルダー(WMA/MP3)、グループ(MD)を探すとき

ディスク内の全フォルダー/グループの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

## 2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります(ONにすると「(リピート範囲)-SCAN」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-SCAN」が表示されます。



- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## 3 聴きたい曲またはフォルダー/グループが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダー/グループが再生されます。



- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(フォルダーの切り替えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。



## サーチモードの切り替え (CD、WMA/MP3)

CD、WMA/MP3では◀/▶を長く押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

MDでは操作できません。

### 1 サーチモードを選ぶ



### 2 設定するサーチモードを選ぶ



FF/REW：早送り/早戻しになります。

ラフサーチ：ラフサーチになります。

## ミックスCD内のデータ形式の切り替え

CD-ROM、CD-R/RWなどで、音楽データ(CD)とWMAやMP3形式のデータが混在しているディスク(ミックスCD)を再生中の場合、ソースがデータと一致していないと再生できません。ミックスCDで違う形式のデータを再生したいときは、ソースを切り替えます。

MDでは操作できません。

### 1 CD↔MP3/WMAを選ぶ



再生するデータ形式のソースに切り替わり、最初の曲から再生が始まります。



- **BAND/ESC** を押して切り替えることもできます。
- 挿入されているディスクがミックスCDでない場合は、**CD↔MP3/WMA** は操作できません。
- 一時停止中は操作できません。
- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ミュージックサーバーへの 録音 (CD、MD)

CD、MDはミュージックサーバーに録音することができます。



•CDなどをデジタル録音した記録媒体 (CD-Rなど) から、ミュージックサーバーに録音 (コピー) することはできません。また、ミュージックサーバーからCF型メモリーカードにコピーすることもできません。これは孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム (SCMS) の働きによるものです。

### CD

CD録音は、「オート」「マニュアル」「シングル」のいずれかで録音することができます。

→詳しくは「ミュージックサーバーに録音する」(P73)を参照してください。

### MD

MDはアナログソースとして録音することができます。

→詳しくは「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。

# DVD

## DVDの再生 ..... 52

リモコンをDVD操作に使うとき ... 52

再生する ..... 52

DVD再生をやめる ..... 52

再生を停止する ..... 53

静止画再生する ..... 53

観たい場所を探す ..... 53

    タイトルを進める/戻す ..... 53

    チャプターを進める/戻す ..... 53

    早送り/早戻しをする ..... 53

ディスクが自動的に再生しないときは ... 54

ディスクの再生操作について ..... 54

    操作タッチキーの表示と

    消しかた ..... 54

ディスクメニューの操作 ..... 55

    ディスクメニューの表示 ..... 55

    ディスクメニューの操作 ..... 55

操作タッチキーで観たい場所を探す 55

    チャプターを進める/戻す ..... 56

    早送り/早戻しをする ..... 56

操作タッチキーで再生を

停止する ..... 56

観たい場面をダイレクトに選ぶ .. 57

操作タッチキーでいろいろな

操作をする ..... 58

    静止画再生 ..... 58

    コマ送り再生 ..... 58

    スロー再生 ..... 58

    ブックマークの記憶 ..... 59

字幕言語の切り替え ..... 60

音声言語の切り替え ..... 60

アングルの切り替え ..... 61

ディスクに指定された位置まで

戻って観る ..... 61

## DVDのAVメニューでの操作 ... 62

AVメニューを表示する ..... 62

    ソースメニューについて ..... 62

ソースメニューでの

いろいろな再生操作 ..... 62

    リピート再生 ..... 62

    音声出力の切り替え ..... 63

## DVD初期設定のしかた ..... 64

DVD初期設定メニュー

を表示する ..... 64

初期設定をする ..... 64

    字幕言語を設定する ..... 64

    音声言語を設定する ..... 65

    メニュー言語を設定する ..... 65

    アシスト字幕の表示/非表示を

    設定する ..... 66

    アングル選択マークの

    表示/非表示を設定する ..... 66

    テレビアスペクト

    (画面の縦横比)を設定する ... 66

    視聴制限を設定する ..... 67

    オートプレイを設定する ..... 68

    ダイナミックレンジ

    コントロールの設定 ..... 69

# DVDの再生

## リモコンをDVD操作に使うとき

本機では、ソースがDVDで、AVメニュー(→P62)からの操作以外の通常操作を、リモコンから行うことができます。

## 再生する

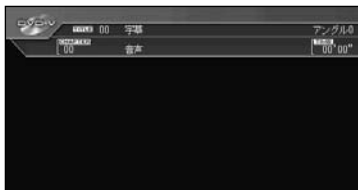
### ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を観ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

DVDの映像ディスクを再生するには、次のようにします。

## 1 ディスクを挿入する(→P20)

自動的に再生が始まります。



- ディスクによっては、ディスクメニューが表示されるものがあります。→「ディスクメニューの操作」(P55)
- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- DVDの録音レベルは他のソースより低いため、他のソースからDVDに切り替えると、音が小さく感じられます。このような場合、ソースレベルアジャスターで音量の違いをそろえることができます。(→P125、133)

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り替えてください。(→P28)
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをDVDにした場合は、音声のみ切り替わります(→P29)。**NAV/AV**を押すとそれぞれのソースの通常画面になります。
- ブックマーク(→P59)の設定によっては、記憶されたブックマークから再生される場合があります。
- オートプレイ(→P68)の設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。

## DVD再生をやめる

ディスクの再生が停止し、ソースがOFFになります。

## 1 SOURCE を長く押す



- **DVD/CD** を押して「OFF」を選んでも、ソースをOFFすることができます。

## 再生を停止する

ソースはDVDのまま、ディスクの再生を停止します。

### 1 再生中に、スケールレバーを【詳細】(■)側に倒す

通常の再生に戻るには、【広域】(▶/■)側に倒します。



- 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、停止できないことがあります。

## 静止画再生する

### 1 再生中に、スケールレバーを【広域】(▶/■)側に倒す

再生中の映像を一時停止し、静止画として観ることができます。

通常の再生に戻るには、もう一度【広域】(▶/■)側に倒します。



- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘(禁止マーク)が表示され、静止画再生できない場合があります。

## 観たい場所を探す

◀/▶/▲/▼を押して、タイトルやチャプターを切り替えたり、早送り/早戻しをしたりして、観たい場所を探することができます。



- 操作タッチキー(→P54)を操作して探すこともできます。「操作タッチキーで観たい場所を探す」(→P55)を参照してください。

## タイトルを進める/戻す

### 1 ▲/▼を押す

タイトルが順に送られます。

▲：タイトルを進める

▼：タイトルを戻す

## チャプターを進める/戻す

### 1 ◀/▶を押す

チャプターが順に送られます。

◀：チャプターを戻す

▶：チャプターを進める

## 早送り/早戻しをする

### 1 ◀/▶を押し続ける

操作をやめたところから、再生されます。

◀：早戻しするとき

▶：早送りするとき



- 約5秒以上押し続けると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻るには、スケールレバーを【広域】(▶/■)側に倒します。
- ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

## ディスクが自動的に再生しないときは

ディスクによっては、ディスクをセットした後に映像選択メニューなどが表示され、自動的に再生を開始しない場合があります。その場合は、次の手順で操作タッチキーを操作し再生を開始します。



- ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。
- オートプレイの設定をONにすると、若いタイトルから自動的に再生することができます。

→ 「オートプレイを設定する」(P68)

## 1 映像選択メニューなどが表示されたら、画面にタッチするか(決定)または(ビュ)を押す

操作タッチキー(→次項)が表示されます。

## 2 を選ぶ



ディスクメニューが表示されますので、「ディスクメニューの操作」(→P55)を参照して、再生を開始します。



- ④ にタッチして選ぶと“タッチ操作モード”となり、リモコン操作で選ぶと“リモコン操作モード”となります。
- 操作タッチキーが消えないときは、戻るを選ぶか(戻る)を押します。

## ディスクの再生操作について

DVDの再生操作は、操作タッチキーを表示して行います。

また、ディスクメニューを表示して操作することもできます(→P55)。

## 操作タッチキーの表示と消しかた

操作タッチキーは、映像ディスク再生中に画面にタッチするか、(決定)か(ビュ)を押して表示します。(ビュ)を選ぶか(ビュ)を押すと消えます。

## ■ 操作タッチキー(1ページ目)



- 次ページを選ぶと2ページ目の操作タッチキーを表示させることができます。

## ■ 操作タッチキー(2ページ目)



- 前ページを選ぶと1ページ目の操作タッチキーに戻ります。

## ディスクメニューの操作

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。



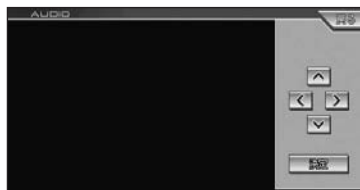
- ディスクメニューは左右を圧縮して映像全体を表示しています。

### ディスクメニューの表示

ディスクメニューには、画面のタッチキー操作で表示されるもの(タッチ操作モード)と、リモコン操作で表示されるもの(リモコン操作モード)があり、ディスクメニューの表示のしかたには、以下の3つの方法があります。

- 操作タッチキーの**トップメニュー**または**メニュー**にタッチする：タッチ操作モードになります。
- 操作タッチキーの**トップメニュー**または**メニュー**をリモコンで選ぶ：リモコン操作モードになります。
- 再生中に**[MENU]**または**[TOP.M]**を押す：リモコン操作モードになります。

#### タッチ操作モードの場合



画面にタッチして操作します。



- 項目をリモコンで操作することもできますが、その場合リモコン操作モードとなります。

#### リモコン操作モードの場合



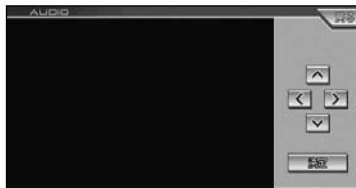
ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作します。

## ディスクメニューの操作

### 1 チャプターを選ぶ

タッチ操作モード：

矢印にタッチしてチャプターを選ぶ



チャプターを選んだ後、**決定**にタッチすると、選んだ映像が再生されます。

リモコン操作モード：

ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作する



チャプターを選んだ後、**(決定)**を押すと、選んだ映像が再生されます。

### 操作タッチキーで観たい場所を探す

操作タッチキーを操作して、チャプターを切り替えたり早送り/早戻しをしたりして、観たい場所を探すことができます。



- [<] / [>] / [▲] / [▼]**を押して探すこともできます。「観たい場所を探す」(→P53)を参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

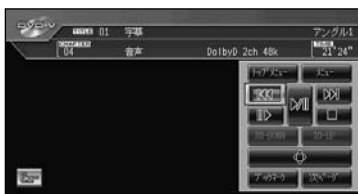
マルチCD

その他の機能

付録

## チャプターを進める/戻す

### 1 操作タッチキー(→P54)の◀◀ または▶▶にタッチする

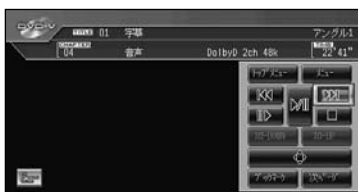


◀◀ : チャプターが1つ戻る

▶▶ : チャプターが1つ進む

## 早送り/早戻しをする

### 1 操作タッチキー(→P54)の◀◀ または▶▶にタッチし続ける



操作をやめたところから、再生されます。

- 再生中にタッチしたまま(約5秒以上)でいると、早送り/早戻しのままになります。通常の再生に戻るには、▶▶ を選ぶかスケールレバーを[広域](▶▶)側に倒します。
- ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

## 操作タッチキーで再生を停止する

ディスクの再生を停止します。

### 1 操作タッチキー(→P54)の□を選ぶ

通常の再生に戻るには、▶▶ を選ぶかスケールレバーを[広域](▶▶)側に倒します。

- 再生を停止した場所を記憶し、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます(ディスクによっては続きから再生されない場合があります)。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊙(禁止マーク)が表示され、停止できないことがあります。



## 観たい場面をダイレクト に選ぶ

タイトル、チャプターまたは時間を指定して観たい場面を選んで再生することができます。(ダイレクトサーチ)  
指定の方法は4種類あります。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する(→P54)

### 2 サーチ/10キーを選ぶ



### 3 Title、Chapter、Time、10Key のいずれかを選ぶ



### 4 番号を10キーで選ぶ

→『ナビゲーションブック』

**Title** 観たい場面のタイトル番号を入力します。2桁まで入力できます。

**サーチ：**  
(入力例)  
タイトル番号4を検索する場合 **4** を選ぶ  
タイトル番号10を検索する場合 **10** と選ぶ

**Chapter** 観たい場面のチャプター番号を入力します。2桁まで入力できます。

**サーチ：**  
(入力例)  
チャプター番号6を検索する場合 **6** を選ぶ  
チャプター番号10を検索する場合 **10** と選ぶ

**Time** 観たい場面の時間を入力します。

**サーチ：** 5桁まで入力できます。  
**分、秒** を選ぶと分と秒を確定します。分より先に秒を入力することはできません。

(入力例)  
2時間20分00秒(140分00秒)の場面を検索する場合

**140分0秒**  
または  
**140分** と選ぶ

**10Key：** 数字のコマンドを入力します。3桁(1~291)まで入力できます。入力の先頭に0を入力することはできません。  
(入力例) **012**



- 収録されていないタイトル番号、チャプター番号、時間などを入力した場合は **⊘** (禁止マーク) が表示され、検索できないことがあります。また、ディスクによっては収録されていても検索できない場合があります。
- 10キーで操作することもできます。

### 5 決定を選ぶ

指定した場面から再生を始めます。



- 映像画面に戻るには、**戻る** を選ぶか **戻る** を押し、一度操作タッチキーに戻り、**ビュー** または **ビュー** で通常画面に戻ります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
スーパー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

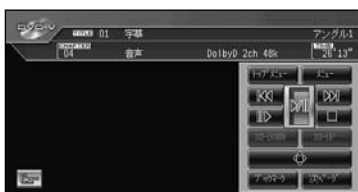
## 操作タッチキーで いろいろな操作をする

操作タッチキー1ページ目での静止画再生、コマ送り再生、スロー再生やブックマーク、操作タッチキー2ページ目での字幕／音声／アングルの切り替え、リターン再生などについて説明します。

### 静止画再生

再生中の映像を一時停止して、静止画として観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



通常の再生に戻るには、もう一度 **▶/||** を選びます。

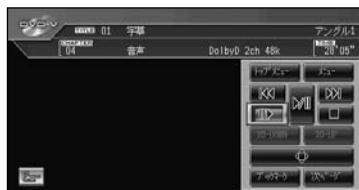


- スケールレバーを[広域](▶/||)側に倒して観ることもできます。通常の再生に戻るにはもう一度[広域](▶/||)側に倒します。
- 静止画再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク)が表示され、静止画再生できない場合があります。
- ▶/||** を選んでも一時停止します(ポーズ状態)。

### コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



#### 2 ▶/|| を選ぶ

選ぶごとに、映像が1コマずつ送られます。通常の再生に戻るには、もう一度 **▶/||** を選ぶかスケールレバーを[広域](▶/||)側に倒します。



- コマ送り再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、**⊘** (禁止マーク)が表示され、コマ送り再生できないことがあります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。

### スロー再生

再生スピードを遅くして観ることができます。

#### 1 ▶/|| を選ぶ



#### 2 ▶/|| を選び続ける

送り方向にスロー再生されます。通常の再生に戻るには、もう一度 **▶/||** を選ぶかスケールレバーを[広域](▶/||)側に倒します。

スロー再生のスピードを切り替えることができます。

**スロー-DOWN** : 再生スピードが遅くなります

**スロー-UP** : 再生スピードが速くなります



- スロー再生中に音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、スロー再生できない場合があります。
- ディスクによっては、スロー再生時に映像が乱れることがあります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。

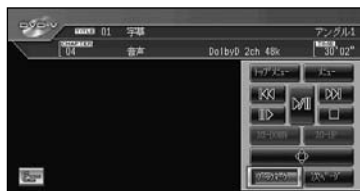
## ブックマークの記憶

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。またディスク取り出しの際に登録することもでき、次にディスクを挿入したときに、その続きから再生されます。

### 再生中に記憶する

## 1 再生中に操作タッチキーを表示する(→P54)

## 2 ブックマークを選ぶ



選んだ場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

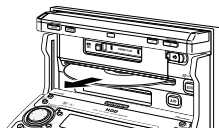
上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、**ブックマーク**を選び続けます。



- ブックマーク**を押して記憶することもできます。記憶したブックマークを消去する場合は**ブックマーク**を長く押します。
- 再生中によるブックマークの記憶(前記操作)は、ディスク1枚につき1場面記憶でき、ディスク5枚分のブックマークを記憶します。同じディスクを再度記憶した場合は、上書きされます。
- 5枚を越えて新しいディスクにブックマークが記憶されると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。
- 1枚のディスクに**ブックマーク**または**ブックマーク**とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

### ディスク取り出しの際に記憶する

## 1 再生中にディスク取り出しボタンを押し続け、ディスクを取り出す



ボタンが押されたときに再生中だった場面がブックマークとして記憶され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

上記操作で記憶したブックマークを消去する場合は、ディスク取り出しボタンを長く押し続けてディスクを取り出します。



- ディスク取り出しボタンによるブックマークの記憶(前記操作)は、ディスク1枚分のブックマークを記憶します。
- 1枚のディスクに**ブックマーク**または**ブックマーク**とディスク取り出しボタンの両方を記憶することができます。その場合、ディスク取り出しボタンで記憶したブックマークが優先されます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 字幕言語の切り替え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り替えることができます(マルチ字幕)。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する(→P54)

### 2 字幕切替 を選ぶ



選ぶごとに、字幕言語が切り替わります。



- **録音/削除** (字幕) を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている (2) マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、(禁止マーク)が表示され、字幕言語を切り替えることができない場合があります。

## 音声言語の切り替え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り替えることができます(マルチ音声)。

### 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する(→P54)

### 2 音声切替 を選ぶ



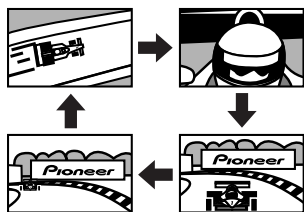
選ぶごとに、音声言語が切り替わります。



- **オフフック/切替** (音声) を押して切り替えることもできます。
- DVDのパッケージについている (2) マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているディスクメニューでしか切り替えることができない場合があります。
- DTS音声は、デジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- [Dolby D]や[5.1ch]などの表示は、DVDに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。
- ディスクまたは再生位置によっては、(禁止マーク)が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

## アングルの切り替え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り替えることができます(マルチアングル)。

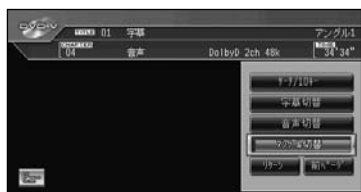


- マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。

## 1 マルチアングルが収録されている場面を再生中に、操作タッチキーの2ページ目を表示する(→P54)


## 2 アングル切替 を選ぶ

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り替えが行えます。



選ぶごとに、アングルが切り替わります。



- オンフック/確定** (アングル) を押して切り替えることもできます。
- DVDパッケージについている  マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示の表示/非表示は、初期設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「アングル選択マークの表示/非表示を設定する」(P66)

## ディスクに指定された位置まで戻って観る

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます(リターン再生)。

## 1 操作タッチキーの2ページ目を表示する(→P54)

## 2 リターン を選ぶ



▼  
ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# DVDのAVメニューでの操作

リピート再生、音声出力の切り替えなど、AVメニューを表示してソースメニューから行う操作について説明します。



•ソースメニューの **DVD初期設定** については「DVD初期設定のしかた」(→P64)で説明しています。

## AVメニューを表示する

DVDのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー** を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があります。



•AVメニューからAV初期設定を表示させることができます。

**オーディオ設定** : →「オーディオ設定画面を表示する」(P114, 127)

**システム設定** : →「システム設定画面を表示する」(P148)

## ソースメニューでの いろいろな再生操作

### リピート再生

リピートとは繰り返し再生する範囲を指定することです。例えば、リピートをCHAPTER REPEATにすると再生中のチャプターを繰り返し観ることができます。

### 1 **リピート** を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

**DISC REPEAT**→**CHAPTER REPEAT**  
→**TITLE REPEAT**→**DISC REPEAT**に  
戻る

**DISC REPEAT** : 通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。


**CHAPTER REPEAT** : 再生中のチャプターを繰り返します。

**TITLE REPEAT** : 再生中のタイトルを繰り返します。



設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。



- ディスクまたは再生位置によっては、 (禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲をこえる操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り替えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ (→P68) の設定がONのときは機能しません。
- 通常再生であるDISC REPEATはソースプレートに表示されません。

## 音声出力の切り替え

音声がリアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り替えます。

## 7 L/R切替 を選ぶ



## 2 設定項目を選ぶ



**L** : 左の音声を出力

**R** : 右の音声を出力

**L+R** : 左右両方の音声を出力

▼  
選んだ側の音声を出力します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# DVD初期設定のしかた

DVD機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える煩わしさがありません。

初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 基本字幕言語
- 基本音声言語
- メニュー言語
- アシスト字幕の表示/非表示
- アンクル選択マークの表示/非表示
- テレビアスペクト（画面の縦横比）
- 視聴制限（パレンタルロック）
- オートプレイのON/OFF

## DVD初期設定メニューを表示する

### 1 AVメニューを表示する(→P62)

### 2 ソースメニューから **DVD初期設定** を選ぶ



各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。



- 設定を終了し、元の画面に戻るには、初期設定メニュー表示中に **戻る** を選ぶか **戻る** を押します。
- **終了** を選ぶと設定を終了し、DVD映像画面に戻ります。
- 初期設定メニューは、設定項目ごとに画面が切り替わります。別の項目を設定する場合は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押して、1つ前の画面に戻ります。

## 初期設定をする

### 字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ字幕)。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 基本字幕 を選ぶ

基本字幕設定画面が表示されます。

### 2 字幕として優先したい言語を選ぶ



字幕言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が表示されます。
- この設定にかかわらず、再生中に **録音/削除** (字幕) を押して字幕言語を切り替えることができます。押すたびに字幕が切り替わりますが、初期設定には反映されません。
- ディスクによっては設定した基本字幕言語が優先されない場合があります。



## その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→P193)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、**決定**を選びます。→『ナビゲーションブック』



## その他を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→P193)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、**決定**を選びます。→『ナビゲーションブック』



## 音声言語を設定する

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 基本音声を選ぶ

基本音声設定画面が表示されます。

### 2 音声として優先したい言語を選ぶ



音声言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が聞こえます。
- この設定にかかわらず、再生中に**オフフック/切替**(音声)を押して音声言語を切り替えることができます。押すたびに音声言語が切り替わりますが、初期設定には反映されません。

## メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。工場出荷時は「日本語」です。

### 1 メニュー言語を選ぶ

メニュー言語設定画面が表示されます。

### 2 メニュー言語として優先したい言語を選ぶ



メニュー言語が設定されます。



- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

## ■ **その他**を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→P193)より、4桁の言語コードを画面の数字で入力して、**決定** を選びます。→『ナビゲーションブック』



## アシスト字幕の表示/非表示を設定する

アシスト字幕とは、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。ただし、アシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。工場出荷時は「表示」です。

### 1 **アシスト字幕** を選ぶ

アシスト字幕設定画面が表示されます。

### 2 **表示** または **非表示** を選ぶ



アシスト字幕の表示/非表示が設定されます。

## アングル選択マークの表示/非表示を設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。工場出荷時は「表示」です。



•この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されているディスクに対して有効です。

### 1 **マルチアングル** を選ぶ

アングル設定画面が表示されます。

### 2 **表示** または **非表示** を選ぶ



アングル選択マークの表示/非表示が設定されます。

## テレビアスペクト(画面の縦横比)を設定する

工場出荷時は「16:9」です。

### 1 **テレビアスペクト** を選ぶ

テレビアスペクト設定画面が表示されます。

### 2 **希望のテレビアスペクト** を選ぶ



選んだテレビアスペクトが設定されます。

## 16:9:

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

## レターボックス:

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

## パンスキャン:

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。



- 本機のモニターはワイドモニターですので、通常は**16:9**に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせたい場合のみ設定を変えてください。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスキャン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

## 視聴制限を設定する

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に観せたくない場面に視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。

最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号が設定されないと操作できません。

工場出荷時は「レベル8」です。



- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。暗証番号の入力画面を解除するには、**戻る**を選ぶか**戻る**を押してください。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

## 暗証番号と視聴制限レベルの設定

### 1 視聴制限を選ぶ

視聴制限設定画面が表示されます。

### 2 画面の数字で、4桁の暗証番号を入力する



設定した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

つづく→

### 3 決定 を選ぶ

暗証番号が設定され、視聴制限レベルの設定が可能になります。

### 4 画面の数字でレベルを選ぶ

選んだ視聴制限のレベルが設定されます。

レベル8 : ディスクをすべて再生する

レベル7~2 : 成人向けディスクの再生を禁止する(子供向けや一般向けディスクを再生する)

レベル1 : 子供向けのディスクのみ再生する

### レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

### 1 視聴制限 を選ぶ

視聴制限設定画面が表示されます。

### 2 画面の数字で、登録してある暗証番号を入力する

### 3 決定 を選ぶ

視聴制限レベルの変更が可能になります。



•入力した暗証番号が間違っていると、「暗証番号が一致しません。もう一度入力して下さい。」と表示されます。この場合は、削除 を選ぶか(録音/削除)を押して、正しい番号を入力し直してください。暗証番号を忘れた場合は、次項の「暗証番号を忘れたときは」を参照してください。

### 4 画面の数字で、レベルを選ぶ

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

### 暗証番号を忘れたときは

「レベルを変更する」の手順 2 で 削除 に10回連続でタッチするか(録音/削除)を10回連続で押すと、暗証番号が解除されます。その後、「暗証番号と視聴制限レベルの設定」の手順 2 ~ 3 に従い、新しい暗証番号を設定します。

### オートプレイを設定する

DVDディスク挿入と同時に、若いタイトルから自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オートプレイ を選ぶ

オートプレイ設定画面が表示されます。

### 2 ON または OFF を選ぶ



オートプレイの機能が設定されます。



- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONの時はリピート再生は機能しません。

## ダイナミックレンジコントロールの設定

本機を別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせたときに設定できます。ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げても楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

ダイナミックレンジコントロールの設定は、「オーディオ設定」で行いますので、設定操作は「オーディオ設定」(P114)で説明しています。



- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。
- 本機を別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」と組み合わせて5.1ch システムでご使用される場合、「AXM-P7」の取扱説明書をご覧ください。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／  
交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設  
定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



# ミュージックサーバー

ミュージックサーバーとは	72	フィーリングプレイ	90
ミュージックサーバーに録音する	73	フィーリングプレイとは	90
録音についてのご注意	73	フィーリングプレイで再生する	90
CD録音の制限について	73	フィーリングプレイの 通常操作画面について	91
すべてのモード	73	再生曲が選択した曲調と合わないとき	91
オート/シングルモード	73	フィーリングプレイの設定	92
CD録音の設定	74	フィーリングプレイ設定画面を表示する	92
録音設定画面を表示する	74	フィーリングプレイ対象外設定	92
CDの録音モードを設定する	74	学習クリア	92
録音時間を設定する	74	各リストを作成する	93
CD再生時に自動的に録音する	75	編集項目選択画面を表示する	93
CDを手動で録音する	75	グループとプレイリストについて	93
CDの1曲目だけを自動的に録音する	75	ユーザーグループにプレイリストを 作成する	94
CD以外のソースを録音する	76	カスタマイズグループにプレイリストを 作成する	96
録音を停止するには	76	各リストを編集する	97
ミュージックサーバーの聴きかた	77	グループリストを編集する	97
グループ、プレイリスト、 トラックについて	77	グループリストの詳細情報画面を 表示する	97
再生する	77	カスタマイズグループの名称、 よみを変更する	97
早送り/早戻しについて	78	カスタマイズグループに プレイリストを追加する	98
再生を停止する	79	カスタマイズグループを 初期化する	98
再生を一時停止する	79	プレイリストを編集する	99
詳細情報を表示する	79	プレイリスト詳細情報画面を表示する	99
いろいろな再生操作のしかた	80	タイトルやよみを変更する	100
AVメニューを表示する	80	アーティスト名を変更する	100
ソースメニューについて	80	ジャンルを設定する	101
ソースメニューでのいろいろな再生操作	80	画像を設定する	102
リピート再生	80	プレイリストの再生順を変更する	103
ランダム再生	81	プレイリストを消去する	104
ダイジェストスキャン再生	82	トラックを編集する	105
ヒットチャートプレイ	83	トラックの情報を編集する	105
ヒットチャートとは	83	ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する	106
ヒットチャートで再生する (ヒットチャートプレイ)	84	ユーザープレイリストに トラックを追加する	107
ヒットチャートの 通常操作画面について	85	プレイリストからトラックを消去する	108
カウントダウン、カウントアップで 再生する	86	タイトル情報について	109
通常のミュージックサーバー再生に戻る	86	取得できる情報	109
最新のヒットチャートを見る	86	GracenoteCDDbについて	110
最新チャートをダウンロードする	87	タイトル情報を取得する	111
情報画面を見る	87		
リンクを付ける	88		
チャート情報を更新する	89		

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽  
/ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム  
設定

マルチ  
CD

その他の  
機能

付  
録

# ミュージックサーバーとは

CDやアナログソース(テレビ、FM/AM、MD、交通情報、VTRなどの音源)を本機のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

ミュージックサーバーをご利用になる場合は、まずCDを録音するなど、音源をハードディスクに録音してからご利用ください。(→P73)

ミュージックサーバーには、次の再生機能があります。

- 録音時に自動作成されるプレイリストを再生するオリジナルグループ再生
- アーティスト情報をもとに自動作成されるプレイリストを再生するアーティストグループ再生
- お好みのトラックでプレイリストを作成して再生するユーザーグループ再生
- それぞれのプレイリストからお好みのプレイリストを抜き出し、一人で聴くときのグループ、子供と聴くときのグループなど、グループ化するカスタマイズグループ再生
- ヒットチャート情報をベースにして録音された曲をチャート順に再生できるヒットチャートプレイ(→P84)
- 曲調を学習し、聴く人のお好みに合わせて成長していくフィーリングプレイ(→P90)



- CDを録音する方法は選択できます。  
→「CDの録音モードを設定する」(P74)
- DVDの音声は録音できません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。また、ミュージックサーバーからCF型メモリーカードにコピーすることもできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の働きによるものです。
- テレビ、VTR(ビデオなど)は音声のみ録音することができます。



# ミュージックサーバーに録音する

CDやテレビ、ラジオ、MDなどの音源を録音することができます。CDは4倍速による同時録再、さらに裏録(録音中に他のソースを聴く)もできます。

## 録音についてのご注意

録音する前に必ずお読みください。

### ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償については、ご容赦ください。
- お客さまが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。ご容赦ください。

## CD録音の制限について

### すべてのモード

- 録音中のCDの再生音は、ミュージックサーバーに録音された音を再生するため、CDの原音とは異なって聞こえる場合があります。
- 録音中にCD以外のソースが選択されても、ミュージックサーバーはCDの録音を継続します。**HDD REC** または **録音/削除** を押すと、録音を停止します。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。

- CD録音中は、曲を選択することや、早送り/早戻し、一時停止、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、ミックスCD内のデータ形式を切り替えることはできません。
- 音飛びのエラーを検出した場合はメッセージを表示し、そのトラックの始めに戻り録音を再開します。また、HDDがエラーになった場合は、録音中のトラックを破棄し、CDソースに切り替わります。
- 同じ曲の同じ位置(再生経過時間)で3回エラーを検出した場合、そのトラックは録音せずに、次のトラックの録音を始めます。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりブレイクユニットを取り外したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。
- ミュージックサーバーの録音可能時間(ハードディスク容量)がCDの演奏時間より短い場合は、録音できません。(録音機能は働きません。)

### オート/シングルモード

- エンジンスイッチをOFF(本機の電源をOFF)にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチをON(本機の電源をON)にすると、エンジンスイッチをOFFにしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CD録音モードを「オート」に切り替えてから **HDD REC** または **録音/削除** を押すと、ディスクの録音していない曲の頭から録音を開始します。
- CD録音モードを「シングル」に切り替えてから **HDD REC** または **録音/削除** を押すと、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## CD録音の設定

CDの録音モード(自動録音、手動録音)やCD以外のソースの録音時間などの録音設定は、録音設定画面で行います。



•録音中は設定できません。

### 録音設定画面を表示する

#### 1 AVメニューを表示する(→P80)

#### 2 システム設定を選ぶ



システム設定の画面が表示されます。

#### 3 録音設定を選ぶ



## CDの録音モードを設定する

CDの録音モードを設定します。

→「CD再生時に自動的に録音する」(P75)、「CDを手動で録音する」(P75)、「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(P75)

工場出荷時は「オート」です。

#### 1 録音設定画面を表示する

#### 2 「録音モード」の **オート**、**マニュアル** または **シングル** を選ぶ

**オート** : CDを再生しながら自動的にミュージックサーバーへ録音する

**マニュアル** : CDを再生しながら手動でミュージックサーバーに録音する

**シングル** : CDの1曲目だけを自動的にミュージックサーバーへ録音する

## 録音時間を設定する

CD以外のソースを録音する場合の設定です。あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。

工場出荷時は「70分」です。

#### 1 録音設定画面を表示する

#### 2 「録音時間(CD以外)」の時間を**選ぶ**

選べる時間

10分、30分、50分、70分、90分、160分、320分

## CD再生時に自動的に録音する

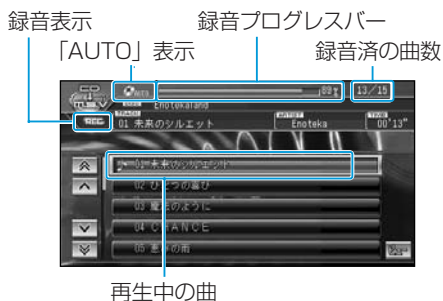
CDを再生すると、自動的にミュージックサーバーに録音されます。

### 1 録音モードをオートにする

→「CDの録音モードを設定する」(P74)  
工場出荷時は「オート」です。「マニュアル」、「シングル」に設定してある場合は手順**1**を行ってください。

### 2 CDを再生する

→「再生する」(P42)



CDの録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

リストは録音済みのトラックタイトルは青色で表示されます。

•地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してミュージックサーバーに録音します。

### 1 録音モードをマニュアルにする

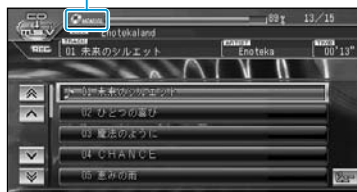
→「CDの録音モードを設定する」(P74)

### 2 録音したい曲を再生する

→「再生する」(P42)、「いろいろな再生操作のしかた」(P46)

### 3 HDD REC または 録音/削除 を押す

「MANUAL」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

•地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDを再生すると、1曲目だけが自動的にミュージックサーバーに録音されます。

### 1 録音モードをシングルにする

→「CDの録音モードを設定する」(P74)

### 2 CDを再生する

→「再生する」(P42)

「SINGLE」表示



CDの録音が始まり、CD録音中画面になります。録音が終了すると、CD通常再生画面に戻ります。

つづく→

ミュージックサーバーに録音する

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージックサーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

## 録音を停止するには

**HDD REC** または **録音/削除** を押します。



- CDを再生しながら録音している場合、録音を解除された曲の始めに戻り通常再生します。

## CD以外のソースを録音する

テレビ、FM/AM、MD、交通情報、VTR（ビデオなど）、マルチCDの音声をミュージックサーバーに録音することができます（アナログソース録音）。



- CD以外のソースは、すべて手動で録音します。「CD録音モード」のような録音方法の選択はありません。
- CD以外のソースの録音では、あらかじめ録音する時間を決めておくことにより、録音の停止操作の忘れによる不要な録音を防ぎます。設定するには、「録音時間を設定する」(P74)を参照してください。

## 1 録音するソースに切り替える

→「ソースを切り替える」(P28)

## 2 **HDD REC** または **録音/削除** を押す

録音表示



録音が始まります。



- CD以外のソースを録音すると、1回の操作で1つのプレイリストが作成されます。トラック分けされたMDを1枚録音した場合でも、トラックは認識されず、1つのプレイリストとして録音されます。
- 地図画面のときは、右上に録音中のマーク **R** が表示されます。

# ミュージックサーバーの聴きかた



- 選んだグループ内のプレイリストを繰り返し再生します。小さい番号のプレイリストより順に再生され最後のプレイリストの再生が終わると、最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。
- 再生順序の変更をすることができます。→「プレイリストの再生順を変更する」(P103)

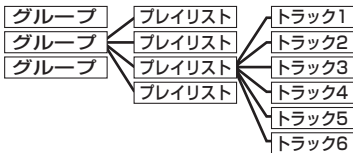
## グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、グループ、プレイリスト、トラックの3種類で、曲などの音源をまとめています。

グループとは、いくつかのプレイリストを一つにまとめたものです。

プレイリストとは、いくつかのトラック(曲など)を一つにまとめたものです。

トラックとは録音された一つの曲などのことです。



グループには以下のようなものがあり、名前などを編集(→P97)できるものもあります。ユーザーグループ、カスタマイズグループは未登録の場合、薄いグレー表示で選択できません。

**オリジナルグループ** : CDを録音したときに自動的に作成されるプレイリストのグループです。

**アーティストグループ** : 録音時にアーティスト情報をもとに自動的に作成されたアーティストプレイリストのグループです。

**ユーザーグループ** : いろいろなトラックをお好みで編成したユーザープレイリストのグループです。

**カスタマイズグループ** : いろいろなプレイリストをお好みで編成したグループです。

## 再生する

再生したいグループ、プレイリスト、トラックを各リストから選んで再生します。

### 1 SOURCE または MSV を押して、ソースをミュージックサーバーに切り替える

前回再生していたプレイリストから再生されます。

### 2 再生したいリストを選ぶ



「グループリスト」「プレイリスト」「トラックリスト」から選べます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

### 3 再生するグループ、プレイリスト、トラックを選ぶ



リストから直接選ぶ場合：

- 再生したいグループ、プレイリスト、トラックにタッチする
- カーソルを移動して **(決定)** を押す (→P26)

本体またはリモコンで選ぶ場合：

**(▲)**：次のプレイリストを選ぶとき

**(▼)**：前のプレイリストを選ぶとき

**(◀)**：前のトラックを選ぶとき

**(▶)**：次のトラックを選ぶとき



- プレイリストタイトルやトラックタイトル、アーティスト名が長いと表示可能な文字数までの表示となります。
- 表示可能文字数は画面の状態（1画面、ピクチャーサイドピクチャーなど）により異なります。
- 再生中のグループ、プレイリスト、トラックには、項目名の頭に **♪** マークが付きます。
- グループを選ぶと、先頭のプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。
- グループを選ぶと、先頭のプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。
- 選んだグループが再生中の場合は、すぐにポップアップが表示されます。**戻る** を選ぶか、**(戻る)** を押してください。
- 録音中のプレイリストは再生できません。

### 早送り/早戻しについて

#### 7 **(◀)/▶** を押し続ける

早送り/早戻し状態になり、操作をやめたところから再生されます。

**(◀)**：早戻しするとき

**(▶)**：早送りするとき

## 再生を停止する

### 1 SOURCE を長く押す

ミュージックサーバーの再生が停止します。



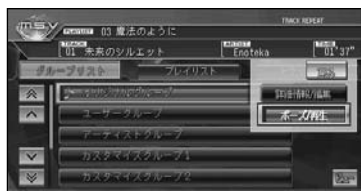
- **MSV** を押してOFFを選んでも、再生を停止することができます。

## 再生を一時停止する

### 1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップメニューが表示されます。

### 2 ポーズ/再生 を選ぶ



再生が一時停止します。

**ポーズ/再生** をもう一度選ぶと、再生を再開することができます。

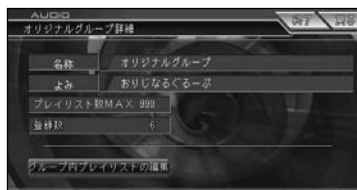
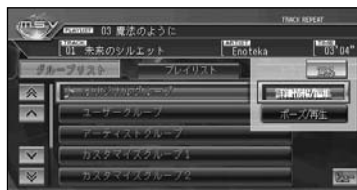
## 詳細情報を表示する

現在再生中のグループやプレイリスト、トラックの詳細情報を表示することができます(詳細情報)。

### 1 各リストの再生中の項目を選ぶ

ポップアップが表示されます。

### 2 詳細情報/編集 を選ぶ



詳細情報(タイトル、よみ、アーティスト、ジャンルなど)が表示されます。

**戻る** を選ぶと、元の画面に戻ることができます。



- **タイトル**、**よみ**、**アーティスト**、**ジャンル** などを選ぶとそれぞれの編集画面が表示され、編集することができます。→「各リストの編集」(P97)
- 詳細情報表示画面内に **その他** がある場合は、選ぶことで他の情報も表示することができます。

# いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生など、AVメニューを表示してソースメニューから行う操作について説明します。




- ヒットチャートプレイ、フィーリングプレイについては、それぞれのページで説明しています。  
→「ヒットチャートプレイ」(P84)、→「フィーリングプレイ」(P90)
- リピート再生、ランダム再生、ダイジェストスキャン再生は、ヒットチャート再生(→P84)中でも行うことができますが、フィーリングプレイ(→P90)中では行えません。

## AVメニューを表示する

ミュージックサーバーのAVメニューを表示させます。

### 1 **メニュー**を押す

AVメニューが表示されます。

AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る**を選ぶか  を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があります。



- **編集** : 各リストの編集を行うことができます。→「各リストを編集する」(P97)
- AVメニューからAV初期設定(→P37)を表示させることができます。

**オーディオ設定** : →「オーディオ設定画面を表示する」(P114)

**システム設定** : →「システム設定」画面を表示する(P148)

## ソースメニューでの いろいろな再生操作

ソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。

### リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをトラックリピートにすると再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

### 1 **リピート**を選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

**GROUP REPEAT**→**TRACK REPEAT**→**PLAYLIST REPEAT**→**GROUP REPEAT**に戻る

**GROUP REPEAT** : 通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。

**TRACK REPEAT** : 再生中のトラックを繰り返します。

**PLAYLIST REPEAT** : 再生中のプレイリストを繰り返します。





設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。



- ヒットチャート再生中は、ヒットチャートをプレイリストとしたリピート再生をします。
- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、ソースプレートに表示されません。

## ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→P80)で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

### 1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります(ONにすると「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り替わります。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたランダム再生をします。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲をこえる操作(プレイリストの切り替えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ダイジェストスキャン再生

選んだリピートの範囲(→P80)で、各トラックや各プレイリストの先頭曲のハイライトの部分を約15秒間ずつ聞くことができます。聴きたいトラックやプレイリストを探るときに使います。



- ハイライトとは、ミュージックサーバーへの録音時に、本機が曲調・ハイライト検出処理で検出した部分のことをい、ハイライトを検出できなかったトラックに関しては、演奏開始部分約15秒間を再生します。

## 7 リピートの範囲を以下のように指定する(→P80)

### ■ 聴きたい曲(トラック)を探るとき

再生中のプレイリスト内の各トラックのハイライト部分を約15秒ずつ再生します。リピート範囲をPLAYLIST REPEATに指定します。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ダイジェストスキャン再生をONにすると、PLAYLIST REPEATにリピートの範囲が切り替わります。

### ■ 聴きたいプレイリストを探るとき

グループ内の全プレイリストの1曲目(トラック)のハイライト部分を約15秒ずつ再生します。リピートの範囲をGROUP REPEATに指定します。

## 2 ダイジェストを選ぶ



選ぶごとに、ダイジェストスキャンのON/OFFが切り替わります(ONにすると「(リピート範囲)-DIGEST」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-DIGEST」が表示されます。



- ダイジェストスキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- ヒットチャート再生中はヒットチャートをプレイリストとしたダイジェストスキャン再生をします。

## 3 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度ダイジェストを選ぶ

ダイジェストスキャン再生がOFFになり、選んだトラックまたはプレイリストが再生されます。



- ダイジェストスキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(プレイリストの切り替えなど)操作を行うと、ダイジェストスキャン再生が中止される場合があります。

# ヒットチャートプレイ

## ヒットチャートとは

ヒットチャートとは、本機ハードディスク内、またはインターネットから取得したヒットチャートをもとにお客様が録音した曲を再生したりヒットチャートを見ることができるミュージックサーバーの機能の一つです。

ヒットチャートの情報にのっている曲を録音して、プレイリストを作成しておけば、カウントダウン再生、カウントアップ再生など楽しむことができます。また、最新のヒットチャートをインターネットなどからダウンロードしておけば、画面に表示することができます。

ヒット チャート プレイ (再生 でき ます)	年別の ヒット曲	1994年～2003年 までの最大100位ま での年間チャート、タ イアップ(テレビ、CM など)別チャート
	最近の ヒット曲	3ヶ月前までの発売日順 のリスト(100曲まで)
最新週間チャート (再生できません)	3週間前までの30位	
最新月間チャート (再生できません)	3ヶ月前までの50位	

ヒットチャートのインターネットのデータベースへのアクセスは、2006年3月までご利用できます。ダウンロードのしかたについては、「最新チャートをダウンロードする」(→P87)、「チャート情報を更新する」(→P89)を参照してください。



- ヒットチャートはオリコンヒットチャートをもとに作成されています。
- インターネットから取得したヒットチャート情報(年間チャート、最近のヒット曲、月間チャート3ヶ月分、週間チャート3週間分)はハードディスク内に保存されています。
- 通信で取得するときに通信カードなど通信機器を接続していないと「通信で取得するには通信機器の接続を確認してください。」メッセージが表示され、通信を使ったチャート情報の取得はできません。**確認** または **決定** を押してください。
- インターネットから取得できるのは、チャート情報のみで、曲そのもののダウンロードはできません。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「通信機器が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- ヒットチャートプレイは、タイトル情報取得で自動的にリンクされた曲のみ有効です。しかし、自動的にリンクされなかった場合は、自分でリンクを付けることができます。→「リンクを付ける」(P88)
- タイトルがない曲はヒットチャートプレイできません。
- 2004年のチャート情報は2005年に降に取得できます。
- 年別のヒット曲は、最大10年分のチャート情報を記憶しています。そのため、2004年のチャート情報を取得すると、1994年のチャート情報は削除されます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ヒットチャートで再生する (ヒットチャートプレイ)

ヒットチャートの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です(→P77)。ヒットチャート再生用のプレイリストが表示され、チャート内に録音済み(再生可能)の曲がある場合は、★が表示され、再生することができます。



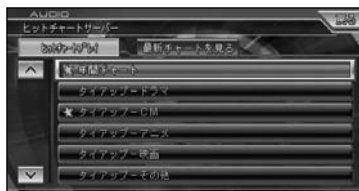
- ヒットチャート再生を解除(通常再生)するには、ソースメニューの **通常再生** を選びます。(→P86)
- ヒットチャートは通信で更新することができます。更新のしかたは「チャート情報を更新する」(P89)を参照してください。
- すでにヒットチャート再生用のプレイリストが表示されている場合は、**グループリスト** から★のついている項目を選び、**チャートリスト** から★のついているヒットチャートを選び、**トラックリスト** から★のついている曲を選びます。

## 1 AVメニューを表示する(→P80)

## 2 ヒットチャートプレイを選ぶ



## 3 ヒットチャートプレイを選ぶ

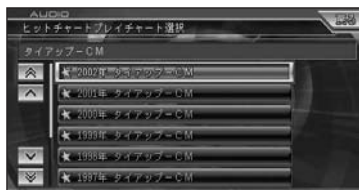


- **最新チャートを見る** を選ぶと、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます(→P86)。

## 4 年間ランキングやタイアップテレビなどの項目(グループ)から★マークのついている項目(グループ)を選ぶ

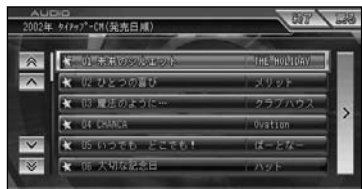


## 5 ★マークのついているヒットチャートを選ぶ



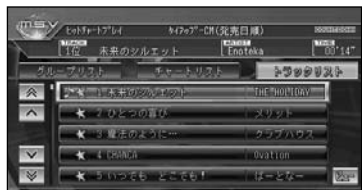
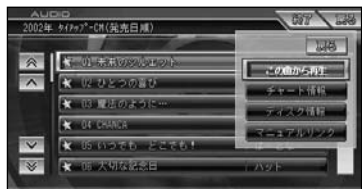
- 走行中は、選んだヒットチャートで再生が始まり、通常操作画面が表示されます。

## 6 再生を開始したい★マークの ついている曲を選ぶ



- ▶ を選び、表示されるサブメニューから**このチャートを再生**を選んで、チャートをカウントダウン(またはカウントアップ)で再生することもできます。

## 7 この曲から再生 を選ぶ



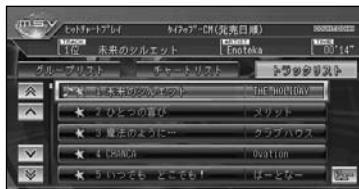
選んだ曲が再生され、通常操作画面が表示されます。



- 通常の再生順序は、選んだ曲からヒットチャートの上位へとカウントダウンしていきます。

## ヒットチャートの 通常操作画面について

ヒットチャートの通常操作画面は、チャート種別、順位(「最近のヒット曲」、タイアップチャートは除く)、トラックタイトル、アーティスト名、チャート再生順を表示します。



再生できる曲がある場合は、★が表示されます。

### ■ リストの中の聴きたい曲を選ぶとき

リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して(決定)を押す(→P26)

本体またはリモコンで選ぶ場合：

- ▲：次の年のヒットチャートを選ぶとき
- ▼：前の年のヒットチャートを選ぶとき
- ◀：リスト内で前の曲を選ぶとき
- ▶：リスト内で次の曲を選ぶとき



- **最近のヒット曲**を選んだときに、取得されていないチャートがある場合や期限が切れている場合は、通信で取得するための確認画面になります。**はい**を選ぶか(決定)を押すとチャート情報を通信を使って取得します(→P87)。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## カウントダウン、カウントアップ で再生する

ヒットチャートプレイのリストで、録音済みの曲が複数あるときは、チャートに沿ったカウントダウン(下位から上位へ)、カウントアップ(上位から下位へ)で再生することができます。ヒットチャートプレイで年代別ヒットチャートを選んでいるときなどは、通常カウントダウンで再生されます。

### 1 ヒットチャートで聴きたいリストを選ぶ

### 2 AVメニューを表示する(→P80)

### 3 カウントアップ または カウントダウン を選ぶ

## 通常のミュージックサーバー 再生に戻る

ヒットチャートプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻るには、以下のように操作します。

### 1 AVメニューを表示する(→P80)

### 2 通常再生 を選ぶ



通常再生に戻ります。

## 最新のヒットチャートを見る

インターネットから取得し、最新の週間、月間ヒットチャートを見ることができます。

→ダウンロードのしかたについては、「最新チャートをダウンロードする」(P87)を参照してください。

### 1 ヒットチャートサーバーを表示する(→P84)

### 2 最新チャートを見る を選ぶ



### 3 週間チャートを見る または 月間チャートを見る を選ぶ



### 4 見たい週や月を選ぶ





- 通信で取得するときに通信カードなど通信機器を接続していないと「通信で取得するには通信機器の接続を確認してください。」のメッセージが表示され、通信を使ったチャート情報の取得ができません。**確認**を選ぶか**決定**を押してください。
- 通信で取得するときにナビゲーション側で通信機能を使用している場合は、「通信機器が使用中です。」のメッセージが表示され、取得はできません。
- 選べる週には「最新」「前週」「前々週」、月には「最新」「前月」「前々月」があります。

## 最新チャートをダウンロードする

### 1 ヒットチャートサーバーを表示する(→P84)

### 2 最新チャートを見る を選ぶ

### 3 週間チャートを見る または 月間チャートを見る を選ぶ

### 4 はい を選ぶか **決定** を押す



通信が開始されます。

**中止** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

## 情報画面を見る

各リストまたは「最新チャート画面」から曲を選んで情報画面を表示させることができます。

情報画面には以下の2つがあります。

### ■ チャート情報画面



最高順位、登場回数、推定売上枚数、発売日などが表示されます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

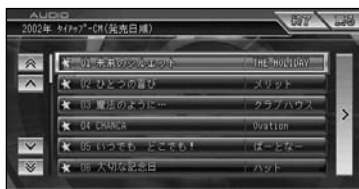
## ■ ディスク情報画面



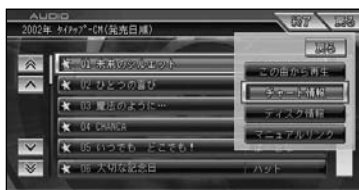
CDの型番、発売元、価格が表示されます。

### 1 情報を表示したい曲をリスト表示する

### 2 曲名を選ぶ



### 3 チャート情報 または ディスク情報 を選ぶ



情報画面が表示されます。

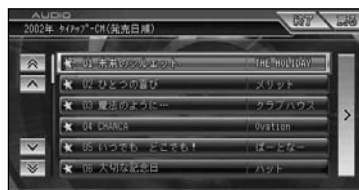
## リンクを付ける

リンクはタイトル情報取得時に自動的に行われます。ただし、発売直後のCDなどは、タイトル情報は取得できませんがリンク情報は取得できない場合があります。

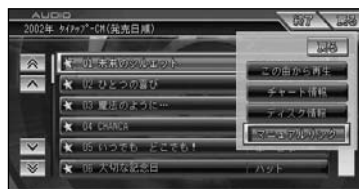
そのような場合は、ヒットチャートと曲のリンクを自分で行うことができます。

### 1 リンク付けたい曲をリスト表示する

### 2 曲名を選ぶ



### 3 マニュアルリンク を選ぶ



### 4 リンク先選択 を選ぶ





## 5 リンクする曲のプレイリストを選ぶ



## 6 リンクする曲を選ぶ



リンク付けが完了すると、手順**4**の画面に戻ります。続けてリンク付けすることができます。**終了**を選ぶか**戻る**を押すとリンク付けを終了し、通常操作画面に戻ります。

- この操作でリンク付けしたトラックが優先して再生されます。

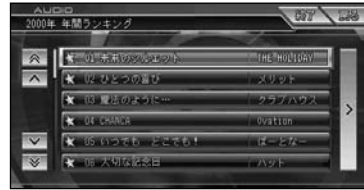
## チャート情報を更新する

ヒットチャートの情報を更新します。最近発売されたCDなどをヒットチャートプレイで再生するには、チャート情報を更新してください。

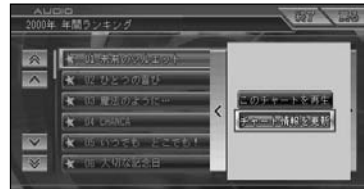
- チャート情報を更新してもヒットチャートプレイの対象曲とならないCDもあります。そのような場合は、ヒットチャートと曲のリンクを自分で行うことができます。→「リンクを付ける」(P88)

## 7 ヒットチャートのトラックリストを表示する(→P85)

### 2 > を選ぶ



### 3 チャート情報を更新 を選ぶ



通信が開始されます。

**中止**を選ぶか**戻る**を押すと元の画面に戻ります。

ダウンロードが完了すると、最新チャートが表示されます。

# フィーリングプレイ

## フィーリングプレイとは

録音時に抽出した特徴から、お客様のフィーリング(明るい、ノリがいい、静かな、かなしい、癒される)にマッチするような曲を自動的に選曲し、再生するミュージックサーバーの機能の一つです。最後まで聴いた曲を学習して、よりお客様好みの選曲をするよう成長していく機能です。以下の場合、録音時にフィーリングプレイの選曲対象外となります。

- 音楽でないもの
- 1分以下の楽曲
- アナログ録音(→P76)されたもの



- フィーリングプレイ機能は、ポップスやロックなどの音楽に調節されています。
- 英会話や落語、漫談などをフィーリングプレイで再生したくない場合は、対象外設定を行うことができます。(→P92)

## フィーリングプレイで再生する

フィーリングプレイの再生操作は、基本的にミュージックサーバーと同様です(→P77)。選べるプレイリストがフィーリングリストになります。



- フィーリングプレイを解除(通常再生)するには、ソースメニューの**通常再生**を選びます。(→P91)

## 1 AVメニューを表示する(→P80)

## 2 フィーリングプレイを選ぶ



## 3 聴きたい曲調を選ぶ



選んだ曲調の曲が再生され、フィーリングプレイの通常操作画面が表示されます。

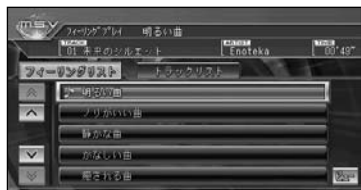


- 選んだ曲調に曲がない場合は、メッセージが表示されます。


## フィーリングプレイの通常操作画面について

フィーリングプレイの再生画面は、フィーリングリストとトラックリストの表示があります。

### ■ フィーリングリスト




リストには本機で選択できる曲調の名前が表示されます。

現在再生中の曲調には  が表示されます。表示されている曲調を選択すると、その曲調にマッチした曲が選択されます。

### ■ トラックリスト




選択した曲調にマッチした曲のリストが表示されます。

現在再生中のトラックには  が表示されます。


トラックリストから選曲した場合は、その曲からリスト順に再生されます。


### ■ リストの中の聴きたい曲を選ぶとき

リストから直接選ぶ場合：

- 聞きたい曲にタッチする
- カーソルを移動して  を押す (→P26)

本体またはリモコンで選ぶ場合：

：トラックリスト内で前のトラックを選ぶとき

：トラックリスト内で次のトラックを選ぶとき

## 通常のミュージックサーバー再生に戻る

フィーリングプレイを止めて通常のミュージックサーバーに戻るには、以下のように操作します。

### 1 AVメニューを表示する(→P80)

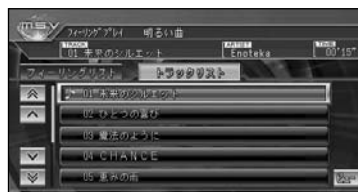
### 2 通常再生を選ぶ

通常再生に戻ります。

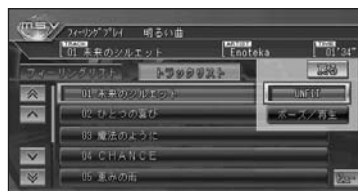
## 再生曲が選択した曲調と合わないとき

再生している曲が選択した曲調と合わないときは、次の操作をすることにより本機に学習させることができます。

### 1 トラックリストを表示し再生中のトラックを選ぶ



### 2 UNFITを選ぶ



再生している曲が選択した曲調と合わないと判断し、次回以降のフィーリングリスト作成に反映します。

再生は次のトラックに切り替わります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## フィーリングプレイの設定

フィーリングプレイで再生したくないプレイリストがある場合、そのプレイリストをフィーリングプレイの対象外設定することができます。また、学習値をクリアすることができます。

### フィーリングプレイ設定画面を表示する

## 1 フィーリングプレイ画面を表示する(→P90)

## 2 設定を選ぶ



フィーリングプレイ設定画面が表示されます。

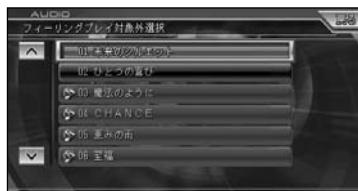
### フィーリングプレイ対象外設定

プレイリストをフィーリングプレイ対象から外すことができます。

## 1 フィーリングプレイ対象外設定を選ぶ



## 2 リストからプレイリストを選ぶ



選ばれたプレイリストには (禁止マーク) が付き、フィーリングプレイでは再生できなくなります。



- もう一度 (禁止マーク) の付いたプレイリストを選ぶと、設定した対象外設定は解除されます (禁止マークが消えます)。
- アナログ録音されたプレイリストは選ぶことはできません。

### 学習クリア

本機がフィーリングプレイにより学習してきた学習値をクリアします。

## 1 学習クリアを選ぶ



## 2 はいを選ぶか (決定) を押す

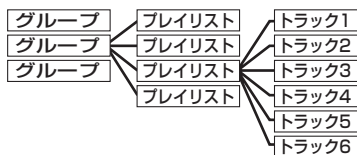


学習値をクリアします。

# 各リストを作成する

ミュージックサーバーのリストには、グループリスト、プレイリスト、トラックリストがあり、それぞれが階層でつながっています。

トラックの集まりがプレイリストで、プレイリストの集まりがグループリストということになります。



## 編集項目選択画面を表示する

各リストを作成、編集するときは、編集項目選択画面を表示して行います。

### 1 AVメニューを表示する(→P80)

### 2 編集を選ぶ



編集項目選択画面が表示されます。

## グループとプレイリストについて

各グループのプレイリストの作成は、以下のとおりです。

### ■ オリジナルグループ

**オリジナルプレイリスト：**

CDなどの録音時に自動で作成されます。999まで作成されます。

### ■ アーティストグループ

**アーティストプレイリスト：**

CD録音時にトラックのアーティスト情報をもとに自動で作成されます。オリジナルプレイリスト作成と同時に999まで作成されます。

### ■ ユーザーグループ

**ユーザープレイリスト：**

お好みのトラックを選んで作成します。99まで作成できます。

### ■ カスタマイズグループ

**カスタマイズグループのプレイリスト：**  
オリジナルプレイリストやユーザープレイリストからお好みのプレイリストを選んで、既にあるカスタマイズグループ1～5の中でグループ分けをして作成します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ユーザーグループに プレイリストを作成する

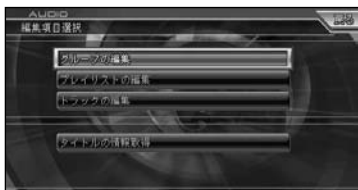
ユーザーグループのプレイリスト作成は、オリジナルグループのプレイリストやアーティストグループのプレイリストからお好みのトラックを選び、ユーザープレイリストを作成します。



- プレイリストは、99個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲(トラック)まで登録できます。

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 グループの編集 を選ぶ



### 3 ユーザーグループ を選ぶ



### 4 新規ユーザープレイリスト作成 を選ぶ



### 5 タイトルを入力し、入力終了を を選ぶ

→『ナビゲーションブック』



- 全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

### 6 トラックを探す方法を選ぶ



**オリジナルグループから探す**：

オリジナルグループのプレイリストが表示されます。

**アーティストグループから探す**：

アーティストグループのプレイリストが表示されます。1アーティスト最大400曲。

**ユーザーグループから探す**：

すでにユーザーグループにプレイリストが作成してある場合に、そのプレイリストが表示されます。

**ジャンルから探す**：

トラックのジャンルのキーワードリストが表示されます。1ジャンル最大400曲。

**最近録音した曲から探す**：

最近録音した50トラックのリストが表示されます。



- **最近録音した曲から探す** を選んだ場合は、手順**7**のリストは表示されず、最近録音した50トラックのリストが表示されます。手順**8**に進んでください。

## 7 表示されたリストから項目を選ぶ



## 8 登録したいトラックを選ぶ



選択すると、チェックマーク「」が付き、引き続き選ぶことができます。

もう一度選ぶと、選択が解除されます。

他のリストからもトラックを選びたい場合は、**戻る**を選んで手順**6**または**7**まで戻り、他のリストからトラックを選びます。



- **>** を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されすべての曲を選択することができます。ただしリストに100曲以上ある場合は、選択できません。  
選択を解除するには、**全解除**または解除したい曲を選びます。

## 9 終了を選ぶ

確認画面が表示されます。

## 10 はいを選ぶか **決定** 押す



ユーザープレイリストが作成され、ユーザーグループに登録されます。ミュージックサーバーの通常操作画面に戻ります。

## カスタマイズグループにプレイリストを作成する

カスタマイズグループのプレイリスト作成は、オリジナルプレイリストやユーザープレイリストからお好みのプレイリストを選び、既にあるカスタマイズグループ1~5の中でグループ分けすることで作成します。

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 グループの編集 を選ぶ

### 3 カスタマイズグループ○ を選ぶ



•「カスタマイズグループ○」の「○」は、表示されている1~5のことを表します。

### 4 プレイリストの追加 を選ぶ

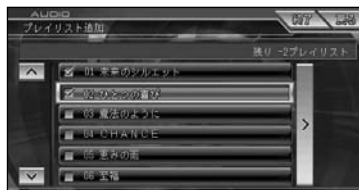


### 5 プレイリストを探すグループを選ぶ

オリジナルグループ、ユーザーグループそれぞれのプレイリストを表示して探すことができます。



### 6 登録したいプレイリストを選ぶ



選択すると、チェックマーク「」が付き、引き続き選ぶことができます。もう一度選ぶと、選択が解除されます。他のグループからもプレイリストを選びたい場合は、**戻る**を選んで手順**5**まで戻り、他のグループからプレイリストを選びます。



•> を選んでサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されすべてのプレイリストを選択することができます。ただしリストにプレイリストが100以上ある場合は、選択できません。選択を解除するには、**全解除**または解除したい曲を選びます。

### 7 終了 を選ぶ

確認画面が表示されます。

### 8 はい を選ぶか **決定** 押す



選んだプレイリスト追加されます。



# 各リストを編集する

グループリストでは、カスタマイズグループの名称やよみの編集、プレイリストの追加、グループの初期化が行えます。

プレイリストでは、プレイリストの詳細情報画面でタイトル、よみ、アーティスト名、ジャンル、画像などの編集ができます。またグループの編集にてプレイリスト再生順の変更や消去なども行えます。

トラックリストでは、トラック情報画面でタイトル、よみ、アーティスト名、ジャンルなどの編集ができます。またプレイリストの編集にてトラックの再生順を変更したり、ユーザープレイリストでのトラックの追加や消去が行えます。



•編集するグループやプレイリスト、トラックによって、編集できる内容が異なります。

## グループリストを編集する

グループリストの編集は、カスタマイズグループの名称やよみの変更、プレイリストの追加や初期化などの編集が行えます。オリジナルグループ、アーティストグループ、ユーザーグループは編集はできませんが、読みの確認や登録数の確認はできます。

### グループリストの詳細情報画面を表示する

#### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

#### 2 グループの編集 を選ぶ



#### 3 編集するカスタマイズグループを選ぶ



#### 4 詳細情報/編集 を選ぶ



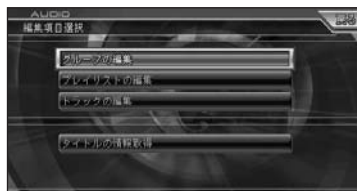
▼  
グループ詳細情報画面が表示されます。

### カスタマイズグループの名称、よみを変更する

カスタマイズグループ1~5は、その名称をお好みに変更することができます。タイトルは表示に、よみは音声操作に使用します。

#### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

#### 2 グループの編集 を選ぶ



つづく→

各リストを編集する

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

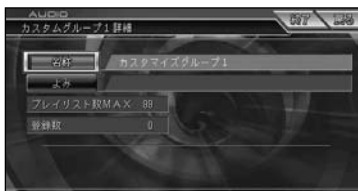
システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

### 3 名称 または よみ を選ぶ



### 4 名称 または よみ を入力し、 入力終了 を選ぶ

→『ナビゲーションブック』



- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- あらかじめ入力されている“カスタマイズグループ〇”のあとに続けて入力した場合は、プレイリストの表示が“カスタマイズグループ〇XXXX”となります。“カスタマイズグループ〇”を消したいときは、名称入力の時に **削除** を選んで消したのち、名称入力をはじめてください。

### 5 終了 を選ぶ



名称、よみが変更され、手順**2**の画面に戻ります。

## カスタマイズグループに プレイリストを追加する

カスタマイズグループには、他のグループからプレイリストを選んで追加することができます。

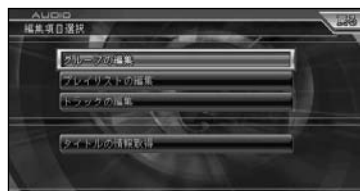
手順は、「カスタマイズグループにプレイリストを作成する」(→P96)とほぼ同様です。「カスタマイズグループにプレイリストを作成する」の手順**3**で選んだカスタマイズグループにプレイリストを追加することができます。

## カスタマイズグループを 初期化する

お好みで作成したカスタマイズグループは、初期化して工場出荷時の状態に戻すことができます。

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 グループの編集 を選ぶ



### 3 初期化するカスタマイズグループ を選ぶ



## 4 グループの初期化 を選ぶ



確認画面が表示されます。

## 5 はい を選ぶか (決定) 押す

選んだグループが初期化されます。

## プレイリストを編集する

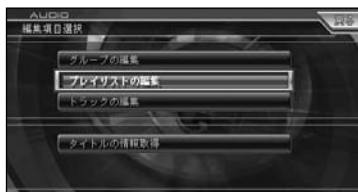
各グループに登録されているプレイリストの情報(タイトル、よみ、アーティスト名、ジャンル、画像の設定など)を編集します。また、プレイリストの再生順を変更したり、ユーザープレイリストでトラックの追加・消去を行うことができます。

- カスタマイズグループ内のプレイリストは編集できません。他のグループを選んでプレイリストを変更した場合、その変更内容が反映されます。
- アーティストグループのプレイリストを選んだ場合、編集できるのは「よみ」のみです。アーティストの情報を編集したい場合は、他のグループのプレイリスト詳細情報画面を表示してから行ってください。

## プレイリスト詳細情報画面を表示する

## 7 編集項目選択画面を表示する (→P93)

## 2 プレイリストの編集 を選ぶ



## 3 編集したいプレイリストが登録されているグループを選ぶ

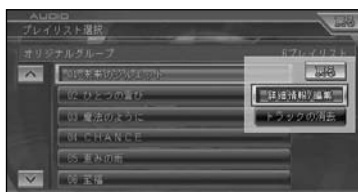


## 4 編集するプレイリストを選ぶ



- グループ詳細情報画面 (→P97) から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示することもできます。

## 5 詳細情報/編集 を選ぶ



プレイリスト詳細情報画面が表示されます。

- **プレイリスト内トラック編集** を選ぶと、選んだプレイリスト内のトラックの情報を編集することができます (→P105)。

## タイトルやよみを変更する

タイトルは表示や検索に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDなどの再生時のタイトル表示に反映されます。

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する(→P99)



- アーティストグループのプレイリスト詳細編集画面を表示した場合は、「よみ」のみ変更できます。

### 2 タイトル または よみ を選ぶ



### 3 文字を入力して **入力終了** を選ぶ

→『ナビゲーションブック』  
プレイリスト詳細情報画面に戻ります。



- タイトルは全角16文字(半角32文字)まで入力できます。
- よみは全角32文字(半角64文字)まで入力できます。

### 4 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- 戻る** を選ぶとプレイリスト選択画面が表示され、引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## アーティスト名を変更する

アーティストグループを変更したいときに、アーティスト名を変更します。

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する(→P99)



- アーティストグループのプレイリスト詳細編集画面を表示した場合は、アーティスト名の変更はできません。他のグループのプレイリスト詳細編集画面を表示してから行ってください。

### 2 アーティスト を選ぶ



### 3 アーティスト名の編集方法を選ぶ



**マニュアル** : 文字入力画面になります。文字を入力して **入力終了** を選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。「アーティスト」は全角16文字(半角32文字)まで入力できます。

**リスト選択** : 現在登録されているアーティストのリスト画面になります。アーティストをリストから選ぶと、プレイリスト詳細情報画面に戻ります。



- **消去** を選ぶと、アーティスト選択画面が表示され、消去するアーティストを選択できます。他のプレイリストにも登録されているアーティストは消去できません。

#### 4 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- **戻る** を選ぶとプレイリスト選択画面が表示され、引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## ジャンルを設定する

### 1 プレイリスト詳細情報画面を表示する(→P99)

### 2 ジャンルを選ぶ



### 3 ジャンルを選ぶ



### 4 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- **戻る** を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 画像を設定する

ミュージックサーバー再生時に、オーディオ画面の背景に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。デジタルカメラなどで撮影した画像を使用することもできます。



- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているCF型メモリーカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 設定できる画像の形式は、デジタルカメラで対応している一般的なJPEG形式のみです。
- ファイル名が長いと画像リストにファイル名が表示されない場合があります。
- 画像リストに表示される、画像は最大200枚です(ハードディスク内の画像ファイル含む)。表示されないときは、CF型メモリーカード内の画像ファイルを削除してください。
- CF型メモリーカード内のフォルダ(ディレクトリ)は8階層(ルートディレクトリを含む)まで認識できます。
- プログレッシブJPEG形式の画像は使用できません。

## 1 CF型メモリーカードをセットする(→『スタートブック』)

## 2 プレイリスト詳細情報画面を表示する(→P99)

## 3 画像を選ぶ



## 4 リストから好みの画像を選ぶ



## 5 編集を終了する場合は **終了** を選ぶ



- 戻る** を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

## プレイリストの再生順を変更する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。



- アーティストグループは、再生順を変更することはできません。
- 通常の再生では、グループリストに登録されたプレイリストの順番で繰り返し再生します。

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 グループの編集を選ぶ



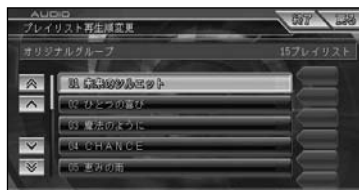
### 3 プレイリストの再生順を変更するグループを選ぶ



### 4 プレイリストの再生順変更を選ぶ



### 5 順番を変更したいプレイリストを選ぶ



### 6 移動先を選ぶ



### 7 編集を終了する場合は「終了」を選ぶ



- 「戻る」を選ぶと引き続き他のプレイリストの情報を編集することができます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## プレイリストを消去する

オリジナル、ユーザー、カスタマイズの各グループに登録されているプレイリストを消去します。

消去するプレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

**オリジナルグループのプレイリスト** : プレイリスト内のトラックデータも消去します。

**ユーザーグループのプレイリスト** : プレイリストのみ消去し、トラックデータは消去しません。

**カスタマイズグループのプレイリスト** : プレイリストのみ消去し、トラックデータは消去しません。



- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- アーティストグループから消去はできません。

## 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

## 2 グループの編集を選ぶ



## 3 消去するプレイリストが含まれたグループを選ぶ



## 4 プレイリストの消去を選ぶ



## 5 消去したいプレイリストを選ぶ

▼  
消去確認のメッセージが表示されます。

## 6 はいを選ぶか を押す

▼  
選んだプレイリストが消去されます。



## トラックを編集する

トラック情報の編集やユーザープレイリスト内のトラック再生順の変更や、トラックの追加・消去を行うことができます。

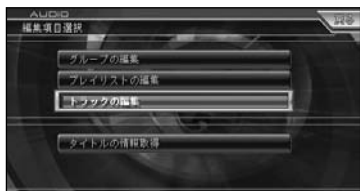
### トラックの情報を編集する

各プレイリストに登録されているトラックの情報(タイトル、よみ、アーティスト名、ジャンルなど)を編集します。

編集は、トラック詳細情報画面を表示して行います。

## 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

## 2 トラックの編集を選ぶ



## 3 編集したいトラックが登録されているプレイリストを選ぶ



## 4 編集するトラックを選ぶ



•プレイリスト詳細情報画面(→P99)から **プレイリスト内トラックの編集** を選んで、この画面を表示することもできます。

## 5 編集したい項目を選ぶ

タイトルやよみを変更する →P100

アーティスト名を変更する →P100

ジャンルを設定する →P101

各項目の編集操作は、「プレイリストを編集する」(P99)とほぼ同様ですので、参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ユーザープレイリストの トラック再生順を変更する

ユーザープレイリスト内のトラックの再生順を変更します。



- オリジナルプレイリスト、アーティストプレイリストは、再生順を変更することはできません。

## 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

## 2 プレイリストの編集を選ぶ



## 3 ユーザーグループを選ぶ

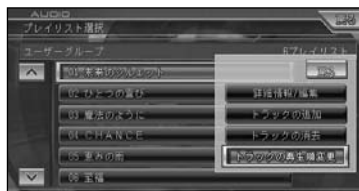


## 4 再生順番を変更するプレイリストを選ぶ



- ユーザーグループのグループ詳細情報画面(→P94)から**グループ内プレイリストの編集**を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

## 5 トラックの再生順変更を選ぶ



## 6 順番を変更したいトラックを選ぶ



## 7 移動先を選ぶ



## 8 編集を終了する場合は**終了**を選ぶ



- 戻る**を選ぶと引き続き他のトラックの情報を編集することができます。

## ユーザープレイリストに トラックを追加する

ユーザープレイリストには、トラックを追加することができます。



- オリジナルグループ、アーティストグループのプレイリストには追加できません。

## 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

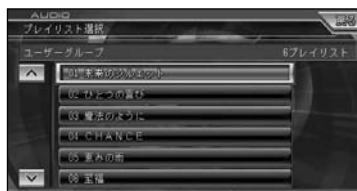
## 2 プレイリストの編集 を選ぶ



## 3 ユーザーグループ を選ぶ



## 4 トラックを追加したいユーザー プレイリストを選ぶ



- ユーザーグループのグループ詳細情報画面(→P97)から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

## 5 トラックの追加 を選ぶ



トラック追加方法の選択画面が表示されます。

以降は、「ユーザーグループにプレイリストを作成する」(P94)の手順 **6**以降と同様です。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## プレイリストから トラックを消去する

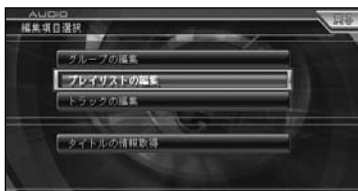
オリジナルグループ、ユーザーグループのプレイリスト内のトラックを消去します



- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト、アーティストプレイリスト、カスタマイズのプレイリスト内のトラックも同時に消去されますのでご注意ください。
- アーティストグループ、カスタマイズグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 プレイリストの編集 を選ぶ



### 3 消去するトラックが含まれたプレイリストのグループを選ぶ



### 4 消去するトラックが含まれたプレイリストを選ぶ

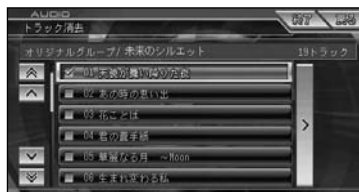


- オリジナルグループ、ユーザーグループのグループ詳細情報画面(→P97)から **グループ内プレイリストの編集** を選んで、この画面を表示して操作することもできます。

### 5 トラックの消去 を選ぶ



### 6 消去したいトラックを選ぶ



- 選択すると、チェックマーク「」が付き、引き続き選ぶことができます。再度選ぶと、選択が解除されます。
- > を選んでサブメニューを表示すると、**全選択** が表示されすべての曲を選択することができます。選択を解除するには、**全解除** または解除したい曲を選びます。

## 7 終了を選ぶ

▼  
消去確認のメッセージが表示されます。

## 8 はいを選ぶか を押す

▼  
選んだリストが消去されます。

## タイトル情報について

プレイリストのタイトル情報を、本機ハードディスク内またはインターネットのGracenote CDDDBのデータベースから取得することができます(タイトルサーチ)。

タイトル情報を取得することにより、ミュージックサーバーの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

### 取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルのよみ
- アルバムのアーティスト名
- アルバムのジャンル
- アルバムの発売年
- トラックタイトル
- トラックタイトルのよみ
- トラックのアーティスト
- トラックのジャンル名
- アーティストのよみ



- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 通信で取得するには、本機には通信カードなど通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(→『ナビゲーションブック』)

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## GracenoteCDDBについて

### ■ 会社概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノートCDDB音楽認識サービスにより、提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、[www.gracenote.com](http://www.gracenote.com)をご覧ください。

### ■ 特許及び商標

「グレースノート社からのCD及び音楽関連データ情報」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。「グレースノートCDDBクライアントソフトウェア」に関する著作権(2000-2003)は、グレースノート社に帰属します。これらの製品及びサービスは、米国特許番号 #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593 並びにその他の特許取得済みまたは申請中の技術の中の1つ或いは複数の技術により提供されます。「Gracenote」及び「CDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracenote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。



- 本機内蔵のGracenote CDDBのデータベース、インターネットのGracenote CDDBのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。

- Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 本商品を利用してのGracenote CDDBのインターネットのデータベースへのアクセスは、2006年3月までご利用できます。

## タイトル情報を取得する

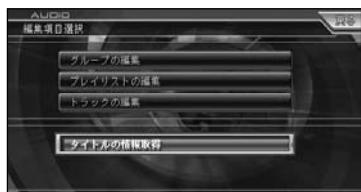
タイトル情報の取得は、まず本機ハードディスク内のデータベースから検索され、該当する情報が見つからなかった場合に、自動的に通信が開始され、Gracenote CDDDBのインターネットのデータベースから情報を取得しに行きます。



- 通信で取得するには、本機には通信カードなど通信機器が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。(→『ナビゲーションブック』)

### 1 編集項目選択画面を表示する (→P93)

### 2 タイトル情報取得 を選ぶ



### 3 情報を取得するプレイリストを選ぶ



自動的に情報の検索が開始されます。



**中止** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

タイトル情報取得中画面の表示後、取得情報結果表示画面が表示されます。

内蔵ハードディスク内に情報があり取得した場合：



通信により情報を取得した場合：



- プレイリスト詳細情報画面 (→P99) やトラック詳細情報画面 (→P105) の **プレイリスト情報取得** を選んで情報を取得することもできます。
- 本機内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。ここで該当のタイトル情報が見つからない場合は、**>** を選んでサブメニューを表示し **通信で取得** を選び、通信でGracenote CDDDBのインターネットのデータベースから情報を取得しに行くこともできます。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

各リストを編集する

## 4 登録したいタイトルを選ぶ



情報取得画面に切り替わります。

**戻る** を選ぶと、タイトルは登録されません。プレイリスト詳細情報画面 (→P99) やトラック詳細情報画面 (→P105) から **タイトル** を選んで、好みのタイトルを入力するか、**該当タイトルなし** を選んでください。

## 5 終了を選ぶ



- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。失敗すると、「情報の取得に失敗しました。」のメッセージが表示されます。**再取得** を選ぶか **決定** を押すと再度接続できます。
- タイトル候補は最大5タイトル表示できます。



## DSP

### (Digital Signal Processor) ... 114

オーディオ設定画面を表示する ... 114

オーディオ設定画面について ... 114

前後左右の音量バランスを調節する

(フェーダーバランス) ..... 116

音場の中心で聞く

(リスニングポジショニング) .... 116

タイムアライメントを選ぶ

(タイムアライメント) ..... 117

タイムアライメントを

詳細に設定する ..... 118

小音量時の音にメリハリをつける

(ラウドネス) ..... 118

イコライザーカーブを選ぶ

(グラフィックイコライザー) .... 119

イコライザーカーブを

大まかに補正する ..... 120

イコライザーカーブを

細かく調節する ..... 120

サブウーファー出力を設定

する(サブウーファー) ..... 121

サブウーファー出力を

詳細に設定する ..... 122

イメージに合った音場設定で

演奏会場を再現する(SFC) ..... 123

BBEで調節する ..... 123

低い音を出力しないようにする

(ハイパスフィルター設定) ..... 124

各ソースの音量の違いをそろえる

(ソースレベルアジャスター) ..... 125

騒音に合わせて音量を変える

(ASL) ..... 126

オートイコライザーカーブを使う

(オートイコライザー) ..... 126

### DSP (Digital Signal Processor) -

### 「DEQ-P9」と組み合わせた場合 ... 127

オーディオ設定画面を表示する ... 127

オーディオ設定画面について ... 127

イコライザーを使う

(パラメトリックイコライザー) ... 129

オートイコライザーカーブを使う

(オートイコライザー) ..... 131

音場の中心で聞く

(リスニングポジショニング) .... 132

前後左右の音量バランスを調節する

(フェーダーバランス) ..... 132

イメージに合った音場設定で

演奏会場を再現する(SFC) ..... 133

各ソースの音量の違いをそろえる

(ソースレベルアジャスター) ..... 133

オリジナルの音質で聞く

(デジタルダイレクト) ..... 134

ドルビープロロジックIIを使う

(Dolby Pro Logic II) ..... 134

ミュージックモードの調節 ..... 135

接続したスピーカーを設定する

(スピーカー設定) ..... 136

サブウーファーの位相を切り替える ... 137

クロスオーバー周波数を設定する

(クロスオーバー周波数) ..... 137

テストトーンでスピーカーレベルを

調節する(テストトーン) ..... 138

スピーカー出力レベルを調節する

(スピーカー出力レベル) ..... 139

タイムアライメントを選ぶ

(タイムアライメント) ..... 140

タイムアライメントを

詳細に設定する ..... 141

ダウンミックスを使う

(ダウンミックス) ..... 142

音の幅を設定する

(ダイナミックレンジコントロール) ... 142

### オートタイムアライメント/イコライジング

(オートTA&EQ) ..... 143

オートTA/EQを行う前に ..... 143

スピーカー破損防止について ... 143

オートTA/EQ機能について ..... 143

オートTA/EQの

調節内容について ..... 144

オートTA/EQを行う ..... 144

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付  
録

# DSP(Digital Signal Processor)

オーディオ設定画面で、お好みに合わせてオーディオの音などを調節することができます。



●別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を接続して音の調節を行う場合は、「DSP(Digital Signal Processor)「DEQ-P9」と組み合わせた場合」(→P127)をご覧ください。また、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせて音の調節を行う場合は、先にシステム設定の「5.1chDSPユニットの設定」をON(→P155)にしてから、AXM-P7側で調節してください。(→「AXM-P7」取扱説明書)

## オーディオ設定画面を表示する

オーディオ設定画面は、各ソースのAVメニューから表示することができます。

### 1 各ソースのAVメニューを表示する

表示のしかたは、各ソースの「AVメニューを表示する」を参照してください。

### 2 オーディオ設定を選ぶ



## オーディオ設定画面について

音質・音色の各設定項目がリストで表示されます。



- AV設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあつた場合は、各種設定はできません。ただし、消音設定がOFFに設定されている場合は、各種設定を行うことができます。
- システム設定の **5.1chDSPユニット** の設定がONになっている場合は設定できません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。



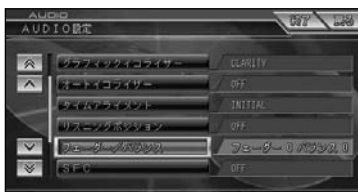
- ① **グラフィックイコライザー**  
イコライザーカーブを選んで音質を設定します。→「イコライザーカーブを大まかに補正する」(P120)「イコライザーカーブを細かく調節する」(P120)
- ② **オートイコライザー**  
自動調節されたイコライザーを使用する設定を行います。→「オートイコライザーカーブを使う」(P131)
- ③ **タイムアライメント**  
スピーカーとリスニングポジションまでの距離を設定します。→「タイムアライメントを選ぶ」(P140)「タイムアライメントを詳細に設定する」(P141)
- ④ **リスニングポジション**  
乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を設定します。→「音場の中心で聞く」(P116)
- ⑤ **フェーダー/バランス**  
前後左右の音量バランスを設定します。→「前後左右の音量バランスを調節する」(P132)
- ⑥ **SFC**  
イメージにあったリアルな音場を設定します。→「イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する」(P133)
- ⑦ **ラウドネス**  
小音量時のメリハリを設定します。→「小音量時の音にメリハリをつける」(P118)
- ⑧ **ASL**  
走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音に合わせて、自動的に音量が変わるように設定します。→「騒音に合わせて音量を変える」(P126)
- ⑨ **サブウーファー**  
サブウーファーから出力される音の設定を行います。→「サブウーファー出力を設定する」(P121)「サブウーファー出力を詳細に設定する」(P122)
- ⑩ **ハイパスフィルター設定**  
選んだ周波数より低い周波数の音を出力しない設定を行います。→「低い音を出力しないようにする」(P124)
- ⑪ **ソースレベルアジャスター**  
ソースを切り替えたときにソース間で音量の違いが出ないように設定を行います。→「各ソースの音量の違いをそろえる」(P125)

## 前後左右の音量バランスを調節する(フェーダーバランス)

前後左右の音量バランスを調節することができます。

### 1 オーディオ設定画面を表示する(→P114)

### 2 フェーダーバランスを選ぶ



### 3 ▲、▼、<、>を選んで前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます

▲ : 前スピーカーの音を強めるとき

▼ : 後ろスピーカーの音を強めるとき

< : 左側スピーカーの音を強めるとき

> : 右側スピーカーの音を強めるとき



• 前後または左右のスピーカーバランスは、それぞれ25ステップの範囲で調節できます。

• ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

### 4 戻るを選ぶか戻るを押す

## 音場の中心で聞く(リスニングポジショニング)

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する(→P114)

### 2 リスニングポジションを選ぶ



### 3 お好みのポジションを選ぶ



**フロントR** : 右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。選ぶごとに**フロントR** ↔ **OFF**が切り替わります。

**フロントL** : 左ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。選ぶごとに**フロントL** ↔ **OFF**が切り替わります。

**フロント** : 同乗者が助手席にいるときに切り替えます。選ぶごとに**フロント** ↔ **OFF**が切り替わります。

**オール** : 同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。選ぶごとに**オール** ↔ **OFF**が切り替わります。



- ポジションが選ばれていないときはOFFになっています。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻る を選ぶか を押す

### タイムアライメントを選ぶ (タイムアライメント)

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

工場出荷時は「INITIAL」です。

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

## 2 タイムアライメント を選ぶ



## 3 お好みの設定を選ぶ



**INITIAL** : 初期設定(工場出荷時の設定)  
選ぶごとにINITIAL ↔ OFFが切り替わります。

**AUTO TA** : オートTA&EQで作成されたタイムアライメントの設定  
選ぶごとにAUTO TA ↔ OFFが切り替わります。

**CUSTOM** : お好みに合わせて調節した設定  
選ぶごとにCUSTOM ↔ OFFが切り替わります。

**詳細設定** : CUSTOM用のタイムアライメント詳細設定(→P141)に切り替わります。



- **AUTO TA** は、システム設定の**オートTA&EQ**を行うと選ぶことができます。「オートタイムアライメント/イコライジング」(→P143)を参照してください。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻る を選ぶか を押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## タイムアライメントを 詳細に設定する

タイムアライメントをお好みに調節することができます。調節した値は、タイムアライメント(→P140)の**CUSTOM**に反映されます。



- リスニングポジション(→P116)で**フロントL**か**フロントR**を選んでいないと、タイムアライメントを調節することができません。

## 1 タイムアライメント設定画面 で**詳細設定**を選ぶ



## 2 距離を設定したいスピーカーを 選ぶ



- サブウーファー出力の設定(→P121)がOFFの場合は、サブウーファーの距離は設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作して選ぶこともできます。

## 3 < または > を選んでスピー カーまでの距離を設定する



< : 距離を近くするとき

> : 距離を遠くするとき



- 0~400cmの範囲で、スピーカーまでの距離を2.5cmステップで設定が可能です。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

## 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

## 小音量時の音にメリハリ をつける(ラウドネス)

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

工場出荷時は「OFF」です。

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

## 2 ラウドネス を選ぶ



### 3 ON または OFF を選ぶ



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか を押す

#### イコライザーカーブを選ぶ (グラフィックイコライザー)

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM)からイコライザーカーブを選ぶことができます。

工場出荷時は「CLARITY」です。



- 本体の **EQ** を押して、イコライザーカーブを選ぶこともできます。
- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

### 2 グラフィックイコライザー を選ぶ



### 3 お好みの設定を選ぶ



選ぶたびにイコライザーカーブが切り替わります。

**CLARITY**、**RHYTHM**、**SENSITIVE**、**NARROW**、**FLAT** :

各設定のカーブを微調整します(→P120)。

**CUSTOM1**、**CUSTOM2** :

お好みに合わせて調節した設定



- FLAT** は、何の補正もしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確認するのに使うと便利です。
- 詳細設定** CUSTOM用のグラフィックイコライザーカーブ詳細設定(→P120)に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか を押す

## イコライザーカーブを 大まかに補正する

呼び出したイコライザーカーブを、全体的なバランスはくずさず、強めたり弱めたり調節できます。

### 1 グラフィックイコライザー設定画面で調節するカーブを選ぶ



### 2 + または - (ニュアンスコントロール)を選んでイコライザーカーブを調節する

**+** : レベルを上げるとき

**-** : レベルを下げるとき



- 選択したカーブによって調節範囲は異なりますが、最大±6の範囲で調節できます。
- **FLAT** および **CUSTOM1**、**CUSTOM2** がFLATになっているときは、イコライザーカーブを調節できません。

### 3 戻るを選ぶか戻るを押す

## イコライザーカーブを 細かく調節する

お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。

ここで調節した設定はCUSTOM1またはCUSTOM2に登録されます。

### 1 グラフィックイコライザー設定画面で調節するカーブを選ぶ



### 2 詳細設定を選ぶ



### 3 調節する周波数を選ぶ



50Hz、80Hz、125Hz、200Hz、315Hz、500Hz、800Hz、1.25kHz、2kHz、3.15kHz、5kHz、8kHz、12.5kHzから周波数を選べます。



## 4 ▲ または ▼ を選んで、レベルを調節する

▲ : 強めるとき

▼ : 弱めるとき

## 5 戻る を選ぶか 戻る を押す



- ±0を基準に±6段階の範囲で調節ができます。
- **CUSTOM1**はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - ・ DVD、CD、WMA/MP3
  - ・ MD(AVIC-ZH900MD)
  - ・ ラジオ、交通情報
  - ・ テレビ、VTR1、VTR2
  - ・ EXT1、EXT2
- **CUSTOM2**は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- **CUSTOM2**以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、**CUSTOM1**に記憶されます。
- **CUSTOM2**のカーブを選んでいるときに、レベル調節すると**CUSTOM2**に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

## サブウーファー出力を設定する(サブウーファー)

サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。

工場出荷時は「OFF」です。

サブウーファーをONにすると、まず下記の設定になります。

- サブウーファー (ON)
- 位相 (NORMAL)
- カットオフ周波数 (80Hz)
- レベル (±0)
- SLOPE (-18dB)

## 1 オーディオ設定画面を表示する(→P114)

## 2 サブウーファー を選ぶ



## 3 「出力」の ON または OFF を選んで、サブウーファー出力のON/OFFを設定する



## 4 「位相」の NORMAL または REVERSE を選んで、位相を設定する

**NORMAL** : フロント/リアスピーカーと同時に出力するとき

**REVERSE** : フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力するとき

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→



- **詳細設定** を選ぶとサブウーファー詳細設定(→次項)に切り替わります。
- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件によりこれらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り替えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。
- ユニバーサルパッドで操作することもできます。



- 選んだ周波数より低い周波数の音域がサブウーファーから出力されます。

## サブウーファー出力を詳細に設定する

サブウーファーの周波数、レベル、効果の傾きの設定を行うことができます。

### 1 サブウーファー設定画面で**詳細設定**を選ぶ



### 2 「周波数の」< または > を選ぶ



50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hzから周波数を選べます。

< : 低くするとき

> : 高くするとき

### 3 「レベルの」< または > を選ぶ



< : 強めるとき

> : 弱めるとき



- -24~+6の範囲で調節ができます。

### 4 「スロープ」の > を選ぶ



選ぶごとに以下のようにスロープが切り替わります。

-6dB→-12dB→-18dB→-6dBに戻る

### 5 **戻る** を選ぶか を押す



- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

## イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する(SFC)

リアルな音場を設定することができます。SFCとはSound Field Control(サウンドフィールドコントロール)の略です。工場出荷時は「OFF」です。

- メモ ●本体の **SFC** を押して、音場を選ぶこともできます。

### 1 オーディオ設定画面を表示する(→P114)

### 2 SFC を選ぶ



### 3 お好みの音場を選ぶ

各音場を選ぶと色が変わり、選択(ON)されたことを表示します。再度選ぶと選択が解除(OFF)されます。



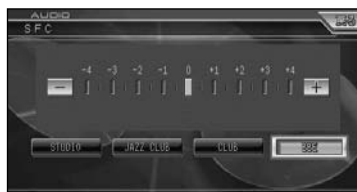
- メモ ●ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか を押す

## BBEで調節する

BBEとは、高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締まりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再現することができます。

### 1 BBE を選ぶ



### 2 + または - を選んでレベルを調節する



**+** : レベルを上げるとき

**-** : レベルを下げるとき

- メモ ●-4~+4の範囲で調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。
- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルはBBE Sound,Inc.の登録商標です。

### 3 戻る を選ぶか を押す

## 低い音を出力しないようにする(ハイパスフィルター設定)

選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。フロントスピーカー、リアスピーカーのそれぞれで好みの周波数を設定することができます。

工場出荷時は下記の通りです。

- フロント カットオフ周波数 (80Hz)
- フロント レベル (±0)
- フロント SLOPE (スルー)
- リア カットオフ周波数 (80Hz)
- リア レベル (±0)
- リア SLOPE (スルー)

## 1 オーディオ設定画面を表示する(→P114)

## 2 ハイパスフィルターを選ぶ



## 3 フロントまたはリアを選ぶ



フロント、リアそれぞれで、周波数、レベル、効果の傾きの設定を行うことができます。

## 4 「周波数の」< または > を選ぶ



50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hzから周波数を選べます。

< : 低くするとき

> : 高くするとき



• 選んだ周波数より低い周波数の音域が選んだスピーカーから出力されないように設定できます。

## 5 「レベルの」< または > を選ぶ



< : 強めるとき

> : 弱めるとき



• -24~0の範囲で調節ができます。  
• **MUTE** を選ぶと、選ぶごとにONとOFFが切り替わり、ON/OFFを設定することができます。リアの調節をしたときにフロントのMUTE (消音) をONにしてリアの調節する場合などに使用します。

## 6 「スロープ」の **>** を選ぶ



選ぶごとに以下のようにスロープが切り替わります。

スルー→-6dB→-12dB→スルーに戻る



- スルーを選ぶと、調節値をフロントまたはリアのスピーカーに反映しません。

## 7 戻る を選ぶか **戻る** を押す

### 各ソースの音量の違いをそろえる (ソースレベルアジャスター)

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

工場出荷時は「0dB」です。



- FMの音量を基準に他のソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - ・CD、WMA/MP3、マルチCD
  - ・AM、交通情報
  - ・テレビ、VTR1、VTR2
  - ・EXT1、EXT2

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

## 2 ソースレベルアジャスター を選ぶ



## 3 + または - を選ぶ



**+** : 現在のソースのレベルが上がる

**-** : 現在のソースのレベルが下がる



- 8dB～+8dBの範囲で2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

## 4 戻る を選ぶか **戻る** を押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
スーパー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 騒音に合わせて音量を 変える(ASL)

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、自動的に音量が変わるようにすることができます。

工場出荷時は「OFF」です。



- 音量が十分あるときは、騒音が大きくなっても、音量の上がり幅は小さくなります。
- この機能が働いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。その場合は、音量を調節してください。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

### 2 ASL を選ぶ



### 3 お好みの感度を選ぶ



感度を選ぶと色が変わり、選択(ON)されたことを表示します。再度選ぶと選択が解除(OFF)されます。

設定できるレベルは、**LOW**、**MID LOW**、**MID**、**MID HIGH**、**HIGH**です。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

## オートイコライザーカーブを 使う(オートイコライザー)

システム設定の「オートTA&EQ」で自動調節したイコライザーの設定値を使用する設定を行うことができます。「オートタイムアライメント/イコライジング」(P143)を参照してください。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P114)

### 2 オートイコライザー を選ぶ



### 3 ON または OFF を選ぶ



自動調節されたイコライザーを働かせない場合は、**OFF** を選びます。



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

# DSP (Digital Signal Processor) - 「DEQ-P9」と組み合わせた場合

オーディオ設定画面で、お好みに合わせてオーディオの音などを調節することができます。



- 別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせて使用し、音の調節を行う場合は、先にシステム設定の「5.1chDSPユニットの設定」をONにしてから、AVX-P7側で調節してください(→「AXM-P7」取扱説明書)。内蔵のDSPを使う場合は「DSP」(→P114)を参照してください。

## オーディオ設定画面を表示する

オーディオ設定画面は、各ソースのAVメニューから表示することができます。

### 1 各ソースのAVメニューを表示する

表示のしかたは、各ソースの「AVメニューを表示する」を参照してください。

### 2 オーディオ設定を選ぶ



## オーディオ設定画面について

音質・音色の各設定項目がリストで表示されます。



- AV設定内の画面を表示中に、音声案内、ハンズフリー通話、音声操作などがあつた場合は、各種設定はできません。
- 走行中は操作できない設定項目があります。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



- ① **パラメトリックイコライザー**  
イコライザーカーブを選んで音質を設定します。→「イコライザーを使う」(P129)
- ② **オートイコライザー**  
自動調節されたイコライザーを使用する設定を行います。→「オートイコライザーカーブを使う」(P131)
- ③ **タイムアライメント**  
スピーカーとリスニングポジションまでの距離を設定します。→「タイムアライメントを選ぶ」(P140)
- ④ **リスニングポジション**  
乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を設定します。→「リスニングポジションを選ぶ」(P132)
- ⑤ **フェーダー/バランス**  
前後左右の音量バランスを設定します。→「前後左右の音量バランスを調節する」(P132)
- ⑥ **SFC**  
イメージにあった音場を設定します。→「イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する」(P133)
- ⑦ **デジタルダイレクト**  
調節した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聞くことができます。→「オリジナルの音質で聞く」(P134)
- ⑧ **Dolby Pro Logic II**  
2チャンネルの音声を5チャンネルで全帯域再生する設定を行います。→「ドルビープロロジックIIを使う」(P134)
- ⑨ **ダイナミックレンジコントロール**  
ドルビーデジタル音声の一番大きな音と一番小さな音の幅をコントロールする設定を行います。→「音の幅を設定する」(P142)
- ⑩ **スピーカー設定**  
スピーカーの有無やサイズを設定します。→「接続したスピーカーを設定する」(P136)
- ⑪ **クロスオーバー周波数**  
各スピーカーから出力される再生音域を設定します。→「クロスオーバー周波数を設定する」(P137)
- ⑫ **スピーカー出力レベル**  
テストトーンで調節した各スピーカーからの出力レベルをもう一度調節します。→「スピーカー出力レベルを調節する」(P139)
- ⑬ **テストトーン**  
テストトーンを聞きながら各スピーカーからの出力レベルを調節します。→「テストトーンでスピーカーレベルを調節する」(P138)
- ⑭ **ダウンミックス**  
5.1chの音声を2ch音声に変換して再生する設定を行います。→「ダウンミックスを使う」(P142)
- ⑮ **ソースレベルアジャスター**  
ソースを切り替えたときにソース間で音量の違いが出ないように設定を行います。→「各ソースの音量の違いをそろえる」(P133)



## イコライザーを使う (パラメトリックイコライザー)

あらかじめ用意された5つの設定(ファクトリーカーブ)とお好みで調節した設定(CUSTOM1、CUSTOM2)からイコライザーカーブを選ぶことができます。また、各スピーカーのバンドごとに中心周波数を設定し、レベル調節やカーブの傾きの切り換えを行うことができます。

工場出荷時は「Powerful」です。

### ●イコライザーの調節について

センタースピーカーは、音像を定位させるのに影響が大きいスピーカーです。このため、他のスピーカーと同時にバランスをとるのは、とても難しい作業です。全体のバランスをとるため、2チャンネルの音声(CDなど)を再生し、センターを除く全てのスピーカーのバランスを調節した後、5.1チャンネルの音声(ドルビーデジタルやDTS)を再生し、センタースピーカーを全体のバランスに合わせるように調節すると、スムーズに行うことができます。

### ●中心周波数について

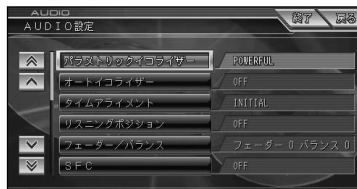
各バンドの中心周波数は、26種類の周波数の中から選ぶことができます。周波数は、1/3オクターブずつのステップで切り替えることができますが、各バンドの中心周波数の間隔を1オクターブ未満に設定することはできません。



- 本体の **EQ** を押して、イコライザーカーブを選ぶこともできます。
- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

## 2 パラメトリックイコライザー を選ぶ



## 3 EQ を選ぶ

設定の対象がEQになります。

## 4 > を選ぶ



表示されるカーブを参考にお好みの設定を選びます。

選ぶごとに以下のように切り替わります。

**SUPPER BASS**→**POWERFUL**→**NATURAL**→**VOCAL**→**FLAT**→**CUSTOM1**→**CUSTOM2**→**SUPPER BASS**に戻る



- ユニバーサルパッドを右に操作して選ぶこともできます。
- FLAT** は、何の補正もしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り替えて、効果を確かめるのに使うと便利です。
- CUSTOM1** はソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - ・DVD、CD、WMA/MP3、マルチCD
  - ・ラジオ、交通情報
  - ・VTR1、VTR2
  - ・EXT1、EXT2

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

- CUSTOM2は、各ソース共通の設定で記憶されます。
- CUSTOM2以外のカーブを選んでいるときにレベル調節すると、CUSTOM1に記憶されます。
- CUSTOM2のカーブを選んでいるときに、レベル調節するとCUSTOM2に記憶されます。
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。

## 5 スピーカー を選ぶ

設定の対象がスピーカーになります。

## 6 <または> を選ぶ



選ぶごとに以下のように切り替わります。  
リア ↔ センター ↔ フロント



- 「スピーカー設定」(→P136)でOFFに設定したスピーカーは選ぶことができません。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 7 バンド を選ぶ

設定の対象がバンドになります。

## 8 <または> を選ぶ



選ぶごとに以下のように切り替わります。  
LOW (低音) ↔ MID (中音) ↔ HIGH (高音)



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 9 周波数 を選ぶ

設定の対象が周波数になります。

## 10 <または> を選ぶ



選ぶごとに各バンドの中心周波数が、以下のように切り替わります。

40Hz、50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz、160Hz、200Hz、250Hz、315Hz、400Hz、500Hz、630Hz、800Hz、1kHz、1.25kHz、1.6kHz、2kHz、2.5kHz、3.15kHz、4kHz、5kHz、6.3kHz、8kHz、10kHz、12.5kHz



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 11 レベル を選ぶ

設定対象がレベルになります。

## 12 <または> を選ぶ



> : 高くするとき

< : 低くするとき



- 12dB~12dBの範囲で、2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 13 Q ファクタ を選ぶ

設定対象がQファクタになります。

### 14 < または > を選ぶ



選ぶごとにカーブの傾きがNARROWとWIDEで切り替わります。

**NARROW** : 急な傾き

**WIDE** : 緩やかな傾き



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 15 戻る を選ぶか 戻る を押す

## オートイコライザーカーブを使う (オートイコライザー)

システム設定の「オートTA&EQ」で自動調節したイコライザーの設定値を使用する設定を行うことができます。「オートタイムアライメント/イコライジング」(P143)を参照してください。工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 オートイコライザー を選ぶ



### 3 ON または OFF を選ぶ



自動調節されたイコライザーを働かせない場合は、**OFF** を選ぶ



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 音場の中心で聞く (リスニングポジショニング)

乗車位置や乗車人数に合わせて、聞く位置を選択することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 リスニングポジションを選ぶ



### 3 お好みのポジションを選ぶ



**フロントR** : 右ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。選ぶごとにフロントR ↔ OFFが切り替わります。

**フロントL** : 左ハンドル車に運転者のみがいるときに切り替えます。選ぶごとにフロントL ↔ OFFが切り替わります。

**フロント** : 同乗者が助手席にいるときに切り替えます。選ぶごとにフロント ↔ OFFが切り替わります。

**オール** : 同乗者が後部座席にいるときに切り替えます。選ぶごとにオール ↔ OFFが切り替わります。



- ポジションが選ばれていないときはOFFになっています。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻るを選ぶか戻るを押す

## 前後左右の音量バランスを調節する(フェーダー/バランス)

前後左右の音量バランスを調節することができます。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 フェーダー/バランスを選ぶ



### 3 ▲、▼、<、>を選んで前後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後の音のバランスを確認できます

- ▲ : 前スピーカーの音を強めるとき
- ▼ : 後ろスピーカーの音を強めるとき
- < : 左側スピーカーの音を強めるとき
- > : 右側スピーカーの音を強めるとき



- 前後または左右のスピーカーバランスは、それぞれ25ステップの範囲で調節できます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して調節することもできます。

#### 4 戻る を選ぶか を押す

### イメージに合った音場設定で演奏会場を再現する(SFC)

リアルな音場を設定することができます。SFCとはSound Field Control(サウンドフィールドコントロール)の略です。工場出荷時は「OFF」です。

#### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

#### 2 SFC を選ぶ



#### 3 OFF または音場の表示されたボタンを選ぶ



選ぶごとに音場が以下のように切り替わります。  
OFF→MUSICAL→DRAMA→ACTION  
→JAZZ→HALL→CLUB→OFFに戻る

#### 4 戻る を選ぶか を押す

### 各ソースの音量の違いをそろえる(ソースレベルアジャスター)

ソースを切り替えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。



- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- ソースごとに記憶されますが、同じ設定になるものは以下の通りです。
  - ・CD、WMA/MP3
  - ・AM、交通情報
  - ・VTR1、VTR2
  - ・EXT1、EXT2

#### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

#### 2 ソースレベルアジャスター を選ぶ



#### 3 + - を選んでレベルを調節する



- +** : 現在のソースのレベルが上がる
- : 現在のソースのレベルが下がる

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→



- -8～+8の範囲で2dBごとに調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

## 4 戻るを選ぶか を押す

## オリジナルの音質で聞く (デジタルダイレクト)

調節した各設定内容に影響されない、オリジナルの音質で聞くことができます。調節したオーディオ設定の効果を確かめるのに便利です。  
工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 デジタルダイレクトを選ぶ



### 3 ON または OFF を選ぶ



- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。
- ON に設定中は、音量調節とドルビープロロジック II の設定のみ行なうことができます。

## 4 戻るを選ぶか を押す

## ドルビープロロジック II を 使う (Dolby Pro Logic II)

ドルビープロロジック II は、2チャンネルの音声を5チャンネルで全帯域再生します。オリジナルの録音の空間情報から、より立体的なサウンド空間を作り出す先進的な機能です。従来のドルビープロロジックに比べ、音の定位がより鮮明になり、音の移動も自然に再生されるので、より立体的な音場を楽しめます。  
工場出荷時は「OFF」です。



- センタースピーカーとリアスピーカーの接続設定がOFFの場合は、この機能は使えません。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 Dolby Pro Logic II を選ぶ



### 3 お好みの設定を選ぶ



#### MOVIE :

映画やテレビドラマなどのステレオ音声を5.1ch録音に迫る立体的な音で楽しめます。  
選ぶごとにMOVIE⇄OFFが切り替わります。

**MUSIC** :

広く深い音場を再現し、音楽などを臨場感豊かに楽しめます。また3つのパラメータを調節することで、お好みに合わせた空間を再現することができます。→「ミュージックモードの調節」(次項) 選ぶごとに**MUSIC**↔**OFF**が切り替わります。

**MATRIX** :

方向性強調回路がオフになるため、シンプルなサウンド再生になります。FMやテレビなどのステレオ放送で受信状態が不安定な場合に向いています。選ぶごとに**MATRIX**↔**OFF**が切り替わります。



- **MUSIC ADJUST** は、**MUSIC** 選択時のミュージックモードの調節に切り替わります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

**ミュージックモードの調節**

**MUSIC** 設定時にミュージックモードを調節できます。

**7 ドルビープロロジックII設定画面で、MUSIC ADJUST を選ぶ****2 お好みのモードを選び、それを調節する****PANORAMA** :

フロントのステレオイメージをサラウンドスピーカーまで拡張して包み込みの効果を大きくします。選ぶごとに**ON**↔**OFF**が切り替わります。

**DIMENSION** :

音場の位置をフロント側、リア側に、-3～+3の間で調節します。➤はフロント側(+)に、➤はリア(サラウンド)側(-)に音を移動します。

**CENTER WIDTH** :

センターの音を、フロントのLRチャンネルとセンターチャンネルの3つのスピーカーに、どのように振り分けるかを0～7の間で設定します。➤は7側に、➤は0側に調節します。推奨は3で、ほとんどの録音に適しています。0はセンタースピーカーだけでセンターの音を再生します。7は通常のステレオと同様にセンターの音をフロントのLRに振り分けます。



- **DIMENSION** と **CENTER WIDTH** は、ユニバーサルパッドを左/右に操作して調節することもできます。

## 接続したスピーカーを設定する(スピーカー設定)

スピーカー接続の有無や接続したスピーカーのサイズ(低音域再生能力)を設定することができます。この設定により、スピーカーを接続していないために再生できないチャンネルの音を他のスピーカーから出力させることができます。

### • スピーカーサイズについて

スピーカーサイズ設定は、100Hz以下の周波数帯域を再生可能かどうかが目安になります。再生可能な場合は「LARGE」に、再生不可能な場合は「SMALL」に設定してください。

## 1 オーディオ設定画面を表示する(→P127)

## 2 スピーカー設定を選ぶ



## 3 設定するスピーカーを選ぶ



- **Phase** は、**サブウーファー** がONに設定されているときに選ぶことができ、サブウーファーの位相を設定することができます(→P137)。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作しても選ぶことができます。

## 4 <または>を選ぶ



選ぶごとに以下のように切り替わります。

**フロント** :  
SMALL ↔ LARGE

**センター** :  
OFF ↔ SMALL ↔ LARGE

**リア** :  
OFF ↔ SMALL ↔ LARGE

**サブウーファー** :  
OFF ↔ ON



## 5 戻るを選ぶか を押す



- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファーを接続していない場合、フロントまたはリアスピーカーに低音再生能力がある限り、スピーカー設定は「LARGE」を選んでください。フロントとリア両方のスピーカー設定を「SMALL」にすると、低音が不足した感じになることがあります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

## サブウーファーの位相を切り替える

車内条件により、サブウーファーから出力される周波数帯域が、フロント/リアのスピーカーから出力される周波数帯域と打ち消し合ってしまう、聞き取りにくくなるような場合は、位相を逆にすることで聞き取りやすくすることができます。スピーカー設定で、サブウーファーがONのときに設定できます。

## 1 スピーカー設定画面で **Phase** を選ぶ



## 2 < または > を選ぶ

選ぶごとにNORMAL ↔ REVERSEが切り替わります。

**NORMAL** : フロント/リアスピーカーと同時に出力される

**REVERSE** : フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される



- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

## 3 戻るを選ぶか を押す

## クロスオーバー周波数を設定する (クロスオーバー周波数)

クロスオーバー周波数は、サブウーファーや、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーの再生音域を設定します。サブウーファーからは、選んだ周波数より低い音域が出力されます。また「SMALL」に設定したスピーカーからは、選んだ周波数より高い音域が出力され、カットされた低い音域はサブウーファーから出力されるようになります。サブウーファーを接続していない場合、カットされた低い音域は「LARGE」に設定したスピーカー（フロントまたはリア）から出力されるようになります。

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

## 2 クロスオーバー周波数 を選ぶ



つづく→

### 3 **▲**または**▼**で設定するスピーカーを選ぶ



- 「接続したスピーカーを設定する」(→P136)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作しても選ぶことができます。

### 4 **<**または**>**を選ぶ



選ぶごとに手順**3**で選んだスピーカーの周波数が、以下のように切り替わります。

63Hz ↔ 80Hz ↔ 100Hz ↔ 125Hz  
↔ 160Hz ↔ 200Hz



- 接続していないスピーカーの設定は必ず「OFF」にしてください。
- サブウーファースローパスフィルターと、スピーカーサイズを「SMALL」に設定したスピーカーのハイパスフィルターのクロスオーバー周波数を設定します。サブウーファーが「OFF」で、他のスピーカーのサイズが「LARGE」や「OFF」に設定されている場合、クロスオーバー周波数の設定は無効になります。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

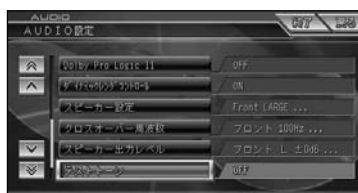
### 5 **戻る**を選ぶか**戻る**を押す

## テストトーンでスピーカーレベルを調節する(テストトーン)

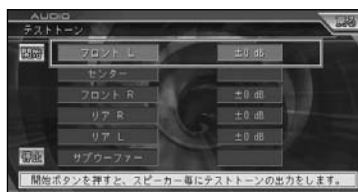
テストトーンを聞きながら、各スピーカーからの出力レベルを調節し、スピーカーシステム全体のバランスを整えます。工場出荷時は「OFF」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する(→P127)

### 2 テストトーンを選ぶ



### 3 開始を選ぶ



約2秒間ずつ、以下の順番で各スピーカーからテストトーンが出力されます。

フロントL → センター → フロントR → リアR

→ リアL → サブウーファー

テストトーン出力中のスピーカーには**<**、**>**が表示され、調節が可能になります。



- 「接続したスピーカーを設定する」(→P136)で「OFF」に設定したスピーカーは飛び越されます。

## 4 <または> を選ぶ



- -10dB~+10dBの範囲で調節できます。
- 調節を行っている間は、次のスピーカーには切り替わりません。
- **停止** を選ぶと、調節を中止することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選択や調節することもできます。

## 5 戻る を選ぶか を押す

このモードで調節した出力レベルは、スピーカー出力レベルで調節したレベルと同じ値になります。

## スピーカー出力レベルを調節する(スピーカー出力レベル)

テストトーンで調節した各スピーカーからの出力レベルを、実際の音声を聞きながらもう一度調節することができます。

## 1 オーディオ設定画面を表示する(→P127)

## 2 スピーカー出力レベル を選ぶ



## 3 ▲または▼で調節したいスピーカーを選ぶ



- 「接続したスピーカーを設定する」(→P136)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作しても選ぶことができます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

## 4 <または>を選ぶ



- -10dB～+10dBの範囲で調節できます。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作しても選ぶことができます。

## 5 戻るを選ぶか戻るを押す

このモードで調節した出力レベルは、テストトーンで調節したレベルと同じ値になります。

## タイムアライメントを選ぶ (タイムアライメント)

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

工場出荷時は「INITIAL」です。

## 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

## 2 タイムアライメントを選ぶ



## 3 お好みの設定を選ぶ



**INITIAL** : 初期設定(工場出荷時の設定)

選ぶごとにINITIAL↔  
OFFが切り替わります。

**AUTO TA** : オートTA&EQで作成されたタイムアライメントの設定

選ぶごとにAUTO TA↔  
OFFが切り替わります。

**CUSTOM** : お好みに合わせて調節した設定

選ぶごとにCUSTOM↔  
OFFが切り替わります。

**詳細設定** : CUSTOM用のタイムアライメント詳細設定(→P141)に切り替わります。



- **AUTO TA** は、システム設定の**オートTA&EQ**を行うと選ぶことができます。「オートタイムアライメント/イコライジング」(→P143)を参照してください。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻るを選ぶか戻るを押す

## タイムアライメントを 詳細に設定する

タイムアライメントをお好みに調節することができます。調節した値は、タイムアライメント(→P140)の**CUSTOM**に反映されます。



- リスニングポジション(→P132)で**フロントL**か**フロントR**を選んでいないと、タイムアライメントを調節することができません。

## 1 タイムアライメント設定画面で 詳細設定を選ぶ



## 2 ▲または▼で距離を設定したいスピーカーを選ぶ



- 「接続したスピーカーを設定する」(→P136)で「OFF」に設定したスピーカーは選択できません。
- ユニバーサルパッドを上/下に操作して選ぶこともできます。

## 3 < または > を選んでスピーカーまでの距離を設定する



< : 距離を近くするとき

> : 距離を遠くするとき



- 0~500cmの範囲で、スピーカーまでの距離を2.5cmステップで設定が可能です。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 戻るを選ぶか戻るを押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ダウンミックスを使う (ダウンミックス)

マルチチャンネル音声を2チャンネルにダウンミックスして再生することができます。

工場出荷時は「Lt/Rt」です。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 ダウンMIX を選ぶ



### 3 Lt/Rt または Lo/Ro を選ぶ



**Lt/Rt** : サラウンド成分を復元(デコード)できるようにダウンミックスします。

**Lo/Ro** : オリジナルの音声サラウンド成分を含まないようなチャンネルモードをステレオミックスします。

メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

## 音の幅を設定する(ダイナミックレンジコントロール)

ダイナミックレンジとは、一番大きな音と一番小さな音との幅です。ダイナミックレンジコントロールは、この幅を圧縮することで、音量を下げた楽しむ場合に小さな音も聞きとりやすくすることができます。

工場出荷時は「ON」です。

メモ •ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

### 1 オーディオ設定画面を表示する (→P127)

### 2 ダイナミックレンジコントロール を選ぶ



### 3 ON または OFF を選ぶ



メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

# オートタイムアライメント/イコライジング (オートTA&EQ)

車室内の音響特性を自動的に計測して、最適に自動補正することができます。

## オートTA/EQを行う前に

オートTA/EQ(オートタイムアライメント/イコライジング)を行う前に必ずお読みください。



**警告**

走行中にオートTA/EQを行わない



**禁止**

自動車が走行中にオートTA/EQを行わないでください。オートTA/EQ機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

## スピーカー破損防止について

次の状態でオートTA/EQを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートTA/EQを行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合  
(例:サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐久力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

## オートTA/EQ機能について

• 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

- 本機のオートTA/EQ機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートTA/EQにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節します。

## ■ オートTA/EQを行う前にお読みください

- オートTA/EQは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートTA/EQを行ってください。計測音以外の音(車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など)によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- オートTA/EQは、必ず付属(本機または「DEQ-P9」)の音響特性測定用マイクを使用して行ってください。付属の音響特性測定用マイク以外のマイクでは、オートTA/EQが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、オートTA/EQが実行できません。また、DEQ-P9と組み合わせた場合のDSPでお使いの場合は、接続されていないスピーカーが「LARGE」や「SMALL」に設定されている場合は、エラーとなります。

つづく➔

- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていますと、オートTA/EQが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- オートTA&EQ測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なる場合がありますが、計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
  - 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
  - パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- オートTA/EQを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
  - 前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
  - イコライザーカーブは、フラット（FLAT）になります。
  - リスニングポジションは、フロントRに設定されます。（ただし、フロントLに設定していたときだけは、フロントLのままになります。）
  - フロントやセンター、リアハイパスフィルターの設定が調節されます。内蔵DSPでサブウーファーを接続している場合は、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。（サブウーファー出力をOFFにしても、自動的にONになり調節されます。）

## オートTA/EQの調節内容について

一度オートTA/EQを行ったあとに、再度オートTA/EQを行うと、前のオートTA/EQの調節内容は消去されます。

## オートTA/EQを行う

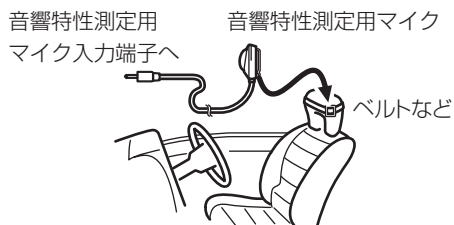
オートTA/EQは、システム設定の項目から設定を行います。

### 1 車の環境を整える

- 静かな所に車を停車します。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- 車のエンジンを停止します。

### 2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属の音響特性測定用マイクを前向きに固定します。



#### ご注意

- マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

### 3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

#### ご注意

- 車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートTA/EQが実行できないことがあります。



## 4 ソースをOFFにする (→P28)

## 5 乗車位置を決定する

リスニングポジション(→P116、132)を設定して、マイクをセットした座席を乗車位置に設定します。



- 乗車位置をフロントRまたはフロントL以外に設定したときは、オートTA/EQを始めると、強制的にフロントRに再設定されます。

## 6 オートTA/EQ測定画面を表示する

AVメニュー(→P26) → システム設定画面(→P148) → **オートTA&EQ測定** を選んで画面を表示します。

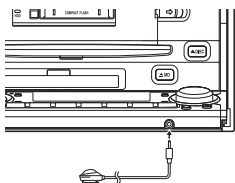


- 内蔵のDSPの場合、フロントパネルが開きます。

### 内蔵のDSP

## 7 マイクを本機に接続する

付属の音響特性測定用マイクを音響特性測定用マイク入力端子に接続します。



### DEQ-P9

## マイクを接続する

「DEQ-P9」に付属のマイクをマイク入力端子(オートEQ&オートTA用マイク端子)に接続します。

## 8 START を選ぶ



中止するときは、**STOP** を選びます。

## 9 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉めます。計測音(ノイズ)が各スピーカーから出力され、オートTA/EQが始まります。しばらくすると自動的に終了します。



オートTA/EQ操作が終わったらセットしたマイクを取り外します。



- マイクをセットする位置により、オートTA/EQの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



# システム設定

<b>システムの設定をする</b> .....	<b>148</b>
システム設定画面を表示する .....	148
システム設定画面について .....	148
音の歪みを補正する（デジタルアッテネーター） ....	150
ビデオ入力を設定する（AV入力設定） .....	150
OELディスプレイを設定する（OEL設定） .....	150
ミュージックサーバーへの 録音を設定する（録音設定） .....	151
音声案内が良く聞こえるようにする（消音設定） ....	152
映像系ソースの表示モードを設定する （ワイドモード） .....	152
リア画面への出力を設定する （ナビ画面リア映像出力） .....	153
モニターの開閉を設定する （オートフラップ設定） .....	153
自動開閉の設定 .....	153
セットバックの設定 .....	154
オートアンテナを設定する （オートアンテナ連動） .....	154
オートTA&EQを使う（オートTA&EQ測定） ...	155
ガイドや電話のスピーカーを設定する （ガイド/ハンズフリーSP設定） .....	155
5.1ch DSPユニットを設定する （5.1ch DSPユニット） .....	155
オーディオの設定をリセットする （オーディオ設定リセット） .....	156

# システムの設定をする

システム設定画面で、本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定をすることができます。

## システム設定画面を表示する

システム設定画面は、各ソースのAVメニューから表示することができます。

### 1 各ソースのAVメニューを表示する

表示のしかたは、各ソースの「AVメニューを表示する」を参照してください。

### 2 システム設定を選ぶ



## システム設定画面について

各設定項目がリストで表示されます。



- **5.1chDSPユニット** (→P155)は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせると表示されます。
- **オーディオ設定リセット** (→P156)は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」を組み合わせると表示されます。
- **ガイド/ハンズフリーSP設定** (→P155)は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせると表示されません。



- ① **デジタルアッテネーター**  
イコライザーカーブの調節 (→P120、129)による音の歪み補正します。→「音の歪みを補正する」(P150)
- ② **AV入力設定**  
VTR(ビデオなど)・バックカメラを接続した場合の設定やバックカメラの極性の設定を行います。→「ビデオ入力を設定する」(P150)
- ③ **OEL (OrganicEL) 設定**  
OELディスプレイの設定を行います。→「OELディスプレイを設定する」(P150)
- ④ **録音設定**  
ミュージックサーバーへの録音の設定をします。→「ミュージックサーバーへの録音を設定する」(P151)
- ⑤ **消音設定**  
ナビゲーションの音声案内、音声操作やハンズフリー通話をしているときに、自動でオーディオの音量を下げる設定をします。→「音声案内が良く聞こえるようにする」(P152)
- ⑥ **ワイドモード**  
映像系ソースの画面表示のモードを設定します。→「映像系ソースの表示モードを設定する」(P152)
- ⑦ **ナビ画面リア映像出力**  
リアモニター接続時に、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。→「リア画面への出力を設定する」(P153)
- ⑧ **オートフラップ設定**  
車のエンジンスイッチをACC(またはON)やOFFにしたときの、モニターの動作を設定します。→「モニターの開閉を設定する」(P153)
- ⑨ **オートアンテナ連動**  
オートアンテナのON/OFF動作を、エンジンスイッチ(本機の電源)と連動させるか、ラジオ(FM/AM)と連動させるかを設定します。→「オートアンテナを設定する」(P154)
- ⑩ **オートTA&EQ**  
オーディオ設定のオートTA&EQ測定を行います。→「オートTA&EQを使う」(P155)
- ⑪ **ガイド/ハンズフリーSP設定(内蔵のDSP使用時)**  
ナビゲーションの音声案内や音声操作、ハンズフリー通話の受話音声を出力するスピーカーを設定します。→「ガイドや電話のスピーカーを設定する」(P155)
- ⑫ **5.1chDSPユニット(「DEQ-P7」と「AXM-P7」を組み合わせる場合)**  
別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせる場合の設定を行います。→「5.1chDSPユニットを設定する」(P155)
- ⑬ **オーディオ設定リセット(「DEQ-P9」を組み合わせる場合)**  
オーディオ設定で行った各設定・調節を出荷時の状態に戻します。→「オーディオの設定をリセットする」(P156)

## 音の歪みを補正する (デジタルアッテネーター)

デジタルATT(アッテネーター)はイコライザーカーブの調節による音の歪みをなくすることができます。工場出荷時は「HIGH」です。

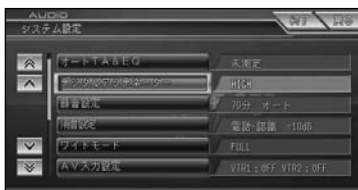


•イコライザーカーブの調節(→P120、129)で、レベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調節で音が歪んだように感じたときは、デジタルATT(アッテネーター)の設定をLOWに切り替えてください。

### 1 ソースをOFFにする(→P28)

### 2 システム設定画面を表示する(→P148)

### 3 デジタルアッテネーターを選ぶ



### 4 HIGH または LOW を選ぶ



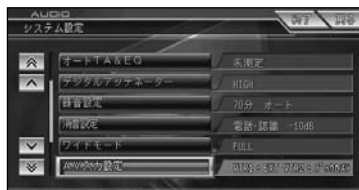
•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 5 戻る を選ぶか 戻る を押す

## ビデオ入力を設定する (AV入力設定)

VTR(ビデオなど)や別売のバックカメラユニット「ND-BC1」などの外部機器を本機に組み合わせた場合、機器に合った設定に切り替えます。

説明は本書の「ビデオなどの入力を設定する」(→P175)、「入力設定をバックカメラに切り替える」(→P177)に記載しています。



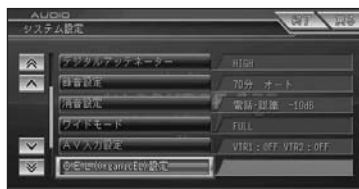
## OELディスプレイを設定する(OEL設定)

OELディスプレイの設定を行います。工場出荷時は下記の通りです。

- リバースモード (ON)
- ソースアイコンモーション (ON)
- DIMMER (OFF)
- BRIGHT (12)
- 連続スクロール (OFF)
- ソースOFF画面 (DEMO)

### 1 システム設定画面を表示する(→P148)

### 2 OEL(OrganicEL)設定を選ぶ



### 3 各項目を設定する



「リバースモード」:  
リバースモードのON/OFFを設定します。

**ON** : 反転する

**OFF** : 反転しない

「ソースアイコンモーション」:  
通常画面でのソースアイコンの表示を設定します。

**ON** : 表示する

**OFF** : 表示しない

「DIMMER」:  
車のライトON/OFFに合わせて、OELディスプレイの明るさ調節する設定をします。

**ON** : 暗くなる

**OFF** : 暗くならない

「BRIGHT」:  
OELディスプレイの明るさを0~15の間で調節します。

**<** : 暗くする

**>** : 明るくする

「連続スクロール」:  
OELディスプレイに表示される文字を連続してスクロールする設定をします。

**ON** : 繰り返しスクロール表示する

**OFF** : 1回のみスクロール表示する

「ソースOFF画面」:  
ソースをOFFにしているときのOELディスプレイの表示を設定します。

**DEMO** : フィーチャーデモを表示する

**クロック** : 時計を表示する

**OFF** : 何も表示しない

- **リバースモードについて**  
リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。
- **フィーチャーデモについて**  
フィーチャーデモは、ソースがOFFのときに、各ソースや本機の機能を表示して紹介する機能です。車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

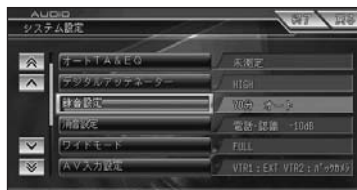


- **赤リード線(アクセサリ電源)**は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のエンジンスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。
- 安全のため走行中に連続スクロールしないようになっています。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻るを選ぶか戻るを押す

#### ミュージックサーバーへの録音を設定する(録音設定)

ミュージックサーバーへの録音時間や録音モードを設定します。説明は本書の「ミュージックサーバーに録音する」(P73)に記載しています。



はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 音声案内が良く聞こえるようにする（消音設定）

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声聞き取りやすくすることができます。

工場出荷時は下記の通りです。

- 消音タイミング（電話・認識）
- 消音レベル（-10dB）

### 1 システム設定画面を表示する（→P148）

### 2 消音設定 を選ぶ



### 3 消音タイミングと消音レベルを設定する



「消音タイミング」：  
消音するタイミングを設定します。

#### ガイド・電話・認識：

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

#### 電話・認識：

ハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

#### OFF：

オーディオの音量を下げません。

「消音レベル」：  
消音のレベルを設定します。

-20dB：音量が1/10になる

-10dB：音量が1/3になる

MUTE：音量が0になる



- 消音タイミングがOFFのときは消音レベルは設定できません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか を押す

## 映像系ソースの表示モードを設定する（ワイドモード）

映像系ソースの画面表示のモードを設定します。説明は本書の「ワイド画面の拡大方法を切り替える」(P171)に記載しています。

工場出荷時は「FULL」です。





## リア画面への出力を設定する (ナビ画面リア映像出力)

リアモニターと組み合わせた場合ソースがOFFまたは音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示するかしないかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

### 1 システム設定画面を表示する (→P148)

### 2 ナビ画面リア映像出力を選ぶ



### 3 ONまたはOFFを選ぶ



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻るを選ぶか戻るを押す



•リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

## モニターの開閉を設定する (オートフラップ設定)

エンジンスイッチのACCがONになったとき自動的にモニター立ち上げ、OFFになったとき自動的に収納する設定をします。また、モニターが立ち上がったときのセットバック（前後位置）を設定します。

### 自動開閉の設定

モニターの開閉を自動で行うか、手動で行うかの設定をします。

工場出荷時は「オート」です。

### 1 システム設定画面を表示する (→P148)

### 2 オートフラップ設定を選ぶ



### 3 「OPEN/CLOSE」のオート またはマニュアルを選ぶ



**オート** : ACCのON/OFFでモニターを自動開閉する

**マニュアル** : モニターの開閉を手動で行う



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

つづく→

システムの設定をする

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

#### 4 戻る を選ぶか を押す

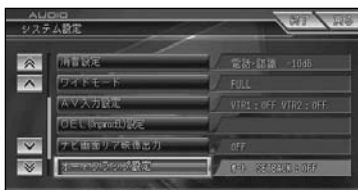
### セットバックの設定

立ち上がったモニターを後に下げる設定をします。

工場出荷時は「OFF」です。

#### 1 システム設定画面を表示する (→P148)

#### 2 オートフラップ設定 を選ぶ



#### 3 「SET BACK」の ON または OFF を選ぶ



**ON** : モニターを後に下げます

**OFF** : モニターを後に下げない



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

#### 4 戻る を選ぶか を押す

### オートアンテナを設定する (オートアンテナ連動)

オートアンテナのON/OFF動作を、エンジンスイッチ(本機の電源)と連動させるか、ラジオ(FM/AM)と連動させるかを設定します。

工場出荷時は「FM/AM連動」です。

#### 1 システム設定画面を表示する (→P148)

#### 2 オートアンテナ連動 を選ぶ



#### 3 FM/AM連動 または ナビ連動 を選ぶ



**FM/AM連動** : ラジオソース(FM/AM) 選択に連動してONにします。

**ナビ連動** : エンジンスイッチ(本機の電源)ONと連動してONにします。



•ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

#### 4 戻る を選ぶか を押す

## オートTA&EQを使う (オートTA&EQ測定)

オーディオ設定のオートTA&EQ測定をスタートします。説明は本書の「オートTA&EQを行う」(P144)に記載しています。



## ガイドや電話のスピーカーを設定する (ガイド/ハンズフリーSP設定)

内蔵のDSPを使用している場合、ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかの設定をします。

工場出荷時は「フロントL+R」です。

### 1 システム設定画面を表示する (→P148)

### 2 ガイド/ハンズフリーSP設定を選ぶ



### 3 スピーカーを選ぶ



**フロントL** : フロント左側から出力する

**フロントL+R** : フロント左右から出力する

**フロントR** : フロント右側から出力する



ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻るを選ぶか戻るを押す

## 5.1ch DSPユニットを設定する(5.1ch DSPユニット)

別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P7」とオーディオマスターユニット「AXM-P7」を組み合わせると、5.1ch DSPユニットの設定を「ON」にすると、音や音場の調節を「AXM-P7」側で行えるようになります。

工場出荷時は「OFF」です。



光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」が接続されていないと、メッセージが表示され5.1ch DSPユニットの設定ができません。光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」を接続してください。

ソースがOFFになっていないと、メッセージが表示され5.1ch DSPユニットの設定ができません。

つづく→

システムの設定をする

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」が接続されていると**5.1ch DSPユニット**は表示されません。
- 5.1ch DSPユニットの設定を「ON」にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

## 1 システム設定画面を表示する (→P148)

## 2 5.1ch DSPユニットを選ぶ



## 3 ONを選ぶ



確認メッセージが表示されます。

- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 4 はいを選ぶか(決定)を押す

5.1chのDSPユニットが設定され、操作およびスピーカー出力が「DEQ - P7」「AXM - P7」側で行えるようになります。

- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ - P7」とオーディオマスターユニット「AXM - P7」を組み合わせて使用しないときは「OFF」を選びます。

## 5 戻るを選ぶか(戻る)を押す

## オーディオの設定をリセットする(オーディオ設定リセット)

5.1ch対応・DSPユニット「DEQ - P9」を組み合わせて行った、オーディオの各種設定や調節をリセットすることができます。

- ソースがOFFのときにリセットできます。

## 1 システム設定画面を表示する (→P148)

## 2 オーディオ設定リセットを選ぶ



## 3 リセットを選ぶか(決定)を押す



確認メッセージが表示されます。

## 4 はいを選ぶか(決定)を押す

各設定・調節がリセットされ、工場出荷時の状態に戻ります。

## 5 戻るを選ぶか(戻る)を押す

# マルチCD

<b>マルチCDの再生</b> .....	<b>158</b>
50連奏マルチCDの使用について .....	158
<b>再生する</b> .....	<b>158</b>
再生画面について .....	158
CD TEXTについて .....	159
早送り/早戻しについて .....	159
<b>再生を停止する</b> .....	<b>159</b>
<b>いろいろな再生操作のしかた</b> .....	<b>160</b>
<b>AVメニューを表示する</b> .....	<b>160</b>
ソースメニューについて .....	160
<b>ソースメニューでのいろいろなディスク操作</b> ...	<b>160</b>
リピート再生 .....	160
ランダム再生 .....	161
スキャン再生 .....	161
再生の一時停止 .....	162
CDの音質を調節する .....	162
<b>ITS機能</b> .....	<b>164</b>
ITSについて .....	164
ITSを登録する .....	164
ITSで再生する .....	164
ITSの登録を消去する .....	165
ミュージックサーバーへの録音 .....	165

# マルチCDの再生

## 50連奏マルチCDの使用について

本機では、50連奏マルチCDの取扱説明書に記載されている50連奏マルチCD特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

## 再生する

マルチCDで再生するには、次のようにします。

### 1 [SOURCE] または [DVD/CD] を押して、ソースをマルチCDに切り替える

ソースプレートとディスクリストが表示され、再生が開始されます。



- 50連奏マルチCDでは、ディスクリストは表示されません。
- マルチCDにマガジンが入っていないときや再生中にマガジンを取り出したときは、OELディスプレイに「NO MAGAZINE」と表示されます。またマルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCD情報の読み込みなど) をしているときに、ソースをマルチCDに切り替えると「READY」と表示されます。



## 2 聴きたいディスクを選ぶ

選んだディスクの最初から再生されます。

### ■6連奏、12連奏マルチCDの場合 リストから直接選ぶ場合

- 聴きたいディスク番号にタッチする
- カーソルを移動して [決定] を押す (→P26)

本体またはリモコンで選ぶ場合

▲ : 次のディスクを選ぶとき

▼ : 前のディスクを選ぶとき

### ■50連奏マルチCDの場合

▲ : 次のディスクを選ぶとき

▼ : 前のディスクを選ぶとき

## 3 聴きたい曲を選ぶ

◀/▶ を左右に操作して聴きたい曲を選びます。

◀ : 前の曲を選ぶとき

▶ : 次の曲を選ぶとき

## 再生画面について

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中にソースプレートにタイトルやアーティスト名、再生時間が表示されます。

### ■6連奏マルチCD接続時

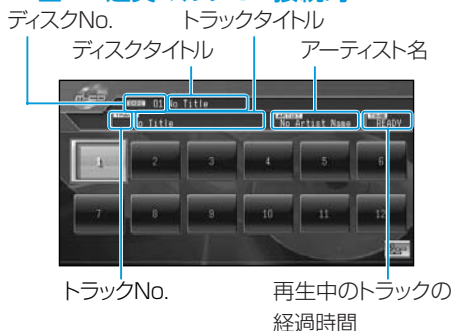
ディスクNo.      トラックタイトル  
ディスクタイトル      アーティスト名



トラックNo.

再生中のトラックの経過時間

## ■ 12連奏マルチCD接続時



## CD TEXTについて

### CD TEXTとは

CDのタイトルやアーティスト名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。(下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。)



- タイトルやアーティスト名が長いと、表示可能な文字数までの表示となります。
- タイトルやアーティスト名は、半角、全角の混在はできません。
- 表示可能文字数は画面の状態（1画面、ピクチャーサイドピクチャー）により異なります。
- 「CD TEXT」が収録されていない場合は、ソースプレートに「No Title」、「No Artist Name」と表示されます。
- 「CD TEXT」の内容はミュージックサーバーには反映されません。

## 早送り/早戻しについて

再生中のディスクを早送り/早戻しします。

### 1 ◀/▶ を押し続ける

操作をやめたところから、再生されます。

◀ : 早戻しするとき

▶ : 早送りするとき

## 再生を停止する

### 1 SOURCE を長く押す

再生が停止します。



- [DVD/CD] を押してOFFを選んでも、再生を停止することができます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D V D

ミュージック  
サーバー

A V 設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# いろいろな再生操作のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生、再生の一時停止など、AVメニューを表示してソースメニューから行う再生操作や、その他の機能の操作を説明します。

## AVメニューを表示する

マルチCDソースのAVメニューを表示させます。

### 1 [メニュー] を押す

AVメニュー画面が表示されます。  
AVメニューおよびAVメニューから行う操作の画面は、**戻る** を選ぶか **戻る** を押すと元の画面に戻ります。

## ソースメニューについて

AVメニューには、「ソースメニュー」と「AV初期設定」があります。



●AVメニューからAV初期設定を表示させることができます。

**オーディオ設定** : →「オーディオ設定画面を表示する」(P114, 127)

**システム設定** : →「システム設定画面を表示する」(P148)

## ソースメニューでのいろいろなディスク操作

ソースメニューから、いろいろな再生操作をすることができます。

## リピート再生

リピートとは繰り返して聴く再生範囲を指定することです。例えば、リピートをTRACK REPEATにすると再生中の曲を繰り返し聴くことができます。

### 1 リピートを選ぶ



選ぶごとに、リピートの範囲が以下のように切り替わります。

MAGAZINE REPEAT→TRACK REPEAT→DISC REPEAT→MAGAZINE REPEATに戻る

**MAGAZINE REPEAT** : マガジン内のすべてのディスクを繰り返します。

**TRACK REPEAT** : 再生中のトラック(曲)を繰り返します。

**DISC REPEAT** : 再生中のディスクを繰り返します。





設定したリピート範囲は、ソースプレートに表示されます。



- リピート再生中にリピートの範囲を越える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

## ランダム再生

選んだリピートの範囲内(→P160)で、曲順を変えて再生することができます。

### 1 ランダムを選ぶ



選ぶごとに、ランダム再生のON/OFFが切り替わります (ONにすると「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。)



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-RANDOM」が表示されます。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はDISC REPEATに自動的に切り替わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を越える操作 (DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

## スキャン再生

選んだリピートの範囲(→P160)で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各ディスクの1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やディスクを探すときに使います。

### 1 リピートの範囲を以下のように指定する (→P160)

#### ■ 聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク内の各曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。リピート範囲をDISC REPEATに指定します。



- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、DISC REPEATにリピートの範囲が切り替わります。

#### ■ 聴きたいディスクを探すとき

マガジン内全ディスクの1曲目だけの演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。リピート範囲をMAGAZINE REPEATに指定します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

つづく→

いろいろな再生操作のしかた

## 2 スキャンを選ぶ



選ぶごとに、スキャン再生のON/OFFが切り替わります（ONにすると「(リピート範囲)-SCAN」が表示されます。）。



ONにすると、ソース画面ではソースプレートに「(リピート範囲)-SCAN」が表示されます。

- メモ ●スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

## 3 聴きたい曲またはディスクが再生されたら、もう一度スキャンを選ぶ

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはディスクが再生されます。

- メモ ●スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を越える操作(DISC REPEAT中のディスクの切り替えなど)行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

## 再生の一時停止

### 1 ポーズ/再生を選ぶ



▼  
ディスクの再生が一時停止します。もう一度 **ポーズ/再生** を選ぶと再生を再開することができます。

## CDの音質を調節する

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。(デジタルコンプレッション)

- メモ ●COMP/DBE機能付きのマルチCDを接続したときに操作できます。COMPとは、Compressionの略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聴き取りにくいようなときにお使いになると便利です。DBEとは、Dynamic Bass Emphasisの略で、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

### 1 COMP/DBEを選ぶ



## 2 お好みの設定を選ぶ



選ぶごとに以下のように切り替わります。  
OFF→COMP1→COMP2→COMP OFF  
→DBE1→DBE2→OFFに戻る



- COMP、DBEともに、1より2のほうが効果が大きくなります。
- コンプレッション非対応のチェンジャーが接続されている場合は、**COMP/DBE**は選べません。またOELディスプレイに「NO COMP」と表示されます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設  
定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# ITS機能

登録させた曲だけ再生する(「ITS再生」)のために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに登録させておきます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを登録させておき、それを再生する(「ITS再生」)機能です。



- 曲の登録はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの登録は消えません。
- CD1枚につき99曲まで登録することができます。(CDX-P1250、CDX-P650以前に発売されたマルチCDでは登録できる曲が24曲までになります。)
- ITSは、CD100枚分の登録ができます。(100枚を超えたときは、いちばん古いCDから消去されます。)

## ITSを登録する

### 1 ITS登録したいディスクを再生する

### 2 AVメニューを表示する (→P160)

### 3 ITSを選ぶ



### 4 ◀または▶で登録する曲を選ぶ



### 5 1曲登録を選ぶ



「1曲登録しました。」のメッセージが表示され、ITS登録されます。

## ITSで再生する

ITS登録された曲だけを検索して再生します。



- 検索されるのは、指定してあるリピート範囲(→P160)内です。
- リピート範囲内にITS登録させた曲が無い場合は、OELディスプレイに「ITS EMPTY」と表示されます。

### 1 ITS登録された曲のあるディスクを再生する

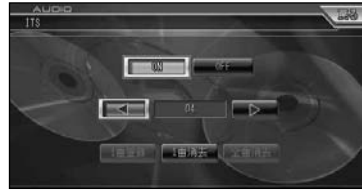
### 2 AVメニューを表示する (→P160)

**3 ITS** を選ぶ**4 ON** を選ぶ

ITS登録された曲だけが順番に再生され、再生状態表示部に「ITS」と表示されます。  
**OFF** を選ぶと通常の再生に戻ります。

**ITSの登録を消去する**

ITSの登録は、1曲ずつ、またはすべての登録を一度に消去することができます。

**1 ITS登録された曲のあるディスクをITSで再生する****2 AVメニューを表示する**  
(→P160)**3 ITS** を選ぶ**4 ◀または▶** で登録を削除する曲を選ぶ**5 1曲消去** を選ぶ

メッセージが表示され、選んだ曲が消去されます。



- 消去の結果、現在再生中のリピート範囲内にITS登録させた曲が無くなった場合は、OELディスプレイに「ITS EMPTY」と表示され、ITS再生がOFFになります。
- モニターには「1曲も登録されていません」とメッセージが表示されます。

**全消去する場合**

手順 **4** で **全消去** を選ぶと、すべてのITS登録を消去できます。

**全消去** を選び、**はい** を選んでください。

**ミュージックサーバーへの録音**

マルチCDはミュージックサーバーに録音することができます。

詳しくは「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。



# その他の機能

<b>モニターを設定する</b> .....	<b>168</b>
<b>画質の調節</b> .....	<b>168</b>
黒の濃さやコントラストを調節する .....	168
色の濃さや色合いを調節する .....	169
液晶画面の明るさを調節する .....	170
<b>ワイド画面の拡大方法を切り替える</b> .....	<b>171</b>
ワイドモードの種類 .....	172
<b>画面の表示モードを切り替える</b> .....	<b>173</b>
ピクチャーサイドピクチャーに変更する .....	173
ピクチャーインピクチャーに変更する .....	173
<b>ビデオなどを見る</b> .....	<b>175</b>
ビデオなどの入力を設定する .....	175
ビデオなどの見かた .....	176
ミュージックサーバーへの録音 .....	176
<b>バックカメラを使う</b> .....	<b>177</b>
入力設定をバックカメラに切り替える .....	177
バックカメラの切り替えかた .....	178
<b>リアモニターを組み合わせる</b> .....	<b>179</b>
リアモニターに表示される映像について .....	179
<b>リアモニター用リモコンを使う</b> .....	<b>180</b>
数字ボタンで選ぶとき .....	180
<b>OELディスプレイについて</b> .....	<b>181</b>
OELディスプレイの表示 .....	181
OELディスプレイの表示を切り替える .....	181
DISP を押したとき .....	181
ENT を押したとき .....	182
CLK を押したとき .....	182
ファンクションモードを使う .....	182
<b>音声で操作できる機能</b> .....	<b>184</b>
<b>リビングキットで操作できる機能</b> .....	<b>185</b>
リビングキットとは .....	185
再生する .....	185
情報を取得する .....	185
録音する .....	185

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# モニターを設定する

## 画質の調節

映像系(ナビゲーション、DVD、テレビ、VTR、バックカメラ)およびソース画面(CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバー、その他の画面)の画質をそれぞれ調節することができます



• 走行中は操作できません。

## 黒の濃さやコントラストを調節する



• 周囲が明るいとき(昼間 ☀️ 黄)と暗いとき(夜間 🌑 緑)の調節値を個別に記憶させることができます。

• 外光センサーで周囲の明るさを感知し、明るいときと暗いときの設定を自動的に切り替えます。

• 設定内容は以下の通り、別々に記憶されます。

- ナビゲーション
- DVD
- テレビ
- VTR1(またはEXT1、EXT2 \*2)
- VTR2(またはバックカメラ)
- ミュージックサーバー
- CD・WMA/MP3・MD、ラジオ、交通情報、EXT1、EXT2 \*1

EXT1、EXT2はVTR1がONまたはOFFのときは、※1の設定です。VTR1がEXTのときは、※2の設定です。(→P175)

- バックカメラの画質調節を行う場合は、「システム設定」の[AV入力設定]で、VTR2を「バックカメラ」に設定しておく、画質調節画面右上に **バックカメラ** が表示され、バックカメラの画質を調節することができます。ただし、お使いのバックカメラによっては、シフトレバーをリバースの位置にしないと設定できないものもあります。→「バックカメラを使う」(P177)
- ピクチャーサイドピクチャーとピクチャーインピクチャーの画質は、ナビゲーション画面の設定が反映されます。

## 1 調節したい映像の表示画面で、**V.ADJUST/NAVIスタンバイ**を押す

画質調節画面が表示されます。

## 2 「黒の濃さ」または「コントラスト」の調節ボタン( **低** または **高** など)を選んで調節する



モニター上部の外光センサーが、周囲の明るさを感知し、現在の明るさを示すマークが画面に表示されます。

🌑 (緑) : 暗いとき(夜間)

☀️ (黄) : 明るいとき(昼間)

### 黒の濃さ

(白) : 薄くなる

(黒) : 濃くなる



## コントラスト（明暗）

**低**：白黒の差が小さくなる（暗くなる）

**高**：白黒の差が大きくなる（明るくなる）



- -24～+24の間で調節することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 3 終了を選ぶか を押す

## 色の濃さや色合いを調節する



- DVD、テレビ、VTR1、VTR2（またはバックカメラ）で別々に設定内容を記憶します。
- EXT1、EXT2は、VTR1がEXTの場合、VTR1の設定です。
- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）は、調節できません。

### 1 調節したい映像の表示画面で、

**V.ADJUST/NAVIスタンバイ**を押す

画質調節画面が表示されます。

### 2 「色の濃さ」または「色合い」の調節ボタン（**淡**または**濃**など）を選んで調節する




#### 色の濃さ

**淡**：薄くなる

**濃**：濃くなる

#### 色あい

（赤）：赤が強くなる

（緑）：緑が強くなる



- -24～+24の間で調節することができます。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 3 終了を選ぶか を押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 液晶画面の明るさを調節する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見づらくなることがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調節します(3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調節される明るさを設定しておくことができます。

### 1 調節したい映像の表示画面で、

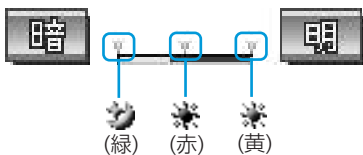
V.ADJUST/NAVIスタンバイを押す

画質調節画面が表示されます。

### 2 「明るさ」の暗または明を選んで調節する



モニター上部の外光センサーで周囲の明るさを感知して、現在の周囲の明るさ(外光レベル)をマークの色、形、および矢印(▼)の位置で表示します。



☀(黄)：明るいとき(昼間)

☀(赤)：中間の明るさのとき(夕方)

☀(緑)：暗いとき(夜間)



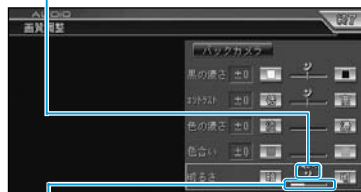
- 明るさを調節するとき基準となる外光レベルは、下記で示すマークと矢印(▼)の位置で表示されます。
- 黒の濃さやコントラストを調節するときのマークと異なる場合があります。

#### 画面の明るさ

暗：暗くなる

明：明るくなる

この画面では、暗いとき(☀)の画面の明るさを調節しています。



レベルは調節している画面の明るさを表します。右に伸びるほど、明るくなります。



- 次の外光レベルごとに調節でき、それぞれの設定値を記憶させることができます。
  - 暗い(☀緑)
  - 中間(☀赤)
  - 明るい(☀黄)
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して設定することもできます。

### 3 終了を選ぶか戻るを押す



- 映像ごとに調節値を記憶させることはできません。

# ワイド画面の拡大方法を切り替える

DVDやテレビおよびVTR（ビデオなど）の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。



- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- DVD、テレビ、VTR1、VTR2で設定内容が別々に記憶されます。
- EXT1、EXT2は、VTR1がEXTの場合、VTR1の設定です。
- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど）は、ワイドモードの切り替えはできません。



- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り替え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

## 5 戻るを選ぶか戻るを押す

### 1 ソースを切り替える(→P28)

### 2 システム設定画面を表示する(→P148)

### 3 ワイドモードを選ぶ



### 4 お好みの表示方法を選ぶ



→それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」(P172)を参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

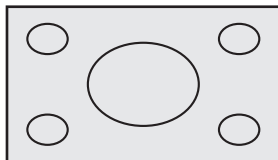
その他の機能

付録

## ワイドモードの種類

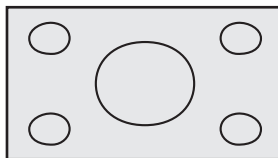
### FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



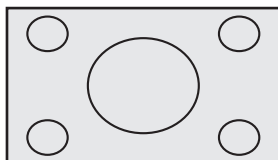
### JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



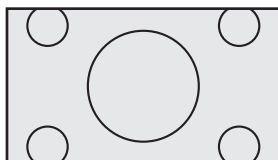
### CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



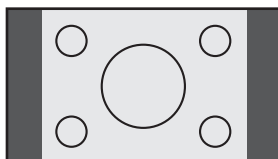
### ZOOM (ズーム)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



### NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



## 画面の表示モードを切り替える

本機の画面の表示のしかたには、次の3種類があります。

**1画面** 地図の1画面表示

**ピクチャーサイドピクチャー** 画面を2分割して、ナビゲーション画面とソース画面を同時に表示する

**ピクチャーインピクチャー** ナビゲーション画面の中にソース画面を小さく表示する

**ピクチャー** (子画面)

- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **NAV/AV** を押すとソースの1画面に切り替わります。再度押すと2画面に戻ります。
- ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャー表示中に **メニュー** を押すとナビゲーションメニューが表示されます。AVメニューを表示させるには **NAV/AV** を押してソースを1画面にしてから **メニュー** を押してください。

### ピクチャーサイドピクチャーに変更する

#### 1 **DISP SEL** を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

#### 2 「PsideP」の **▲** または **■** を選ぶ



1画面に戻すには「1画面」の **▲** を選びます。



- 2画面とも同じ画面にすることはできません。
- ソース画面どうし(テレビとDVD、DVDとビデオなど)の2画面表示はできません。
- ナビゲーションの操作をしやすくするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。

#### 3 **戻る** を選ぶか **戻る** を押す

### ピクチャーインピクチャーに変更する

#### 1 **DISP SEL** を押す

画面表示モード選択画面が表示されます。

#### 2 「PinP」の **▲**、**▲**、**▲**、**▲** のいずれかを選ぶ



#### 3 **画面サイズ** を選ぶ



子画面の大きさを変更することができます。選ぶごとに以下のように切り替わります。  
1/16→1/9→1/4→1/16に戻る

1画面に戻すには「1画面」の **▲** を選びます。

つづく→

モニターを設定する

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



- テレビ、ビデオ、DVDを選んでいる場合のみ子画面のサイズを変更することができます。
- 走行中は子画面のサイズを変更することはできません。
- ピクチャーインピクチャーで表示される子画面は、ワイドモードの設定にかかわらず、「ワイド」(テレビアスペクトが16:9)で表示されます。
- ナビゲーションの操作をしやすいするため、一時的にナビゲーション画面だけになる(1画面になる)ことがあります。
- ピクチャーインピクチャーの親画面と子画面の入れ替えはできません。
- ユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

#### 4 戻る を選ぶか を押す

# ビデオなどを見る

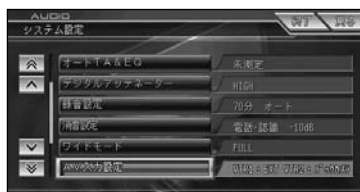
本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

## ビデオなどの入力を設定する

ビデオなどの映像を見るためには、システム設定の「AV入力設定」で設定を行ってください。

### 1 システム設定画面を表示させる (→P148)

### 2 AV入力設定を選ぶ



### ■ VTR1端子にビデオ機器などを接続した場合

### 3 「VTR1」の ON または EXT を選ぶ



**ON** : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

**EXT** : 接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき

**OFF** : 何も接続されていないとき

### ■ VTR2端子にビデオ機器などを接続した場合

### 3 「VTR2」の ON を選ぶ



**ON** : 接続されたビデオなどの映像を表示するとき

**バックカメラ** : バックカメラの映像を表示するとき (→P177)

**OFF** : 何も接続されていないとき

メモ •ユニバーサルパッドを左/右に操作して選ぶこともできます。

### 4 戻る を選ぶか 戻る を押す

メモ •**EXT** は映像系エクスターナルユニットをVTR1に接続し、さらにIP-BUSによる接続がされている場合に設定できます。詳しくは販売店にご相談ください。  
•本機はエクスターナルユニットを2台までコントロールすることができますが、映像系と音声系のエクスターナルユニットを1台ずつ接続した場合、ソースを音声系エクスターナルユニットに切り替えても画面がVTR1に切り替わってしまいます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## ビデオなどの見かた

VTR1またはVTR2に切り替えてビデオなどの映像を見ます。

### ご注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときは、モニターでビデオなどの映像を見られます。走行中は安全のためにモニターには、ビデオなどの映像は表示されません。

## 1 SOURCE または TV/VTR を押して、ソースを切り替える

▼  
ビデオなどの画面が表示されます。

## ミュージックサーバーへの録音

VTR1またはVTR2の音声はミュージックサーバーに録音することができます。  
→詳しくは「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。



# バックカメラを使う

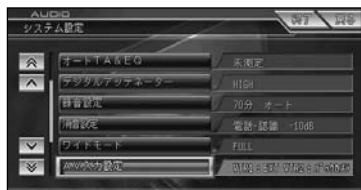
本機にバックカメラ(バックカメラユニット「ND-BC1」)を接続して、車の後方の映像を画面に表示させることができます。映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

## 入力設定をバックカメラに切り替える

バックカメラの映像を表示するためには、システム設定の「AV入力設定」で、「VTR 2」を「バックカメラ」に設定してください。またバックカメラの極性も設定してください。

### 1 システム設定画面を表示させる (→P148)

### 2 AV入力設定を選ぶ



### 3 「VTR2」のバックカメラを選ぶ



### 4 「バックカメラ極性設定」のLOWまたはHIGHを選んで、車両のバック信号の極性に合わせる



**LOW** : グラウンド(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がLOWとなる車両の場合に選択します。)

**HIGH** : バッテリー(バックギアに入れたときに、バック信号線の電圧がHIGHとなる車両の場合に選択します。)



- 必ずバック信号入力線(紫/白)を接続してください。バック信号の極性については、ナビゲーションの情報メニューから「ハードウェア情報」で確認できます。→『ナビゲーションブック』
- 手順3、4はユニバーサルパッドを上/下/左/右に操作して選ぶこともできます。

### 5 戻るを選ぶか戻るを押す

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## バックカメラの切り替えかた

シフトレバーをR(リバース)の位置にすると後方画面に切り替わります。駐車場で後退するときなどに便利です。

### 1 バックギアを入れる



シフトレバーを他のギアに切り替えると、画面表示は元の映像に切り替わります。



- 写真はイメージです。
- バックカメラ表示中に **NAVI/AV**、**現在地**、**メニュー** を押すと、バックカメラ映像は解除します。
- バックカメラの使いかたは、バックカメラの説明書をご覧ください。
- バックカメラを正常に動作させるため、必ずバック信号を接続してください。バック信号の接続は、お使いのナビゲーション本体の『取付説明書』をご覧ください。
- 走行中は画質調節できません。
- 本機にはバックカメラの映像を左右反転する機能はありません。

# リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

→接続のしかたは『取付説明書』を参照してください。

## リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、本機で表示されている映像が表示されます。ただし、テレビ、DVDまたはVTRのときは、本機の映像に関係なく、常にテレビ、DVDまたはVTRの映像が表示されます。
- システム設定の「リア画面への出力を設定する」(→P153)でONに設定してあると、ソースがOFFまたは音声系ソース(CD、WMA/MP3、MD、ミュージックサーバーなど)のとき、リアモニターにナビゲーション画面を表示することができます。
- リアモニターは、走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。このため、走行中でもテレビ、DVDやVTRの映像を見ることができます。
- バックカメラ映像はリアモニターに出力されません。

### ご注意

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。



- リアモニター出力はコンポジット信号のため、リアモニターに表示されるナビゲーション及びオーディオ画面は、本機のモニターに表示される映像と比べて劣化します。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

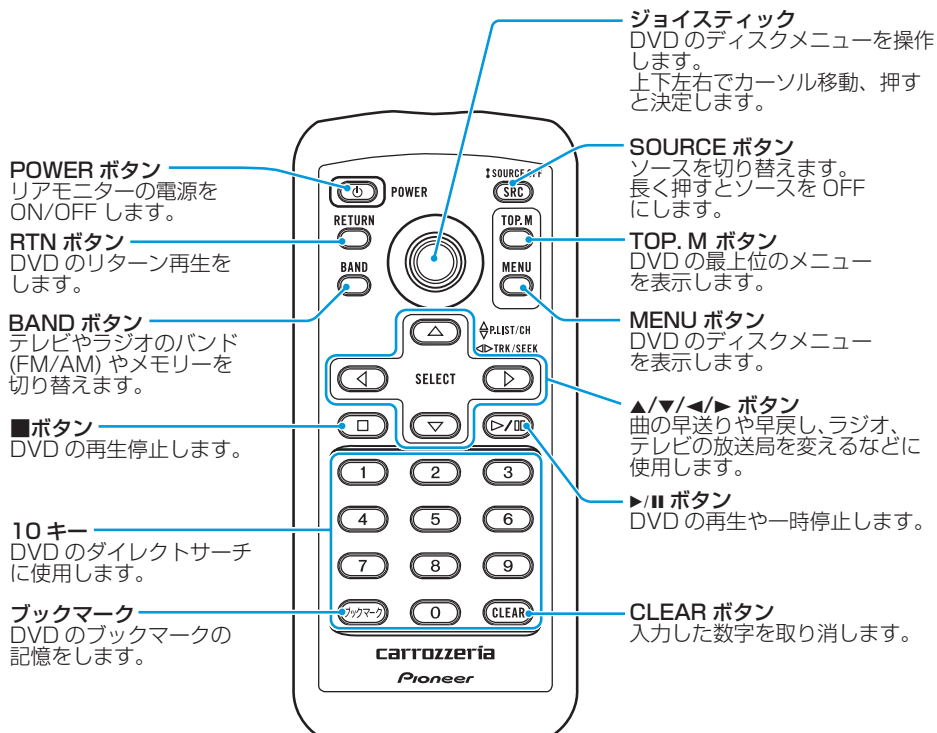
マルチCD

その他の機能

付録

# リアモニター用リモコンを使う

リアモニター用リモコン「CD-RR1」は、本機にリモコン信号出力付きのリアモニター（例：「TVM-W6500」）を組み合わせたときに、テレビやDVD、CD/WMAなどの操作を後席から行うためのリモコンです。リモコン信号出力付きのリアモニターと組み合わせていない場合やリモコン信号出力に対応していないリアモニター（例：「TVM-W8000」）と組み合わせた場合はご使用になれません。



## 数字ボタンで選ぶとき

見たいチャプター番号の数字を押すと指定したチャプターから再生が始まります。

**3を選ぶとき** 「0」と「3」を押します。

**10を選ぶとき** 「1」と「0」を押します。

**23を選ぶとき** 「2」と「3」を押します。

# OELディスプレイについて

OELディスプレイには、オーディオ操作やAV設定(EQやSFC)の状態、時計などが表示されます。モニターを収納した状態でもオーディオの動作状態が確認できます(エラーも表示されます)。

また、**[DISP]**、**[FUNCTION]**、**[ENT]**、**[CLK]**を押すと、いろいろな操作や表示の切替えを行うことができます。

## OELディスプレイの表示

OELディスプレイは、ソースごとにさまざまな表示を行います。また時計や動画なども表示することができます。

- ・通常表示(例:CD)



- ・時計表示



- ・エンタテインメント表示  
(例:スペースランニング)



## OELディスプレイの表示を切り替える

**[DISP]**、**[ENT]**、**[CLK]**を押すといろいろな表示の切り替えを行うことができます。

### **[DISP]** を押したとき

**[DISP]**を押すと、動作中のソースの情報が表示されます。ボタンを押すたびに表示が切り替わります。またボタンを長く押し、以下の表示をスクロールして表示することができます。



### ■ CD :

通常表示(Track/再生経過時間)→Disc title→Disc artist name→Track title→Track artist name→通常表示に戻る

### ■ WMA/MP3 :

通常表示(Folder/Track/再生経過時間)→Folder name→File name→Track title→Artist name→Album title→Bit rate→通常表示に戻る

### ■ MD :

通常表示(Group/Track/再生経過時間)→Disc title→Group title→Track title→通常表示に戻る

### ■ テレビ :

通常表示(P.ch/ch)→Station name→通常表示に戻る

つづく→

## ■ ラジオ :

通常表示(周波数表示)→Station name  
→通常表示に戻る

## ■ ミュージックサーバー :

通常表示(Playlist/再生経過時間)→  
Playlist name→Track title→Artist  
name→通常表示に戻る

## ■ マルチCD :

通常表示(Disc/Track/再生経過時間)→  
Disc title→Track title\*→Disc artist  
name\*→Track artist name\*→通常表示  
に戻る

※「CD TEXT」に対応しているマルチ  
CD(「CDX-P670」など)で「CD  
TEXT」再生中に表示できます。



- WMAファイルではAlbum titleは表示  
できません。また、Track title、Artist  
nameについても正確に表示できない  
場合があります。

## ENT を押したとき

ENTとはエンタテインメント表示のこ  
とで、OELディスプレイに動画やレベルイ  
ンジケーターなどの楽しさを演出する表  
示、時計など、有意義な情報を表示する機  
能です。

ENT を押すと、表示をエンタテインメン  
ト表示に切り替えます。ボタンを押すたび  
に以下のようにエンタテインメントの種  
類が切り替わります。

通常画面→BGV(バックグラウンドビジュ  
アル)1→BGV2→MOVIE1(スペースラ  
ンニング)→MOVIE2(アースプレス)→  
MOVIE ALL→アナログパワーメーター→  
レベルインジケーター→スぺアナ1→スぺ  
アナ2→スぺアナ3→スぺアナALL→オー  
トサウンドレベライザー表示→クロック  
→通常画面に戻る

## CLK を押したとき

CLK を押すと、時計を約8秒間表示します。



- GPSより時刻情報を受信して本機の時  
計を合わせているので、時報などを利用  
して時刻を合わせる必要はありません。

## ファンクションモードを使う

ファンクションモードは、ソースメニューを  
表示すること無く、リピート再生やランダ  
ム再生などの設定をすることができます。

FUNCTION を押すごとに以下のように切り替  
わります。

設定したい機能表示後、▲/▼/◀  
/▶で設定します。



機能 設定

▲/▼/◀/▶の使用できるボタン  
を表示します。



- ファンクションモードを解除するに  
は、BAND/ESCを押します。
- FUNCTIONを押して約30秒何も操作しない  
と、OELディスプレイの表示は、元に戻  
ります。

## ■ DVD :

Repeat→Pause→L/R select→  
Repeatに戻る

## ■ CD、WMA/MP3 :

Repeat→Random→Scan→Pause→  
Search→Repeatに戻る

## ■ MD :

Repeat→Random→Scan→Pause→  
Repeatに戻る

## ■ テレビ :

BSSM→MPX→BSSMに戻る

## ■ ラジオ :

BSM

## ■ ミュージックサーバー :

Repeat→Random→Digest→Pause→  
Repeatに戻る

## ■ マルチCDの場合 :

Repeat→Random→Scan→Pause→  
ITS play→ITS memory→COMP/DBE  
→Repeatに戻る



- 「ITS memoly」選択時は、◀ / ▶  
で選曲ができます。また▲でメモ  
リー、▼で消去ができます。▼を  
長く操作すると、全消去ができます。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# 音声で操作できる機能

付属のステアリングリモコンと音声認識用マイクを使って操作できる、代表的な機能は次のとおりです。

<b>各ソース共通</b>	画面設定関係 画面設定 PsideP PinP 1画面 画面入れ替え ナビ画面 AV画面	<b>ビデオ</b>	ソース切り替え
<b>DVD、CD、 WMA/MP3、 MDディスク</b>	ソースの切り替え トラックの切り替え フォルダの切り替え (WMA/MP3ディスク) チャプターの切り替え (DVD) タイトルの切り替え (DVD)	<b>マルチCD</b>	トラックの切り替え ディスクの切り替え ディスク番号の指定
<b>ミュージック サーバー</b>	ソースの切り替え グループの切り替え プレイリストの切り替え トラックの切り替え グループ名の指定 プレイリスト名の指定 トラック名の指定 トラック番号の指定 プレイリストを探す トラックを探す アーティストを探す アーティスト名 ヒットチャートプレイ 〇〇年のヒットチャート フィーリングプレイ 明るい曲 ノリがいい曲 静かな曲 かなしい曲 癒される曲	<b>テレビ</b>	ソース切り替え チャンネル切り替え チャンネル番号ダイレクト 放送局名ダイレクト バンド切り替え
		<b>FM/AM</b>	ソース切り替え 放送局切り替え (UP/DOWN) 放送局名ダイレクト バンド切り替え 放送局リスト 交通情報にする



•詳しくは、『ナビゲーションブック』を参照してください。



# リビングキットで操作できる機能

## リビングキットとは

リビングキットでは、オーディオソース（ミュージックサーバー、音声入力）の操作が行え、操作の状態表示をテレビなどの画面に表示することができます。また、音声入力（ホームテレビやコンポ）による、ミュージックサーバーへの録音も可能です。

ミュージックサーバーを自宅で楽しむ場合など、基本的な操作は、車載時と同様です。オーディオブックの該当箇所を参照してください。

リビングキットの接続や独特の操作など、リビングキットに関する事項は、『リビングキット取扱説明書』と『HDD [サイバーナビ] ブロードバンド関連指定機器のご案内』を参照してください。



- 音声入力はAUXとして、ソースの切り替えができます。
- リビングキットでミュージックサーバーのヒットチャートプレイを楽しむ場合、時刻の情報が取得できていないと、ヒットチャートの再生・閲覧・取得・編集ができません。手動で時刻を取得してください。→『ナビゲーションブック』

## 再生する

ミュージックサーバーに録音されたデータを再生することができます。

→ミュージックサーバーの操作に関しては、「ミュージックサーバーの聴きかた」(P77)を参照してください。

## 情報を取得する

ご自宅のインターネット環境を利用して、ヒットチャートやタイトルなどの情報の取得操作が可能です。

→情報取得の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「最新のヒットチャートを見る」(P86)、「タイトル情報を取得する」(P111)を参照してください。

## 録音する

ご自宅のホームテレビやコンポなどから、音声入力でアナログ録音することができます。

録音操作や録音中の操作に関しては、「ミュージックサーバー」の「CD以外のソースを録音する」(P76)を参照してください。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



# 付録

<b>MP3ファイル、WMAファイルについて ...</b>	<b>188</b>
フォルダーとMP3および	
WMAファイルについて .....	188
MP3とは? .....	189
再生できるMP3ファイルについて .....	189
WMAとは? .....	189
再生できるWMAファイルについて .....	189
<b>地上デジタルテレビジョン放送について ....</b>	<b>190</b>
<b>言語コード表 .....</b>	<b>193</b>
<b>DVD用語の解説 .....</b>	<b>194</b>
<b>MP3、WMA用語の解説 .....</b>	<b>195</b>
<b>故障かな?と思ったら .....</b>	<b>196</b>
共通項目 .....	196
モニター .....	198
テレビ .....	199
ラジオ .....	199
MD (AVIC-ZH900MD) .....	200
DVD .....	200
CD、WMA/MP3ディスク .....	202
WMA/MP3ファイル .....	202
ミュージックサーバー .....	203
<b>こんなメッセージが表示されたら .....</b>	<b>204</b>
共通項目 .....	204
DVD、CD、WMA/MP3ディスク .....	204
MD (AVIC-ZH900MD) .....	205
ミュージックサーバー .....	206
オートTA&EQ時のエラー .....	207
<b>索引 .....</b>	<b>208</b>
メニュー索引 .....	208
<b>用語索引 .....</b>	<b>209</b>
五十音順 .....	209
アルファベット順 .....	210

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

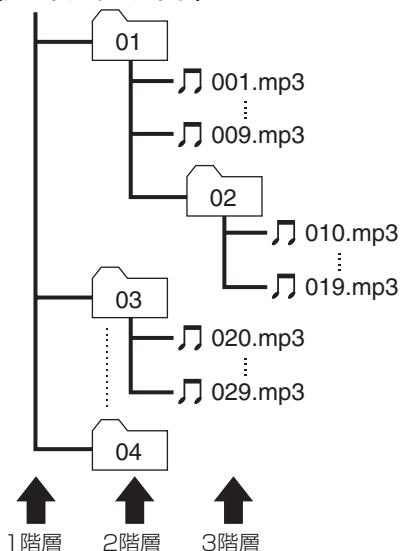
付録

# MP3ファイル、WMAファイルについて

## フォルダーとMP3およびWMAファイルについて

- MP3およびWMAファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。

(ルートディレクトリ)



- 本機はMP3およびWMAファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROMモードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です (→P195)
- 本機はマルチセッション (→P195) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト (→P195) には対応していません。
- m3u (→P195) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (→P195) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。



- フォルダー番号は本機が割り当てません。お客様が割り当てすることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにMP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えることができます。MP3およびWMAファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り替えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- MP3およびWMAファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- 8階層までのMP3およびWMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

## MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

### 再生できるMP3ファイルについて



- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。  
例：01abcdef.mp3
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。

- ID3 TagのVer1.0およびVer1.1、Ver2.2、Ver2.3のalbum(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32kHz、44.1kHz、48kHz。MPEG-2 LAYER-3の場合、16kHz、22.05kHz、24kHzです。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320kbps、MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

## WMAとは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。



- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

### 再生できるWMAファイルについて



- WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7、Ver.8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は48、64、80、96、128、160、192kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# 地上デジタルテレビジョン放送について

## 地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行スケジュールについて

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

## 地上デジタルテレビジョン放送開始に伴う放送チャンネル変更について

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴い、一部の地域では地上アナログテレビジョン放送のチャンネルが順次変更されております。

当変更の詳細につきましては、総務省関連サイト等（下記）、各地域受信対策センターからの広報等をご参照願います。

## 総務省関連サイト

地上デジタルテレビジョン放送	<a href="http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html">http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html</a>
関東総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.kanto-bt.go.jp/">http://www.kanto-bt.go.jp/</a>
東海総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/">http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/</a>
近畿総合通信局(放送部放送課)	<a href="http://www.ktab.go.jp/">http://www.ktab.go.jp/</a>
報道資料 アナログ周波数変更の受信対策の開始について	<a href="http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html">http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html</a>
ARIB(電波産業会)サイト	<a href="http://www.arib.or.jp/">http://www.arib.or.jp/</a>
JEITA(電子情報技術産業協会)サイト	<a href="http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm">http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm</a>

## 地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更についてのお問い合わせ先

対象となる各地域の受信対策センターにご確認ください（→P192）。

## 地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更に伴い、発生が予想される現象

地上アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、プリセットされたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度、お手持ちの取扱説明書に従い、プリセットの再設定をお願いいたします。

放送局名を表示する機能がある機種においては、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。また、音声操作により選局する機能がある機種においても、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

地上デジタルテレビジョン放送が開始されても、本機で受信することはできません。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## アナログテレビチャンネル変更対策 各地域受信対策センター (2003年4月現在)

名称	コールセンター	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL : 0120-771797 FAX : 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 029-835-8267	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
栃木地域受信対策センター	TEL : 0120-401293 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
群馬地域受信対策センター	TEL : 0120-357488 FAX : 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 027-210-9381	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
埼玉地域受信対策センター	TEL : 0120-401035 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
千葉地域受信対策センター	TEL : 0120-401398 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL : 0120-401350 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
岐阜地域受信対策センター	TEL : 0120-124820 FAX : 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7300	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
愛知・三重地域受信対策センター	TEL : 0120-124826 FAX : 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7370	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL : 0120-252639 FAX : 0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 075-602-1826	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL : 0120-623522 FAX : 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7182	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
兵庫地域受信対策センター	TEL : 0120-540700 FAX : 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7180	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
和歌山地域受信対策センター	TEL : 0120-815108 FAX : 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7184	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
香川地域受信対策センター	TEL : 0120-112064 FAX : 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 087-851-7880	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日



# 言語コード表

言語名 (言語コード)	入コード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブバジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入コード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌビアク語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入コード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートルマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サン語 (sg)	1907
サルボアクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバク語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スダグ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタル語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズルー語 (zu)	2621

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽/ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# DVD用語の解説

## テレビアスペクト

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニター4：3、ワイドモニター16：9の比率です。

## 視聴制限(パレンタルロック)

暴力シーンなどを含むDVDには、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクに、視聴制限レベルを設定して、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生することができます。

## タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記憶することもできます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記憶されている場合は、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられており、タイトルサーチなどの操作をすることができます。

## チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたものです。チャプターが記憶されているディスクでは、チャプターサーチなどの操作をすることができます。

## マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。DVDには、同時に複数台のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、見る側で自由に選ぶことができます。

## マルチ音声

DVDには、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります(最大8言語)。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## マルチ字幕(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記憶することができます。その中からお好みの言語を選ぶことができます。

## リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョン番号)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は、再生できません。本機のリージョン番号は、“2”です。

# MP3、WMA用語の解説

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## エンファシス

記録・再生系における雑音低減を目的とした固定式イコライザのことです。

## パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(ATRAC3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追記ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトウェアを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

### レベル1：

ファイル名は、8.3形式(半角英大文字と半角数字、"\_")で名前は8文字以下、拡張子は3文字以下で、各フォルダの階層は8つ以下

### レベル2：

ファイル名は、最大31文字(区切り文字、"."と拡張子を含む)で、各フォルダの階層は8つ以下  
**拡張フォーマット**

### Joliet：

ファイル名は、最大で64文字

### Romeo：

ファイル名は、最大で128文字

## CD-DA

「Compact Disk Digital Audio」の略で、圧縮されていない通常のCDのことです。

## m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトウェアで作成したプレイリストに付きます。

## MP3(エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

## VBR(ブイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## WMA(ダブリューエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

# 故障かな?と思ったら

## 故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

## チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。  
→『スタートブック』、「リセットについて」

## それでも直らないときは

『スタートブック』、「お客様登録とアフターサービス」をお読みになり修理を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 →『取付説明書』
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
リモコンで操作できない。 操作に合った正しい動作をしない。	電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。 →『スタートブック』
	リモコンを足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。→『スタートブック』
	リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。→『スタートブック』
	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。 →『スタートブック』
再生できない	ディスクによって禁止されている操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →「再生できるディスクの種類」(P16)

## 共通項目 (つづき)

症状	原因	処置
エンジンスイッチをONまたはACCIにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。 →「音量を調節する」(P31) 5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	システム設定の <b>5.1ch DSPユニット</b> の設定が間違っている。	<b>5.1ch DSPユニット</b> を正しく設定してください。→「5.1ch DSPユニットを設定する」(P155)
	接続が間違っている。	接続を確認してください。→『取付説明書』
映像が出ない。	ガイドスピーカー接続端子を接続していない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
	スタンバイ状態である。	スタンバイを解除してください。 →『スタートブック』
音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 →「音量を調節する」(P31) 5.1ch DSPユニットとオーディオマスターユニットを組み合わせているときは、オーディオマスターユニットの音量を上げてください。
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 →「音量を調節する」(P31)
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り替わっていない。	モニターをナビゲーション画面に切り替えてください。 →「画面の切り替えかた」(P29)
音や映像がとぶ。	ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。→『取付説明書』

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## 共通項目（つづき）

症状	原因	処置
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「前後左右の音量バランスを調節する」(P116、132) →「接続したスピーカーを設定する」(P136)
	スピーカーがオフに設定されている	
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
	スピーカーがオフに設定されている	
バックカメラに切り替わらない。	バック信号が接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 →『取付説明書』
	<b>AV入力設定</b> のVTR2を <b>バックカメラ</b> に設定していない。	<b>AV入力設定</b> のVTR2を <b>バックカメラ</b> に設定してください。→「バックカメラを使う」(P177)

## モニター

症状	原因	処置
画質調節ができない。	パーキングブレーキレコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。 →『取付説明書』
	パーキングブレーキをかけていない。	
映像が明るい。 映像が暗い。	「黒の濃さ」または「コントラスト」の調節が適切でない。	「黒の濃さ」または「コントラスト」を調節してください。→「黒の濃さやコントラストを調節する」(P168)
映像の色が薄い、または濃い。	「色の濃さ」または「色あい」の調節が適切でない。	「色の濃さ」または「色あい」を調節してください。→「色の濃さや色あいを調節する」(P169)
映像の色合いがおかしい。		
液晶画面が暗い。	「明るさ」の調節が適切でない。	「明るさ」を調節してください。 →「液晶画面の明るさを調節する」(P170)
	車内の温度が低い。	液晶モニターは、周囲の温度が低いと画面が暗くなることがあります。ヒーターで車内の温度を上げてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

# テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P34)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P34)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りがよくなり、雑音も少なくなります。
	アンテナケーブル線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。→『取付説明書』
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「手動選局と自動選局について」(P35)
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	<b>NAV/AV</b> で画面を切り替えてください。

# ラジオ

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P34)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P34)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
	アンテナケーブル線と他のケーブルを束ねたり、重ねたりしている。	アンテナ線と他のケーブルは、できるだけ離してください。→『取付説明書』
	オートアンテナがOFFになっている。	オートアンテナをONにしてください。 →「オートアンテナの操作について」 (P30)
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。 →「テレビやラジオの放送を受信する」 (P34)

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## MD(AVIC-ZH900MD)

症状	原因	処置
MDソースに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。
MD再生中に、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDにくもりや水滴がついている。	MDのくもりや水滴を拭き取ってください。→『スタートブック』
	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい向きで挿入されていない。	MDを取り出して正しい向きに挿入してください。 →「ディスクの入れかた」(P20)

## DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。 音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	<b>NAV/AV</b> で画面を切り替えてください。
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。 →「オートプレイを設定する」(P68)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。 →「視聴制限を設定する」(P67)
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →「視聴制限を設定する」(P67)
	暗証番号を忘れてしまった。	<b>削除</b> に10回連続でタッチするか <b>録音/削除</b> を10回連続で押し、暗証番号を解除します。 →「暗証番号を忘れたときは」(P68)



# DVD (つづき)

症状	原因	処置
ディスクメニューが操作できない。	操作が間違っている。	ディスクメニューは直接タッチしても操作できません。正しい方法で操作してください。 →「ディスクメニューの操作」(P55)
音声言語、字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り替えられません。
	ディスクのメニューでしか切り替えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り替えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り替わりません。
アングルを切り替えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り替えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります。(故障ではありません。)
⊘ (禁止マーク) が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構造上対応できない操作をしている。	
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■を押してから、もう一度再生してください。

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／  
交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## CD、WMA/MP3ディスク

症状	原因	処置
音が出ない。	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。
CD再生中に、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDにキズやそりがある。	他のCDと交換してください。症状が改善されれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	CDの曇り、またはCDに水滴が付いている。	CDの曇りや水滴を拭き取ってください。

## WMA/MP3ファイル

症状	原因	処置
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3ファイルを再生できない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたWMA/MP3ファイルにしてください。
WMA/MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る。 WMA/MP3ファイル再生中に音が出なくなる。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(WMA形式でないファイルに「.wma」、MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けたCD-ROMを再生しないでください。)
聞きたいWMA/MP3ファイルが見つからない。	WMAファイルに「.wma」、MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	WMAファイルに拡張子「.wma」、MP3ファイルに拡張子「.mp3」の付いたディスクに交換してください。

## WMA/MP3ファイル (つづき)

症状	原因	処置
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

## ミュージックサーバー

症状	原因	処置
プレイリストが再生できない。	ポーズ(一時停止)がONになっている。	ポーズをOFFにしてください。 →「再生を一時停止する」(P79)
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →「CD録音の制限について」(P73)
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。	通信機器の接続を確認してください。
	通信接続設定が正しくされていない。	通信接続設定を行ってください。→『ナビゲーションブック』
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P111)

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

# こんなメッセージが表示されたら

ディスクを正常に再生できないときは、エラーメッセージが表示されます。

## 共通項目

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-5 Error-6	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
温度保護回路作動中	本機の内部温度に異常がある。	本機が正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。→『取付説明書』

## DVD、CD、WMA/MP3ディスク

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
Error-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
再生ができません。 ディスクを取り出して ください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
ディスクが入っていません。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P16)
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。

## DVD、CD、WMA/MP3ディスク（つづき）

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。 →「再生できるディスク(DVD、CD)の種類」(P16)
高温、または低温のため、DVD (CD) が再生できません。 ディスクをとりだしてください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、本機の設置場所に問題がないか確認してください。 →『取付説明書』

## MD(AVIC-ZH900MD)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[高温、または低温のためMDが再生できません。ディスクをとりだしてください。]	本機の内部温度が高い、または低いとき	MDを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。
[ERROR 11,12,17,30]	MDが汚れているとき MDにキズやひびがあるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき MDに異常（損傷している、TOC*が入っていないなど）があるとき	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
[ERROR 20,21]	MDに異常（損傷している、TOC*が入っていないなど）があるとき	他のMDと交換してください。
[ERROR 22,24]	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき	音楽が録音されたMDを使用してください。
[ERROR 23]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生をしてください。
[ERROR 01,11,12,17,30,A0]	本機の電気系、機械系の故障が考えられるとき	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して、もう一度MD再生をしてください。→『スタートブック』

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/ 交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## MD (つづき)

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
[ERROR]	MDが何らかの原因で再生しないとき	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 →『スタートブック』
[Blank DISC]	何も録音されていないMDを挿入したとき	他のMDと交換してください。

※TOC (Table Of Contents) とは、CD、MD、DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

## ミュージックサーバー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
HDD容量不足のため、録音できません。	HDD(ハードディスク)の残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →「プレイリストを消去する」(P104)、 「プレイリストからトラックを消去する」(P108)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
ミュージックサーバーが使用出来ません。販売店またはサービスステーションに御相談ください。	ミュージックサーバーの録音・再生のハードウェア/ソフトウェアに異常がある。	販売店またはサービスステーションにご相談ください。

## オートTA&EQ時のエラー

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
マイクを確認してください。	マイクが接続されていない。	付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。
FL*スピーカーを確認してください。	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	エンジンスイッチをON（本機の電源をON）にして、スピーカーから音が出ているか確認してください。
FR*スピーカーを確認してください。		音が出ていない場合は、スピーカー設定およびリード線の接続を確認してください。
F*スピーカーを確認してください。		付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。
C*スピーカーを確認してください。		
RL*スピーカーを確認してください。		
RR*スピーカーを確認してください。		
サブウーファーを確認してください。		
R*スピーカーを確認してください。		
騒音が大きすぎます。	周囲の騒音レベルが高すぎる	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属の音響特性測定用マイクを正しく接続してください。

※FL：フロント/レフト、FR：フロント/ライト、F：フロント、C：センター、RL：リア/レフト、RR：リア/ライト、R：リアの意味です。

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

D  
V  
D

ミュージック  
サーバー

A  
V  
設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## メニュー索引

DVD	トップメニュー	P55	MSV	グループリスト	P77	オーディオ設定	グラフィックイコライザー	P119	
	メニュー	P55		プレイリスト	P77		オートイコライザー	P126,131	
	再生/一時停止	P53		トラックリスト	P77		タイムアライメント	P117,140	
	停止	P53		リピート	P80		リスニングポジション	P116,132	
	リピート	P62		ダイジェスト	P82		フェーダー/バランス	P116,132	
	DVD初期設定	P64		ランダム	P81		SFC	P123,133	
	オーディオ設定	P114		編集			ラウドネス	P118	
	システム設定	P148		グループの編集	P97		サブウーファー	P121	
	ブックマーク	P59		プレイリストの編集	P99		ハイパスフィルター	P124	
	次ページ	P54		トラックの編集	P105		ソースレベルアジャスター	P125,133	
	サーチ/10キー	P57		タイトルの情報取得	P111		ASL	P126	
	字幕切替	P60		ヒットチャートプレイ	P83		パラメトリックイコライザー	P129	
	音声切替	P60		フィーリングプレイ	P90		デジタルダイレクト	P134	
	アングル切替	P61		通常再生	P86,91		Dolby Pro LogicII	P134	
	リターン	P61		オーディオ設定	P114		スピーカー設定	P136	
前ページ	P54	システム設定	P148	クロスオーバー周波数	P137				
ビュー	P29	ビュー	P29	テストトーン	P138				
CD	リピート	P47	テレビ	ユーザープリセット	P35	システム設定	オートTA&EQ	P141	
	スキャン	P48		エリアプリセット	P35		デジタルアッテネーター	P150	
	ランダム	P47		音声多重	P38		録音設定	P151	
	サーチモード	P49		BSSM	P37		消音設定	P152	
	オーディオ設定	P46		リスト大/小	P38		ワイドモード	P152	
	システム設定	P148		オーディオ設定	P114		AV入力設定	P150	
	ビュー	P29		システム設定	P148		OEL (Organic EL) 設定	P150	
FM/A/M	ユーザープリセット	P35	VTR	オーディオ設定	P114		ナビ画面リア映像出力	P153	
	エリアプリセット	P35		システム設定	P148		オートフラップ設定	P153	
	BSM	P37		ビュー	P29		オートアンテナ連動	P154	
	オーディオ設定	P114		マルチCD	リピート		P160	ガイド/ハンズフリーSP設定	P155
	システム設定	P148			スキャン		P161	5.1ch DSPユニット	P156
ビュー	P29	ランダム	P161		オーディオ設定リセット		P156		
MD	グループ	P44	ポーズ/再生		P162				
	トラック	P44	ITS		P164				
	リピート	P47	COMP/DBE	P162					
	スキャン	P48	オーディオ設定	P114					
	ランダム	P47	システム設定	P148					
	オーディオ設定	P114	ビュー	P29					
	システム設定	P148							
	ビュー	P29							



## 五十音順

### あ行

アーティストグループ	77、93
明るさ	170
アシスト字幕	66
アッテネーター	31
アナログソース録音	76
アングル	61
アングル選択マーク	66
暗証番号	67
イコライザー	119、129
色あい	169
色の濃さ	169
エリア	35
エリアプリセット	35、36
エリアプリセット放送局	35
エンファシス	195
オーディオ設定画面	114、127
オーディオ設定リセット	156
オート	73、75
オートアンテナ	30、154
オートイコライザー	131
オートタイムアライアメント/イコライジング	143
オートプレイ	68
オートフラップ	153
オリジナルグループ	77、93、104
音場設定	123、133
音声言語	65
音声多重放送	38
音量調節	31

### か行

ガイド/ハンズフリーSP設定	155
カスタマイズグループ	77、93、96、104
画像	102
グラフィックイコライザー	119
グループプリスト	93、97
クロスオーバー周波数	137
黒の濃さ	168
交通情報	40
コマ送り	58
コントラスト	168

### さ行

再生順変更	103
サーチモード	49
サブウーファー	121、137
サブメニュー	27
視聴制限レベル	67
自動選局	35
シネマ	172
字幕言語	60、64
ジャスト	172
主音声	38
手動選局	35
消音設定	152
消去	108、165
詳細情報	79、97、99
情報取得	111
初期設定	64
シングル	73、75
スキャン再生	48、82、161
スピーカー出力レベル	139
スピーカー設定	136
スロー	58
ズーム	172
静止画	53
セットバック	154
操作タッチキー	54、56、58
ソース	28
ソースメニュー	37、46、160
ソースレベルアジャスター	125、133

### た行

ダイジェストスキャン	82
タイトル	53、100、194
タイトル情報	109
ダイナミックレンジコントロール	69、142
タイムアライアメント	117、140
ダウンミックス	142
チェックリスト	27
チャート情報	89
チャプター	53、56、194
ディスク情報	88
ディスクメニュー	55
デジタルATT	150
デジタルコンプレッション	162
デジタルダイレクト	134
テストトーン	138
テレビ	34、199

はじめに

基本操作

テレビ/ラジオ  
/交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録

## た行

テレビアスペクト	66、174、194
トラック追加	107
トラックリスト	77
ドルビープロジックII	134

## な行

ナビ画面リア映像出力	153
ノーマル	172

## は行

ハイパスフィルター	124
バケットライト	195
バックカメラ	177
早送り	44、53、56、78、159
早戻し	44、53、56、78、159
パラメトリックイコライザー	129
バレンタールロック	67、164
バンド	34、36
ピクチャーインピクチャー	173
ピクチャーサイドピクチャー	173
ヒットチャートプレイ	84
ビットレート	195
ファイナライズ	16
フィーリングプレイ	90
フェーダー/バランス	116、132
フォルダー	43
副音声	38
ブックマーク	59
プリセットチューニング	35
フル	172
プレイリスト	77、93
プレイリスト詳細情報画面	99
フロントパネル	22
ポーズ/再生	45、79、162

## ま行

マニュアルモード	75
マニュアルプリセット	39
マルチアングル	61、66、194
マルチ音声	60、65、194
マルチCD	158
マルチ字幕	60、64、194
マルチセッション	195
ミックスCD	49
ミュージックサーバー	23、72
メニュー言語	65

## や行

ユーザーグループ	77、93、94、104、106
ユーザープリセット	35、36、39
ユーザープリセット放送局	35、39

ユーザープレイリスト	77、93、94、104、106
ユニバーサルパッド	15

## ら行

ラウドネス	118
ラジオ	34、199
ラフサーチ	44、49
ランダム再生	47、81、161
リアモニター	11、179
リスト操作	27
リストの切り替え	38
リスニングポジション	116、132
リターン	61
リピート再生	47、62、80、160
リビングキット	185
リージョン番号	16、17、194
連続複製防止システム	50、72
録音	73
録音時間	74
録音設定	74、151
録音モード	74

## わ行

ワイド映像	171
-------	-----

## アルファベット順

### A

AM	34
ASL	126
AV入力設定	150
AVメニュー	26、37、46、62、80、160

### B

BBE	123
BSSM	37
BSM	37

### C

CCCD	16
CD	16、42、73
CD-DA	195
CF型メモリーカード	102
CHAPTER REPEAT	62
CINEMA	172
COMP	162

### D

DBE	162
DDCD	17
DIGEST	82

	DISC REPEAT	47, 62, 160
	DRC	182
	DSP	114, 127
<b>E</b>		
	EXT	28, 175
<b>F</b>		
	FM	34
	FOLDER REPEAT	47
	FULL	172
<b>G</b>		
	Gracenote CDDB	110
	GROUP REPEAT	47, 80
<b>I</b>		
	ID3 Tag	43, 195
	ISO 9660フォーマット	195
	ITS	164
<b>J</b>		
	Joliet	195
	JPEG	102
	JUST	172
<b>M</b>		
	MAGAZINE REPEAT	160
	m3u	188, 195
	MD	19, 42, 44
	MDLP	19
	MP3	19, 43, 45
	MP3ファイル	189
<b>N</b>		
	NORMAL	172
<b>O</b>		
	OELディスプレイ	150, 181
<b>P</b>		
	P in P	173
	PLAYLIST REPEAT	80
	P side P	173
<b>R</b>		
	RANDOM	47, 81, 161
	REPEAT	47, 62, 80, 160
	Romeo	195
<b>S</b>		
	SCAN	48, 161
	SCMS	50, 72
	SFC	123, 133
<b>T</b>		
	TITLE REPEAT	62
	TRACK REPEAT	47, 80, 160

<b>V</b>		
	VBR	195
	VTR	28, 175
<b>W</b>		
	WMA	19, 43, 189, 195
	WMAファイル	188, 189
<b>Z</b>		
	ZOOM	172

はじめに

基本操作

テレビ／ラジオ  
／交通情報

音楽ディスク

DVD

ミュージック  
サーバー

AV設定

システム設定

マルチCD

その他の機能

付録



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからのご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品の

お問い合わせおよびカタログのご請求窓口

☎	<b>0070-800-8181-11</b>
【一般電話】	<b>03-5496-8016</b>
☎	<b>03-3490-5718</b>

● ファックス受付

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☎	<b>0120-5-81095</b>
【一般電話】	<b>0538-43-1161</b>
☎	<b>0120-5-81096</b>

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☎	<b>0120-5-81028</b>
【一般電話】	<b>03-5496-2023</b>
☎	<b>0120-5-81029</b>

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

【一般電話】	<b>098-879-1910</b>
☎	<b>098-879-1352</b>